

BladeSymphony

Virtage Navigator ユーザーズガイド  
導入編

Revision 2.00

**HITACHI**

# 重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 登録商標・商標について

Adobe、Adobeのロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium, Xeon は Intel Corporation の登録商標および商標です。

Java, JREおよびその他のJavaを含む商標は、米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標または商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の登録商標または商標です。

## 版權について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved. Copyright (C) 2010, 2011, Hitachi, Ltd.

# BladeSymphony Virtage Navigator

---

本資料は、BladeSymphony Virtage Navigator V02-00 に対応している導入編です。

## 目次

1 Virtage Navigatorの概要 .....	4
2 Virtage Navigatorのライセンス .....	6
3 動作条件 .....	7
3.1 使用環境別サポート機能 .....	8
3.2 Virtage Navigator機能のサポートHVM FWバージョン一覧 .....	9
4 Virtage Navigatorユーザズガイド一覧 .....	13
5 Virtage Navigatorの入手 .....	14
5.1 Virtage Navigator Essentialの入手 .....	14
5.1.1 BladeSymphonyホームページより入手する場合 .....	14
5.1.2 BladeSymphony 2000/320 Virtage HVM Utility CDより入手する場合 .....	15
5.1.3 BladeSymphony for Xeon Server Blade Virtage CDより入手する場合 .....	15
5.2 Virtage Navigator Standard/Advancedの入手 .....	15
6 前提アプリケーションの入手 .....	16
6.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)の入手 .....	17
6.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 の入手 .....	17
6.3 JRE(Java Runtime Environment) 6 の入手 .....	17
6.4 Plink Release 0.60 の入手 .....	18
6.5 Tera Term(Version 4.XX以降)の入手 .....	19
6.6 リモートコンソールアプリケーション(Version04-02以降)の入手 .....	19
7 インストール .....	20
7.1 Virtage Navigatorのインストール .....	20
7.2 前提アプリケーションのインストール .....	21
7.3 再起動 .....	22
8 Virtage Navigatorの起動 .....	23
9 Virtage Navigator機能の開始 .....	26
9.1 HVMの登録 .....	27
9.2 LPAR設定 .....	32
9.3 モニタリング .....	33
9.4 構成ビューア .....	34
9.5 LPARマイグレーション .....	35
10 オプション機能 .....	37
10.1 HVM通信タイムアウト時間の設定 .....	37
10.2 管理サーバのIPアドレスの設定 .....	40
10.3 SVP通信タイムアウト時間の設定 .....	43
10.4 Virtage Navigatorへのプロセッサ割り当て .....	45
10.5 HVM情報の更新 .....	50

10.6	HVMの削除.....	53
10.7	Virtage Navigatorの技術情報の採取.....	57
10.8	LPAR設定のオプション設定.....	59
10.8.1	ターミナルアプリケーションの登録.....	59
10.8.2	リモートコンソールアプリケーション情報の表示.....	62
10.9	LPARマイグレーションのオプション設定.....	64
10.9.1	リモートシャットダウンのタイムアウト時間の設定.....	64
10.9.2	TCPポートの設定.....	67
10.9.3	前提アプリケーションの登録.....	70
11	Virtage Navigatorの終了.....	73
12	Virtage Navigatorのバージョン表示.....	74
13	Virtage Navigatorのバージョンアップ.....	75
14	Virtage Navigatorのライセンスアップグレード.....	76
15	Virtage Navigatorのアンインストール.....	76
16	注意事項.....	77
16.1	クローズボタンについて.....	77
16.2	Update操作に時間が掛かる場合の対応について.....	77
16.3	HVMの構成・登録台数と処理時間について.....	78
16.4	同梱アプリケーションの扱いについて.....	79
16.5	ツリー表示で同一ブレード番号のHVMが複数表示される現象について.....	79
17	トラブルシュート.....	80
17.1	Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 がインストールできない場合.....	80
17.2	Virtage Navigatorが起動しない場合.....	83
17.2.1	VNavigator.exeをダブルクリックしたのにログインウィンドウが表示されない場合には？.....	83
17.2.2	Virtage Navigator起動時に、VNavigator.exe - アプリケーションエラーが表示された場合には？.....	83
17.2.3	Virtage Navigator起動時に、.NET Framework Initialization Errorが表示された場合には？.....	83
17.2.4	Virtage Navigator起動時に、Unexpected Internal Error Occurredが表示された場合には？.....	84
17.2.5	Virtage Navigator起動時に、Virtage Navigator is already started ! が表示された場合には？.....	84
17.2.6	Virtage Navigatorへのログイン後、Could not execute the Virtage Navigatorが表示された場合には？.....	85
17.2.7	Virtage Navigatorへのログイン後、Different version of a bundled component was detected. が表示された場合には？.....	85
17.2.8	Virtage Navigatorへのログイン後、Failed to read boot file. Contact Hitachi. が表示された場合には？.....	86
17.2.9	Virtage Navigatorへのログイン後、Damage of data file is detected. が表示された場合には？.....	86
17.3	Virtage Navigator起動時に、Damage of data file is detected. Data on "Option Setting" return	

to default settings.が表示された場合には?	86
17.4 Virtage Navigator起動時に、Damage of data file is detected. Data on “Migration History” is cleared.が表示された場合には?	87
17.5 Search Errorが表示された場合には?	87
17.6 Insufficient memory error occurred.が表示された場合には?	88
17.7 登録したHVM情報が表示されない場合には?	88
17.8 “Chassis Unknown” 以外のHVMが “Chassis Unknown” で表示された場合には?	90
17.9 Necessary Component Not Foundが表示された場合には?	91
18 障害時のデータ採取	92
19 Virtage Navigatorのコントローラー一覧	93
20 サポートサービスについて	97
21 変更来歴	98

# 1 Virtage Navigatorの概要

Virtage Navigator は、Virtage プラットフォームを対象とした GUI ベースの構築・運用支援ツールです。Virtage Navigator の主な機能には、Virtage や LPAR の構築・構成変更をする「LPAR 設定」、CPU 使用率と CPU 不足率を表示する「モニタリング」、Virtage や LPAR の構成をリストや図で表示する「構成ビューア」、サーバブレード間で LPAR を移動する「LPAR マイグレーション」があります。

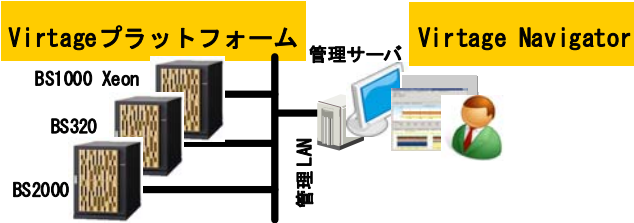
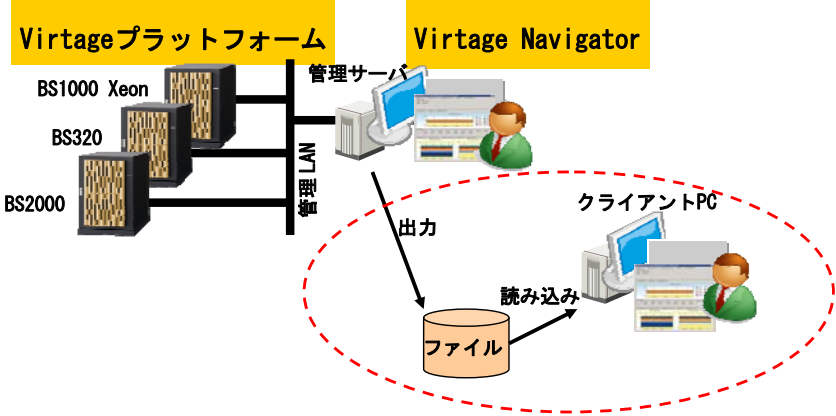
(以後、Virtage のことを HVM(Hitachi Virtualization Manager)と表記することがあります。)

表 1-1 Virtage Navigator の主要機能一覧

主要機能		機能概要
LPAR 設定		
HVM 起動		HVM の初期設定や HVM 起動を行うことができます。
LPAR 作成・変更		LPAR を作成し、その LPAR にリソースを割り当てることができます。
HVM コンソール		HVM や LPAR の構成変更ができます。
モニタリング		
リアルタイムモニタ	CPU	指定した時間間隔で、HVM と LPAR の CPU 使用率と CPU 不足率をリアルタイムでグラフを表示します。
	NIC	指定した時間間隔で、共有モードに割り当てている NIC(共有物理 NIC、共有 VNIC)の使用量または使用率をリアルタイムでグラフを表示します。
履歴モニタ		モニタリングした結果をファイルに保存し、保存したファイルを読み込んでグラフを表示します。
メール通報		モニタリング実行中の CPU 使用率または CPU 不足率が、指定した閾値を超えたときにメールで通知します。
構成ビューア		
構成一覧表示		HVM と LPAR の構成を表形式で表示し、表示データを CSV ファイルに出力します。
構成図表示		HVM と LPAR の構成図を表示します。
LPAR マイグレーション		
マイグレーション		サーバブレード間で LPAR を移動します。 (移動の際には OS のリブートが伴う)
ポリシーマイグレーション		1 つ以上の LPAR 移動を登録し、順次 LPAR を移動します。

Virtage Navigator は、以下の利用環境をサポートします。

表 1-2 Virtage Navigator の利用環境

利用環境	特徴
管理サーバ環境	<p>管理サーバの IP アドレスを Virtage に登録しておく※1 ことで、管理サーバ上の Virtage Navigator からリアルタイムに Virtage プラットフォームをアクセスできます。</p>  <p>※1：対象 HVM の System Configuration スクリーンの BSM1 IP Address～BSM4 IP Address に管理サーバの IP アドレスを登録します。</p>
スタンドアロン環境	<p>管理サーバ環境の Virtage Navigator で採取した情報をファイルで保存し、その後で、クライアント PC 上の Virtage Navigator に読み込ませて使用します。Virtage プラットフォームからのリアルタイムなデータ採取が不要なため、Virtage プラットフォームへの負担が軽いのが特長です。</p>  <p>点線に囲んだ部分がスタンドアロン環境</p>

# 2 Virtage Navigatorのライセンス

Virtage Navigator のライセンスは以下のとおりです。

表 2-1 Virtage Navigator のライセンス

項目		Virtage Navigator のライセンス		
		Essential	Standard	Advanced
主要機能	LPAR 設定	○	○	○
	モニタリング	○	○	○
	構成ビューア	—	○	○
	LPAR マイグレーション	—	○	○
登録可能な Virtage 数		4	4	256

○：利用可能, —：利用不可能



### 3 動作条件

Virtage Navigator の動作条件を以下に示します。

表 3-1 Virtage Navigator の動作条件

項目		利用環境	
		スタンドアロン環境	管理サーバ環境
PC 条件	OS	Windows Server 2003 R2 SP2 Windows Server 2008 SP1 Windows Server 2008 SP2 Windows Server 2008 R2 Windows XP Windows Vista Windows 7	Windows Server 2003 R2 SP2 Windows Server 2008 SP1 Windows Server 2008 SP2 Windows Server 2008 R2
	アプリケーション※1※2	・ Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package) ・ Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	・ Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package) ・ Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 ・ JRE(Java Runtime Environment) 6 ※3 ・ Plink Release 0.60 ※4 ・ Tera Term (Version 4.XX 以降) ・ リモートコンソールアプリケーション (Version04-02 以降)
	CPU 周波数(推奨※5)	3.0GHz 以上	3.0GHz 以上
	メモリ容量(推奨※5)	1GB 以上	1GB 以上
	ディスク容量(推奨※5)	20GB 以上	20GB 以上
	最大ユーザ数	1	1
	ユーザ権限	管理者権限のみ	管理者権限のみ
Virtage 条件	Virtage プラットフォーム	BS1000 BS2000 BS2000fx BS320	BS1000 BS2000 BS2000fx BS320
	Virtage バージョン	※6	
	接続可能な Virtage の最大数	接続しない	256

※1 : Virtage Navigator は以下のフリーソフトウェアを別途ダウンロードし、インストールする必要があります。

- ・ Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)
- ・ Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5
- ・ JRE(Java Runtime Environment) 6
- ・ Plink Release 0.60
- ・ Tera Term (Version 4.XX 以降)
- ・ リモートコンソールアプリケーション

なお、オープンソースソフトウェア Plink Release 0.60 を PuTTY のライセンスに従って利用しております。

PuTTY ライセンス:

<http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html>

※2 : Virtage Navigator のライセンスが、Standard および Advanced の場合のみ、Nevron 社の Nevron.NET Vision

を同梱しております。

Nevron.NET Vision のご使用については Virtage Navigator の機能として使用する場合のみ利用を許されています。

ユーザは以下の定めに従うものとします。 また Nevron.NET Vision の著作権及び権利は Nevron が有しています。

- ・ Nevron 社に対し、クレームや損害要求を行わないこと。
- ・ 転売、再配布、リース等、第三者への提供を行わないこと。
- ・ 同梱ソフトウェアを使用した開発を行わないこと。
- ・ 逆アセンブル、逆コンパイルその他方法のいかんを問わず変換しないこと。
- ・ 同じ機能性を提供する製品を開発する基礎として、全体又は一部を使用 しないこと。

※3 : LPAR マイグレーションを使用する場合に JRE (Java Runtime Environment) 6 が必要となります。

※4 : LPAR マイグレーションで、Linux サーバのリモートシャットダウンを使用する場合に Plink Release 0.60 が必要となります。

※5 : 本要件を満たさない場合、Virtage Navigator の動作が遅くなることがあります。

※6 : Virtage のバージョンについては、3.2 Virtage Navigator 機能のサポート HVM FW バージョン一覧をご参照下さい。

## 3.1 使用環境別サポート機能

使用環境別のサポート機能は以下のとおりです。

表 3-2 使用環境別サポート機能

項目		機能				
		LPAR 設定	モニタリング		構成ビューア	LPAR マイグレーション
			履歴モニタ	その他		
環境	スタンドアロン	×	○	×	×	×
	管理サーバ	○	○	○	○	○

○ : 使用可    × : 使用不可

## 3.2 Virtage Navigator機能のサポートHVM FWバージョン一覧

Virtage Navigator 機能のサポート HVM FW バージョンは、以下のとおりです。

表 3-3 Virtage Navigator 機能のサポート HVM FW バージョン一覧表 (BS1000)

Virtage Navigator 機能			サポート開始バージョン				
			Virtage Navigator			BS1000	
						Xeon サーバブレード	
			V01-00	V01-01	V02-00	55-xx	
LPAR 設定	HVM 起動		—	—	○	—	
	LPAR 設定		—	—	○	—	
	HVM コンソール		—	—	○	—	
モニタ リング	CPU 使用率		○	○	○	○	
	CPU 不足率		○	○	○	—	
	NIC 使用量/使用率		—	—	○	—	
	LPAR 番号上限	1～16	○	○	○	○	
		1～60	—	○	○	—	
	プロセッサグループ表示		—	○	○	—	
構成ビューア ※1			○	○	○	—	
LPAR マイグレー ション ※1	シャットダウン方式		○	○	○	—	
	プロセッサグループ指定		—	○	○	—	
	LPAR 番号上限	1～16	○	○	○	—	
		1～60	—	○	○	—	

○：サポート

—：未サポート

※1：構成ビューア、LPAR マイグレーションをご利用の場合には、Standard もしくは Advanced のライセンスが必要です

詳細については 3.1 使用環境別サポート機能をご参照ください

表 3-4 Virtage Navigator 機能のサポート HVM FW バージョン一覧表 (BS2000)

Virtage Navigator 機能			サポート開始バージョン											
			Virtage Navigator			BS2000								
						標準サーバブレード					高性能サーバブレード			
			V01-00	V01-01	V02-00	57-1x	57-3x	58-1x	58-4x	58-5x	78-1x	78-4x	78-5x	
LPAR 設定	HVM 起動		—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	LPAR 設定		—	—	○	—	—	—	—	※1	—	—	※1	
	HVM コンソール		—	—	○	—	—	—	—	※1	—	—	※1	
モニタリング	CPU 使用率		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	CPU 不足率		○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	
	NIC 使用量/使用率		—	—	○	—	—	—	—	—	—	—	—	
	LPAR 番号上限	1～16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		1～60	—	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	
プロセッサグループ表示		—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○		
構成ビューア ※2			○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	
LPAR マイグレーション ※2	シャットダウン方式		○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	
	プロセッサグループ指定		—	○	○	—	—	—	○	○	—	○	○	
	LPAR 番号上限	1～16	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○	
		1～60	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	

○：サポート

—：未サポート

※1：機能の動作抑止は行っておりませんが、本機能をサポートしていません。

※2：構成ビューア、LPAR マイグレーションをご利用の場合には、Standard もしくは Advanced のライセンスが必要です

詳細については 3.1 使用環境別サポート機能をご参照ください

表 3-5 Virtage Navigator 機能のサポート HVM FW バージョン一覧表 (BS2000fx)

Virtage Navigator 機能			サポート開始バージョン				
			Virtage Navigator			BS2000fx	
						標準サーバブレード	高性能サーバブレード
			V01-00	V01-01	V02-00	58-5x	78-5x
LPAR 設定	HVM 起動		—	—	○	—	—
	LPAR 設定		—	—	○	—※1	—※1
	HVM コンソール		—	—	○	—※1	—※1
モニタリング	CPU 使用率		○	○	○	○	○
	CPU 不足率		○	○	○	○	○
	NIC 使用量/使用率		—	—	○	—	—
	LPAR 番号上限	1~16	○	○	○	○	○
		1~60	—	○	○	—	○
	プロセッサグループ表示		—	○	○	○	○
構成ビューア ※2			○	○	○	○	○
LPAR マイグレーション ※2	シャットダウン方式		○	○	○	—	—
	プロセッサグループ指定		—	○	○	—	—
	LPAR 番号上限	1~16	○	○	○	—	—
		1~60	—	○	○	—	—

○ : サポート

— : 未サポート

※1 : 機能の動作抑止は行っておりませんが、本機能をサポートしていません。

※2 : 構成ビューア、LPAR マイグレーションをご利用の場合には、Standard もしくは Advanced のライセンスが必要です

詳細については 3.1 使用環境別サポート機能をご参照ください

表 3-6 Virtage Navigator 機能のサポート HVM FW バージョン一覧表 (BS320)

Virtage Navigator 機能			サポート開始バージョン					
			Virtage Navigator			BS320		
LPAR 設定	HVM 起動		—	—	○	—	—	○
	LPAR 設定		—	—	○	—	—	○
	HVM コンソール		—	—	○	—	—	○
モニタ リング	CPU 使用率		○	○	○	○	○	○
	CPU 不足率		○	○	○	—	○	○
	NIC 使用量/使用率		—	—	○	—	○	○
	LPAR 番号上限	1～16	○	○	○	○	○	○
		1～60	—	○	○	—	—	—
	プロセッサグループ表示		—	○	○	—	—	○
構成ビューア ※1			○	○	○	—	○	○
LPAR マイグレーシ ョン ※1	シャットダウン方式		○	○	○	—	—	○
	プロセッサグループ指定		—	○	○	—	—	○
	LPAR 番号上限	1～16	○	○	○	—	—	○
		1～60	—	○	○	—	—	—

○：サポート

—：未サポート

※1：構成ビューア、LPAR マイグレーションをご利用の場合には、Standard もしくは Advanced のライセンスが必要です

詳細については 3.1 使用環境別サポート機能をご参照ください

なお、Virtage Navigator で管理可能な HVM FW バージョンは、以下のとおりです。

表 3-7 Virtage Navigator のサポート HVM FW バージョン

Virtage Navigator バージョン	BS1000	BS2000				BS2000fx		BS320	
	Xeon サーバ ブレード	標準 サーバブレード		高性能 サーバブレード		標準 サーバ ブレード	高性能 サーバ ブレード		
	55-xx ~	57-1x ~	58-4x ~	78-1x ~	78-4x ~	58-5x ~	78-5x ~	17-2x ~	17-6x ~
V01-00	○	○	—	○	—	—	—	○	—
V01-01	○	○	○	○	○	○	○	○	○
V02-00	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：サポート

—：未サポート

## 4 Virtage Navigator ユーザーズガイド一覽

Virtage Navigator のユーザーズガイド一覽は以下のとおりです。

表 4-1 Virtage Navigator ユーザーズガイド一覽

ユーザーズガイド	用途
Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編（本書）	Virtage Navigator の導入
Virtage Navigator ユーザーズガイド LPAR 設定編	LPAR 設定機能の利用
Virtage Navigator ユーザーズガイド モニタリング編	モニタリング機能の利用
Virtage Navigator ユーザーズガイド 構成ビューア編	構成ビューア機能の利用
Virtage Navigator ユーザーズガイド LPAR マイグレーション編	LPAR マイグレーション機能の利用
Virtage Navigator ユーザーズガイド 操作リファレンス編	Virtage Navigator の利用
Virtage Navigator インストール手順書	Virtage Navigator および前提アプリケーションのインストール

なお、BladeSymphonyホームページから最新版のユーザーズガイドを入手する場合には、以下のURLから入手して下さい。

ホームページアドレス：<http://www.hitachi.co.jp/products/ bladesymphony/>

本ホームページを以下のとおりに進みます。（ユーザーズガイドの入手方法は全て同一手順となります。また、以下の名称は変更されることがあります。）

Virtage Navigator ユーザーズガイドの入手

[ダウンロード]

↓

[ハードウェア関連 ダウンロード]の[詳細はこちら]

↓

[ユーザーズガイド]

↓

- ・ [Virtage Navigator ユーザーズガイド]の[ユーザーズガイド導入編]
- ・ [Virtage Navigator ユーザーズガイド]の[ユーザーズガイド LPAR 設定編]
- ・ [Virtage Navigator ユーザーズガイド]の[ユーザーズガイドモニタリング編]
- ・ [Virtage Navigator ユーザーズガイド]の[ユーザーズガイド構成ビューア編]
- ・ [Virtage Navigator ユーザーズガイド]の[ユーザーズガイド LPAR マイグレーション編]
- ・ [Virtage Navigator ユーザーズガイド]の[ユーザーズガイド操作リファレンス編]
- ・ [Virtage Navigator ユーザーズガイド]の[インストール手順書]

## 5 Virtage Navigatorの入手

Virtage Navigator は以下の方法より入手できます。

- ・ BladeSymphony ホームページ

- ・ 製品添付 CD 内に同梱

(BladeSymphony 2000/320 Virtage HVM Utility CD (Ver. 5.0.0J 以降))

(BladeSymphony for Xeon Server Blade Virtage CD (Ver. 56-26 以降))

※各バージョンの CD には、それぞれ異なるバージョンの Virtage Navigator が同梱されています。

(古いバージョンの Virtage Navigator が同梱されていることがあります。)

最新バージョンの Virtage Navigator を入手する場合は、BladeSymphony ホームページをご利用下さい。

詳しくは、5.1.1 BladeSymphonyホームページより入手する場合をご参照下さい。

- ・ 弊社営業、サポートサービスに問合せ

詳しくは弊社営業にご相談ください。

### 5.1 Virtage Navigator Essentialの入手

#### 5.1.1 BladeSymphonyホームページより入手する場合

BladeSymphony ホームページから入手します。

ホームページアドレス : <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

- (1) 本ホームページを以下のとおりに進みます。(以下の名称は変更されることがあります。)

[ダウンロード]



[ハードウェア関連 ダウンロード]の[詳細はこちら]



[ダウンロード最新情報一覧]の[ユーティリティ (アップデートモジュール含む)]



[Virtage Navigator]の[Vxx-xx(x.x.x) xxxx 年 xx 月 xx 日]

- (2) VirNavi-[バージョン]\_Ess.exe をダウンロードします。

- (3) VirNavi-[バージョン]\_Ess.exe を実行します。

以下のファイルが生成します。

- ・ VirNavi-[バージョン]\_Ess.zip (Virtage Navigator のアーカイブファイル)
- ・ ReadMe.txt



### 5.1.2 BladeSymphony 2000/320 Virtage HVM Utility CDより入手する場合

BS2000 および BS320 は、製品添付の BladeSymphony 2000/320 Virtage HVM Utility CD (Ver. 5.0.0J 以降) に、Virtage Navigator のアーカイブファイルである VirNavi-[バージョン]\_Ess.zip が格納されています。

### 5.1.3 BladeSymphony for Xeon Server Blade Virtage CDより入手する場合

BS1000 Xeon は、Virtage モデルのサーバブレードに添付の BladeSymphony for Xeon Server Blade Virtage CD (Ver. 56-26 以降) に、Virtage Navigator のアーカイブファイルである VirNavi-[バージョン]\_Ess.zip が格納されています。

## 5.2 Virtage Navigator Standard/Advancedの入手

(1) Virtage Navigator Standard を入手するには、以下のソフトウェアを購入します。

- ・Virtage Navigator Standard  
(形名 : GVS-ESU9PVN1N1)

Virtage Navigator のアーカイブファイルである VirNavi-[バージョン]\_Std.zip が CD に格納されています。

(2) Virtage Navigator Advanced を入手するには、以下のソフトウェアを購入します。

- ・Virtage Navigator Advanced  
(形名 : GVS-ESU9PVN2N1)

Virtage Navigator のアーカイブファイルである VirNavi-[バージョン]\_Adv.zip が CD に格納されています。

(3) Standard をお持ちのお客様が Advanced へのアップグレードをご希望される場合は、下記アップグレードライセンスをお求めください。

- ・Virtage Navigator アップグレードライセンス (Standard→Advanced)  
(形名 : GVS-ESU9PVN3N1)

Virtage Navigator のアーカイブファイルである VirNavi-[バージョン]\_Adv.zip が CD に格納されています。

Virtage Navigator をライセンスアップグレードする方法につきましては、14 Virtage Navigator のライセンスアップグレードをご参照下さい。

※Virtage Navigator Essential を既に使用していて Virtage Navigator Standard/Advanced を入手した場合には、14 Virtage Navigator のライセンスアップグレードをご参照し、アップグレードを実施して下さい。

## 6 前提アプリケーションの入手

以下のアプリケーションを入手して下さい。

表 6-1 Virtage Navigator 前提アプリケーションの入手先

ソフトウェア		入手先(※1)	備考
必須	Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)	マイクロソフトダウンロードセンター : <a href="http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/default.aspx">http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/default.aspx</a>	ファイル名 : dotnetfx35.exe バージョン : SP1 ダウンロードサイズ : 231.5MB
	Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5	マイクロソフトダウンロードセンター : <a href="http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/default.aspx">http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/default.aspx</a>	ファイル名 : MSChart.exe バージョン : 3.5.0.0 ダウンロードサイズ : 1.8MB
	Tera Term (Version 4.XX 以降)	Web ページ	—
	リモートコンソールアプリケーション (Version04-02 以降) ※2	BladeSymphony ホームページ : <a href="http://www.hitachi.co.jp/products/blade_symphony/">http://www.hitachi.co.jp/products/blade_symphony/</a>	—
LPAR マイグレーション	JRE (Java Runtime Environment) 6 ※3	ORACLE ダウンロードページ : <a href="http://www.oracle.com/technology/global/jp/software/index.html">http://www.oracle.com/technology/global/jp/software/index.html</a>	—
	Plink Release 0.60 ※4	PuTTY Download Page : <a href="http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/download.html">http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/download.html</a>	ファイル名 : plink.exe

—:なし

※1:入手先アドレスは、2010 年 12 月に確認したものです。変更されることがあるので、ご注意下さい。

※2:リモートコンソールアプリケーションを R-KVM と表記することがあります。

※3:LPAR マイグレーション機能を使用する場合は、必ずダウンロードして下さい。

※4:plink.exe の動作確認は Release 版で行っているため、必ず Release 版 (0.60) をダウンロードして下さい。

開発中のバージョン (Development snapshot 版) は、動作が不安定な場合があります。

LPAR マイグレーションの Linux サーバのリモートシャットダウンを使用する場合は、必ずダウンロードする必要があります。

## 6.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)の入手

- (1) マイクロソフトダウンロードセンターで、以下の文字列を使って検索します。

**Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)**

- (2) 検索結果から、**".NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)"**を選択します。
- (3) 表 6-1 Virtage Navigator前提アプリケーションの入手先の備考欄の内容が、**"このページの内容"**の**"ファイル名"**、**"バージョン"**、および**"ダウンロードサイズ"**と一致していることを確認し、ダウンロードボタンをクリックします。
- (4) ポップアップしたファイルのダウンロードウインドウで、保存(S) ボタンをクリックし、**"dotnetfx35.exe"**を任意の場所に保存します。

## 6.2 Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 の入手

- (1) マイクロソフトダウンロードセンターで、以下の文字列を使って検索します。

**Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5**

- (2) 検索結果から、**"Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5"**を選択します。
- (3) 表 6-1 Virtage Navigator前提アプリケーションの入手先の備考欄の内容が、**"このページの内容"**の**"ファイル名"**、**"バージョン"**、および**"ダウンロードサイズ"**と一致していることを確認し、ダウンロードボタンをクリックします。
- (4) ポップアップしたファイルのダウンロードウインドウで、保存(S) ボタンをクリックし、**"MSChart.exe"**を任意の場所に保存します。

## 6.3 JRE(Java Runtime Environment) 6 の入手

- (1) ORACLE ダウンロードページで、[カテゴリごとに表示:]の[Java]より[Java Runtime Environment(JRE)]をクリックします。
- (2) [Java のダウンロード一覧]をクリックします。
- (3) [Windows]の[Windows 7/XP/Vista/2000/2003/2008 オフライン]をクリックします。
- (4) ポップアップしたファイルのダウンロードウインドウで、保存(S) ボタンをクリックし、任意の場所に保存します。

(1) **PuTTY Download Page** で、**[Binaries]**の**[For Windows on Intel x86]**より**[plink.exe]**をクリックします。  
(plink.exe の動作確認は Release 版で行っているため、必ず Release 版(0.60)をダウンロードして下さい。)

図 6-1 PuTTY Download Page (Plink Release 0.60 の入手)

(2) ポップアップしたファイルのダウンロードウィンドウで、保存(S) ボタンをクリックし、“plink.exe”を任意の場所に保存します。

## 6.5 Tera Term (Version 4.XX以降) の入手

Web から Tera Term (Version 4.XX 以降) を入手します。

## 6.6 リモートコンソールアプリケーション (Version 04-02 以降) の入手

BladeSymphony ホームページから入手します。

ホームページアドレス : <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

(1) 本ホームページを以下のとおりに進みます。(以下の名称は変更されることがあります。)

[ダウンロード]

↓

[ハードウェア関連 ダウンロード] の [詳細はこちら]

↓

[ダウンロード最新情報一覧] の [ユーティリティ (アップデートモジュール含む)]

↓

[リモートコンソールアプリケーション (Windows)] の [BS2000/BS320] の [Version x.x.x.x xxxx 年 xx 月 xx 日]

(2) rkvmXX-XX\_JP.exe をダウンロードします。(XX-XX はバージョンを示す)

## 7 インストール

### 7.1 Virtage Navigatorのインストール

Virtage Navigator のアーカイブファイルは、VirNavi-[バージョン]\_[ライセンス].zip という名前がついています。

(例) VirNavi-1.0.4.19\_Adv.zip

- ・“1.0.4.19” は、Virtage Navigator のバージョンです。
- ・“Adv” は、Virtage Navigator のライセンスです。

アーカイブファイルの表記とライセンスの関係は、以下のとおりです。

表 7-1 アーカイブファイルの表記とライセンスの関係

アーカイブファイルの表記	ライセンス
Ess	Essential
Std	Standard
Adv	Advanced

インストール手順については、「BladeSymphony Virtage Navigator インストール手順書」をご参照下さい。

インストール時の Virtage Navigator のフォルダ構成は、以下のとおりです。

表 7-2 Virtage Navigator フォルダ構成

No.	フォルダ名
1	VirNavi
2	AppData
3	bin
4	mms
5	Regist

## 7.2 前提アプリケーションのインストール

以下のアプリケーションをインストールして下さい。

- i. 以下のアプリケーションのインストール手順については、「BladeSymphony Virtage Navigator インストール手順書」をご参照下さい。
  - (1) Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package) ※1
  - (2) Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5
  - (3) JRE(Java Runtime Environment) 6 ※2
  - (4) Plink Release 0.60 ※3, ※4
- ii. 以下のアプリケーションはダウンロードしたファイルを実行し、案内に従ってインストールして下さい。
  - (5) Tera Term(Version 4.XX 以降)
- iii. 以下のアプリケーションのインストール手順については、「リモートコンソールアプリケーションユーザーズガイド」をご参照下さい。 ※5
  - (6) リモートコンソールアプリケーション(Version 04-02 以降)

※1:Microsoft .NET Framework 4.0 は、サポートしておりません。

※2:Windows x64 版では、環境変数のパスの設定に Java のインストール先ディレクトリを追加して下さい。

設定方法については、「BladeSymphony Virtage Navigator インストール手順書」をご参照下さい。

LPAR 마이그레이션機能を使用する場合は、必ずインストールして下さい。

※3:plink.exe の動作確認は Release 版で行っているため、必ず Release 版(0.60)をインストールして下さい。

開発中のバージョン(Development snapshot 版)は、動作が不安定な場合がありますので、使用しないで下さい。

LPAR 마이그레이션の Linux サーバのリモートシャットダウンを使用する場合は、必ずインストールして下さい。

※4:plink.exe は、Virtage Navigator インストールフォルダ¥VirNavi¥bin に格納して下さい。

plink.exeを他のフォルダに格納する場合は、10.9.3 前提アプリケーションの登録に示す手順に従って、インストール先のフォルダをVirtage Navigatorに登録して下さい。

※5: 「リモートコンソールアプリケーションユーザズガイド」は、BladeSymphony ホームページから入手します。

ホームページアドレス : <http://www.hitachi.co.jp/products/bladesymphony/>

(1) 本ホームページを以下のとおりに進みます。(以下の名称は変更されることがあります。)

[ダウンロード]



[ハードウェア関連 ダウンロード]の[詳細はこちら]



[ダウンロード最新情報一覧]の[ユーザズガイド]



[ハイエンドモデル BS2000]

[ハイエンドモデル BS1000]

[小型高集積モデル BS320]

から、ご使用のブレードサーバの項目に進みます。



[リモートコンソールアプリケーション ユーザズガイド]の[Version 第 x 版 xxxx 年 xx 月 xx 日]

(2) PDF ファイルをダウンロードします。

## 7.3 再起動

前提アプリケーションをインストール後、Virtage Navigator を起動する前に、必ずインストール先 PC またはサーバの再起動をして下さい。再起動をしないと、Virtage Navigator が正常に動作できない場合があります。



## 8 Virtage Navigatorの起動

(1) Virtage Navigator を起動するには、VNavigator.exe を実行します。

VNavigator.exe は Virtage Navigator インストールフォルダ¥VirNavi¥bin に格納されています。

Virtage Navigator を起動すると Login ウィンドウが開きます。

(Virtage Navigatorのコントロールにつきましては、19 Virtage Navigatorのコントローラー一覧をご参照下さい。)

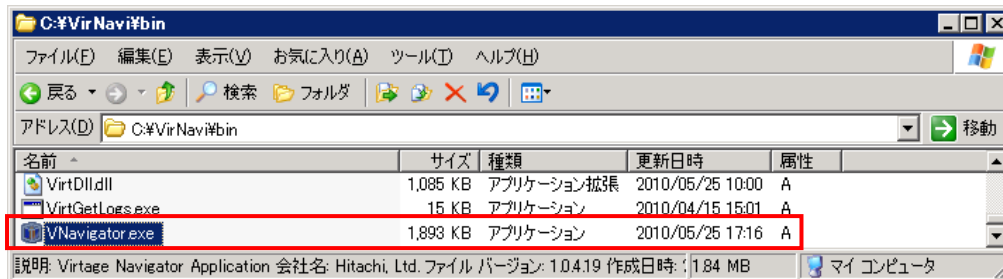


図 8-1 Virtage Navigator の起動

(2) Virtage Navigator へのログイン

ユーザ ID、パスワードを入力し、Login ボタンをクリックすることで Virtage Navigator の Main ウィンドウを開くことができます。

ログイン可能なユーザ ID は以下のとおりです。

表 8-1 ログイン可能なユーザ ID

ユーザ ID	パスワード
user00	pass00

※現在、ユーザ ID、パスワードの登録は未サポートですので、固定のユーザ ID、パスワードでご使用下さい。

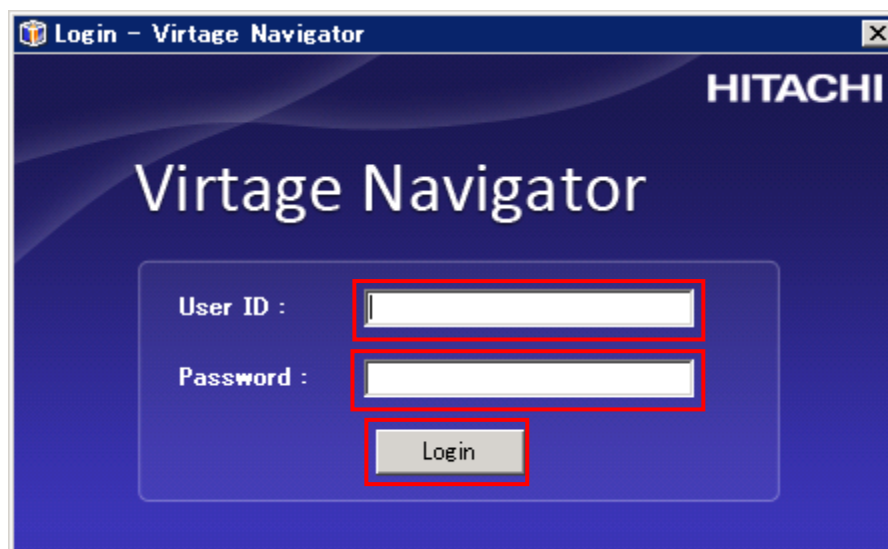


図 8-2 Login ウィンドウ (ユーザ ID、パスワード入力)

Virtage Navigator を起動する際に必要なデータを読み込みます。

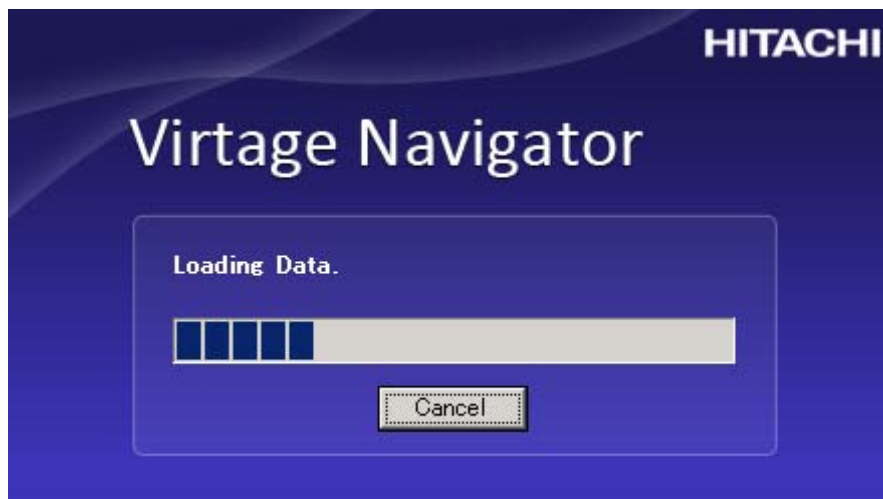


図 8-3 Login ウィンドウ(データ読み込み中)

ログインすると Main ウィンドウを開きます。

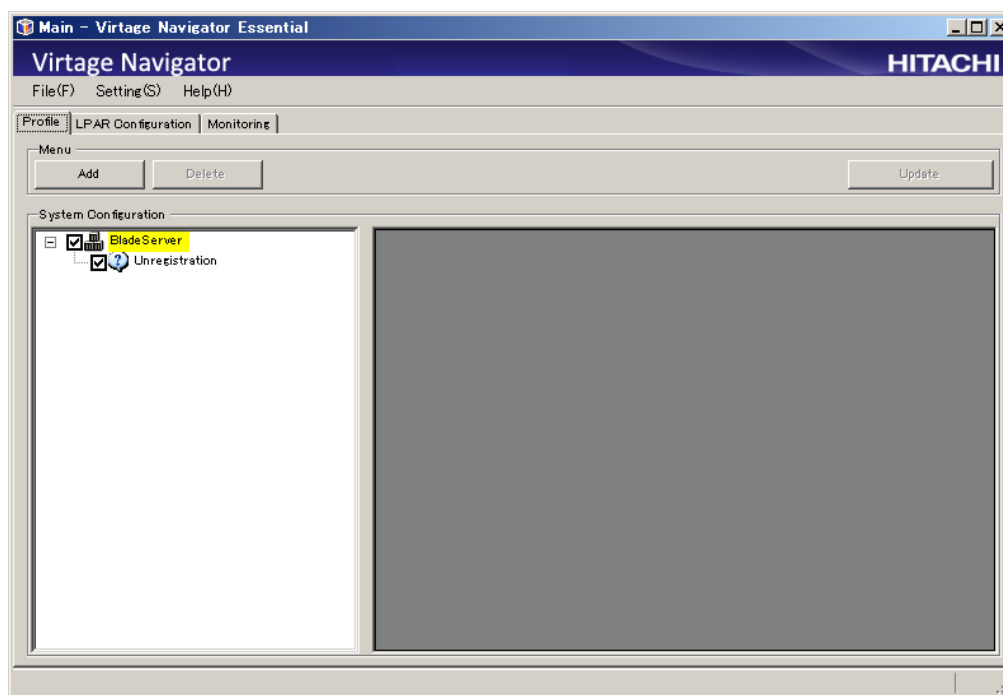


図 8-4 Main ウィンドウ(ログイン直後)

(3) Virtage Navigator のライセンスを確認して下さい。

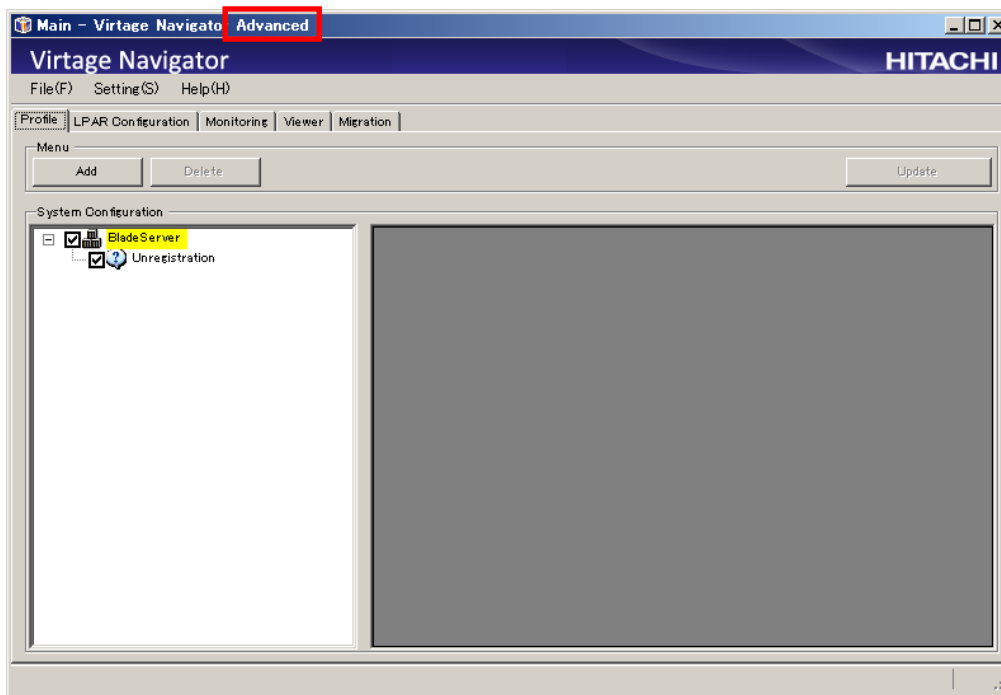


図 8-5 Main ウィンドウ(ライセンスモデル説明)

# 9 Virtage Navigator機能の開始

Virtage Navigator の機能は、Virtage Navigator の Main ウィンドウに設けられたタブメニューを選択することで実行します。

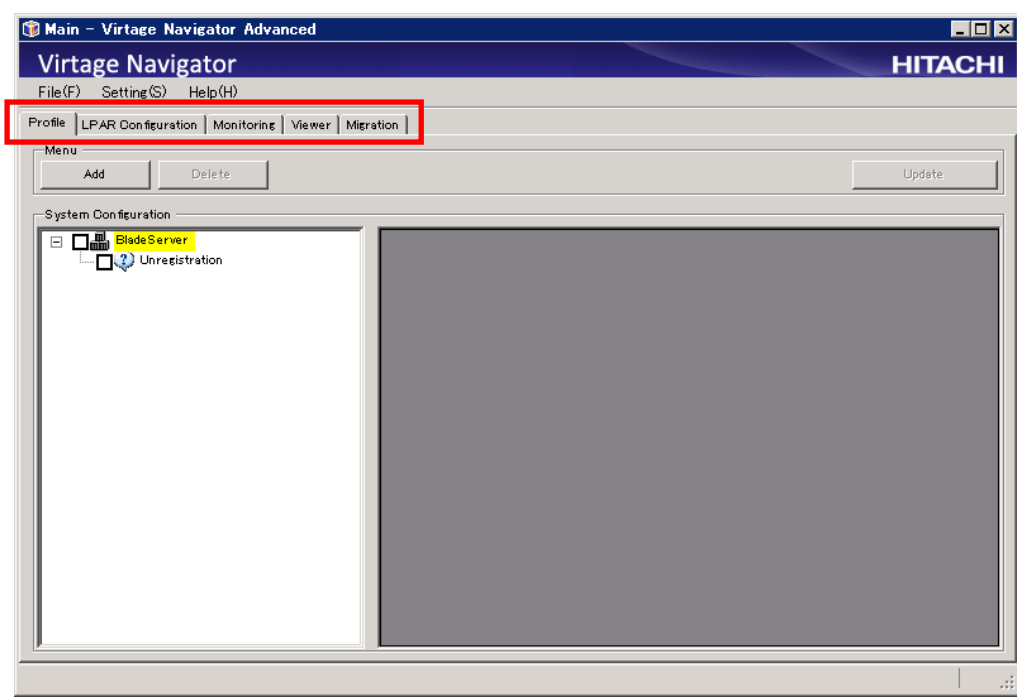


図 9-1 Main ウィンドウ(タブメニュー説明)

タブメニューは、以下の機能を実行します。

表 9-1 タブメニュー

タブメニュー	説明	備考
Profile	接続する HVM を登録します	—
LPAR Configuration	LPAR 設定機能を実行します。	—
Monitoring	モニタリング機能を実行します	—
Viewer	構成ビューア機能を実行します	Essential では表示されません
Migration	LPAR マイグレーション機能を実行します	Essential では表示されません

— : 項目なし

## 9.1 HVMの登録

管理サーバ環境で使用する際には、予め、接続対象のHVMを登録しておく必要があります。

HVMの登録操作は、以下の手順か Initial Setup 機能で登録することができます。

Initial Setup 機能でのHVMの登録は「BladeSymphony Virtage Navigator LPAR 設定編」のHVM導入時の初期起動をご参照ください。

- (1) Main ウィンドウで Profile タブを選択します。
- (2) Profile タブの Menu フレーム内にある Add ボタンをクリックします。  
Configuration Registration ウィンドウが表示されます。

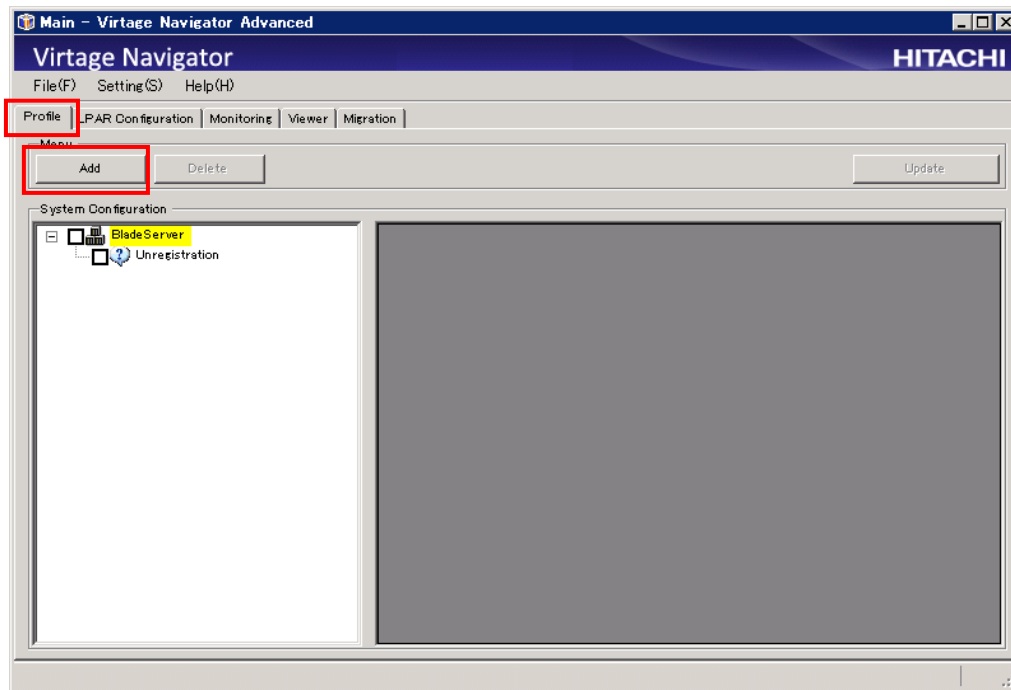


図 9-2 Main ウィンドウ (HVM 登録前)

- (3) 図 9-3 Configuration Registrationウィンドウのように値を入力し、Searchボタンをクリックします。  
(例) 172.16.24.105～172.16.24.109 の間で登録する HVM を探します。

Configuration Registration - Virtage N...

Machinery Choice  
Machinery  
HVM

Input Condition  
☒ IP Range Specification  
From: 172 . 16 . 24 . 105  
To : 172 . 16 . 24 . 109  
TimeOut Limit : 10 ( 1-999 sec. Def:10 )

Search

Machinery List

<input checked="" type="checkbox"/>	HVMIP	HVMID	SupportFunction
-------------------------------------	-------	-------	-----------------

Add Close

図 9-3 Configuration Registration ウィンドウ (HVM 探索)

- (4) HVM が検知された場合、Machinery List に HVM が表示されます。  
追加する HVM にチェックが入っていることを確認し、Add ボタンをクリックします。

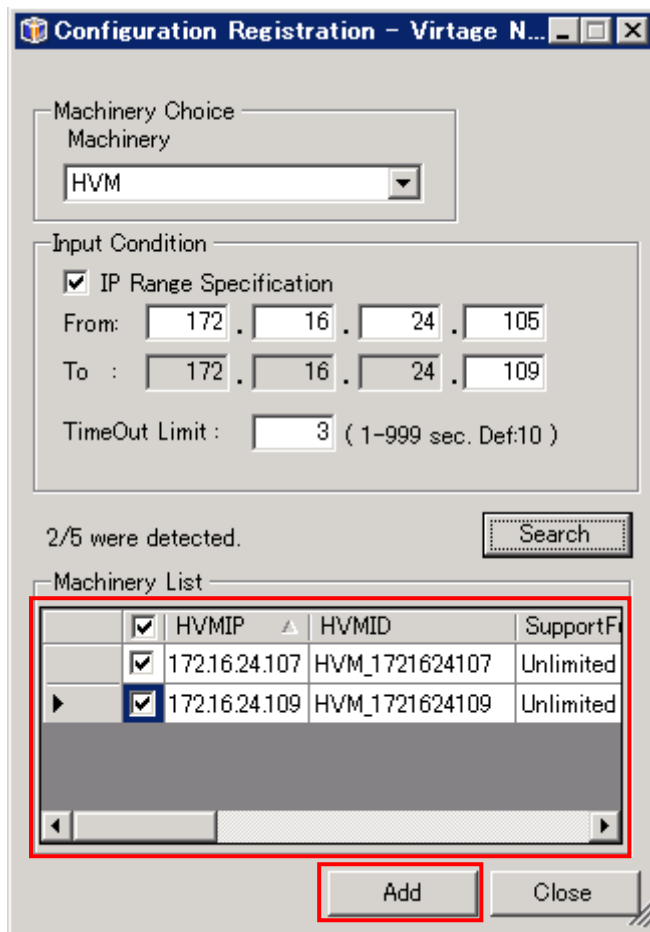


図 9-4 Configuration Registration ウィンドウ (HVM 登録)

- (5) OK ボタンをクリックします。

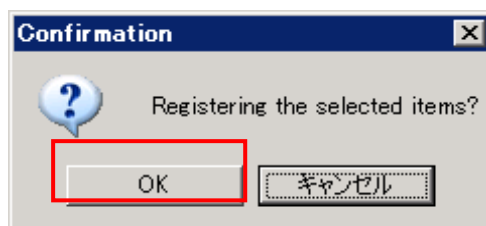


図 9-5 Confirmation ウィンドウ (HVM 登録)

登録した HVM は、System Configuration フレーム内のツリービューに表示されます。

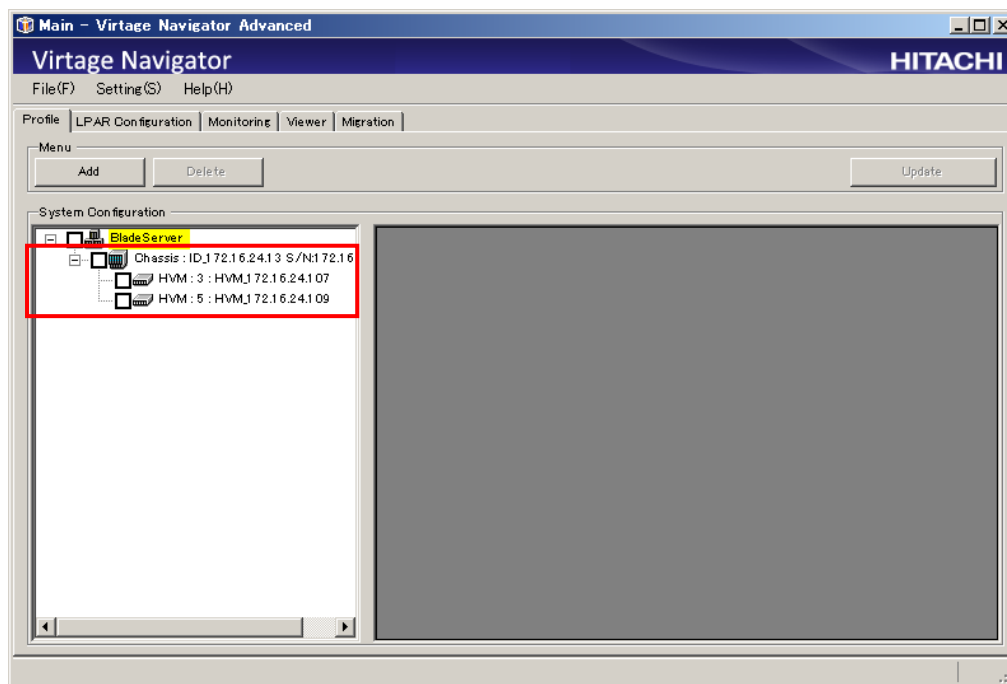


図 9-6 Main ウィンドウ (HVM 登録後)

なお、IPアドレス探索の結果、下図赤枠内のようにSupportFunctionにMonitor Onlyと表示されるHVMが検知された場合、そのHVMを登録しても、構成ビューア機能とLPARマイグレーション機能はご利用いただけません。(詳しくは、3.2 Virtage Navigator機能のサポートHVM FWバージョン一覧をご確認下さい。)

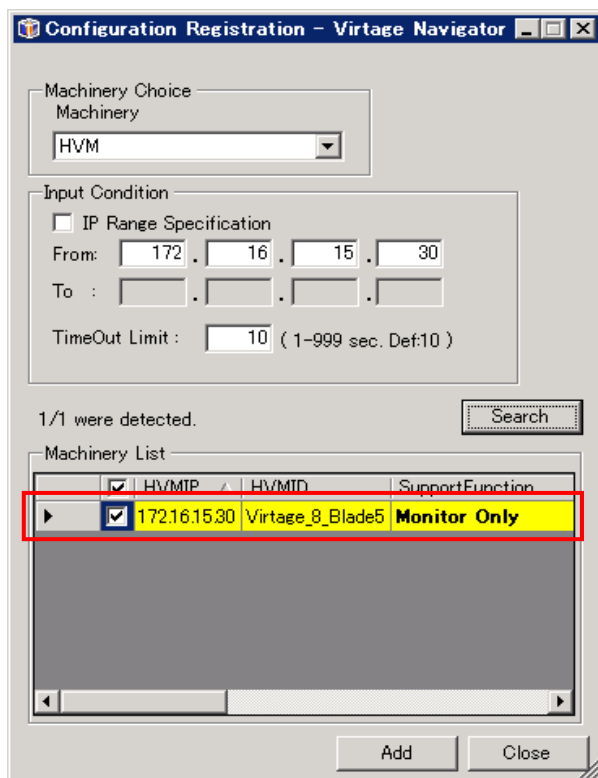


図 9-7 Configuration Registration ウィンドウ (Monitor Only HVM の登録)



Monitor Only の HVM を登録すると、System Configuration フレーム内のツリービューには、シャーシが “Chassis Unknown”、ブレード番号が “\*” と表示されます。

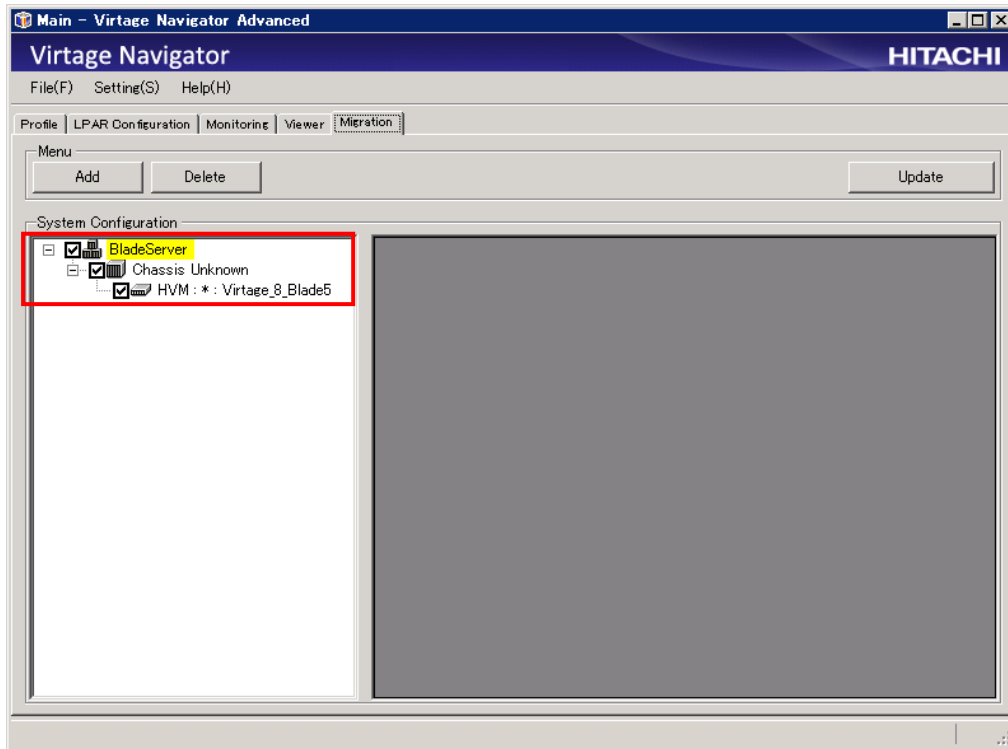


図 9-8 Main ウィンドウ (Chassis Unknown 表示)

## 9.2 LPAR設定

Main ウィンドウで LPAR Configuration タブを選択します。

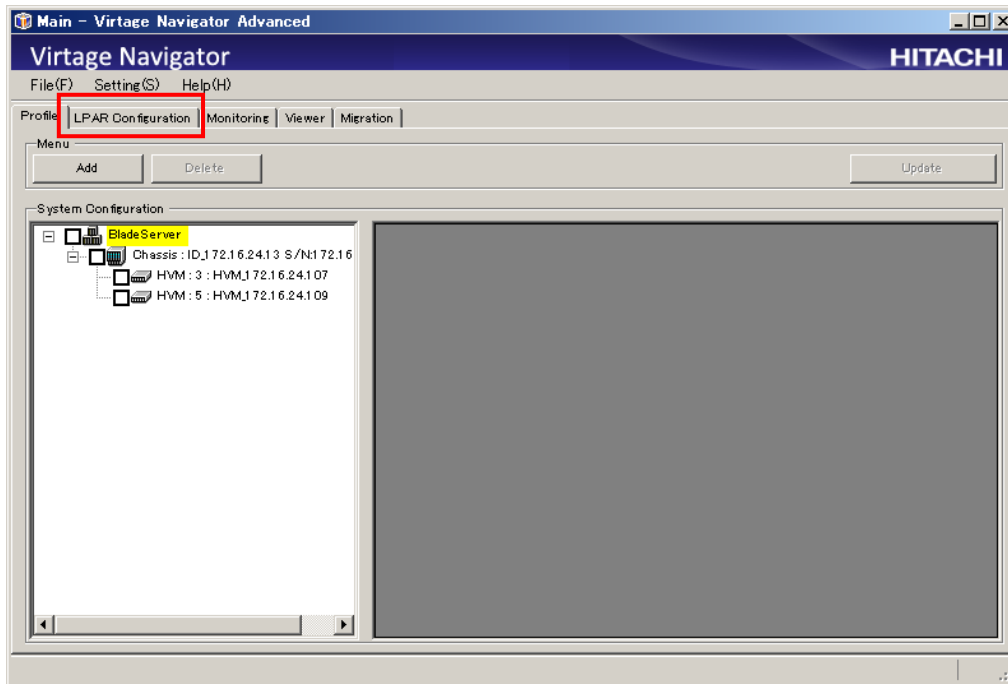


図 9-9 Main ウィンドウ (LPAR Configuration タブの選択)

LPAR Configuration タブに移動します。

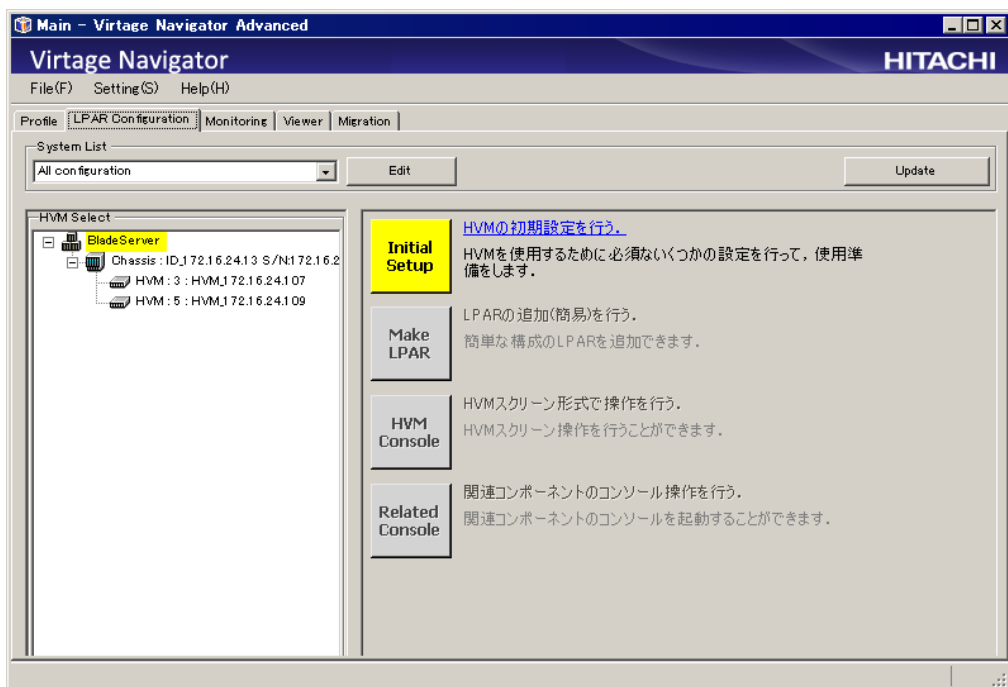


図 9-10 Main ウィンドウ (LPAR Configuration タブの表示)

以降の操作は、「BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド LPAR 設定編」をご覧ください。

## 9.3 モニタリング

Main ウィンドウで Monitoring タブを選択します。

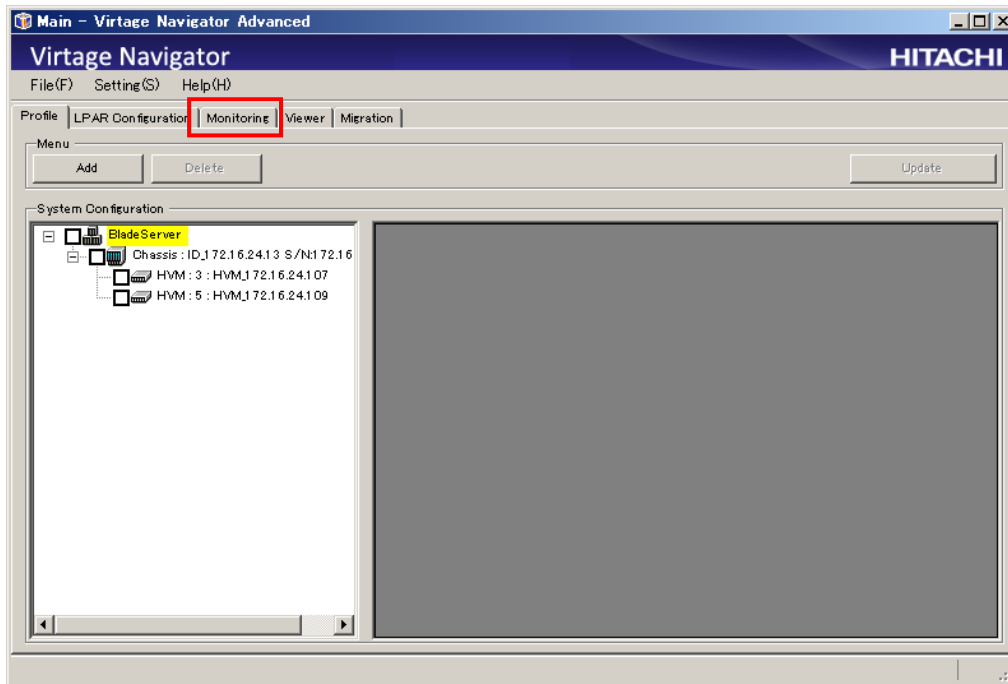


図 9-11 Main ウィンドウ (Monitoring タブの選択)

Monitoring タブに移動します。

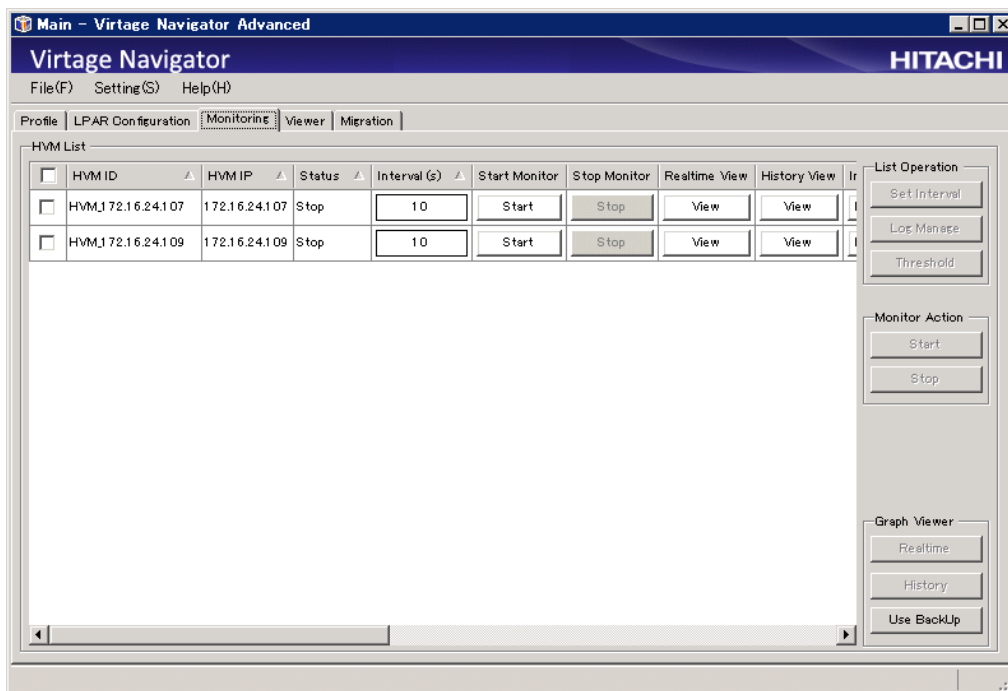


図 9-12 Main ウィンドウ (Monitoring タブの表示)

以降の操作は、「BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド モニタリング編」をご覧ください。

## 9.4 構成ビューア

Main ウィンドウで Viewer タブを選択します。

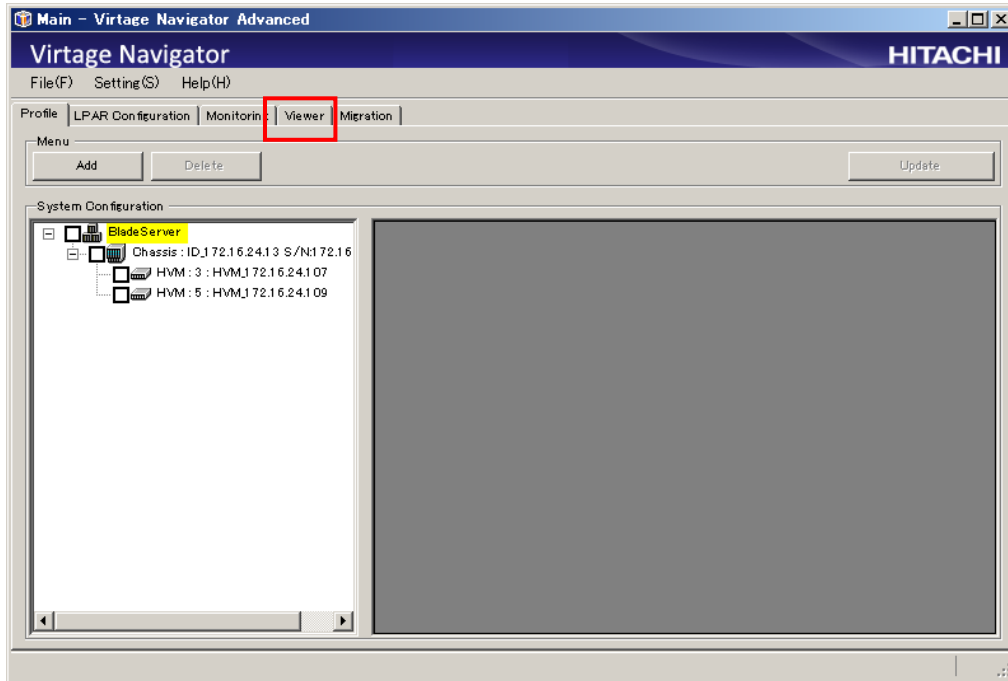


図 9-13 Main ウィンドウ (Viewer タブの選択)

Viewer タブに移動します。

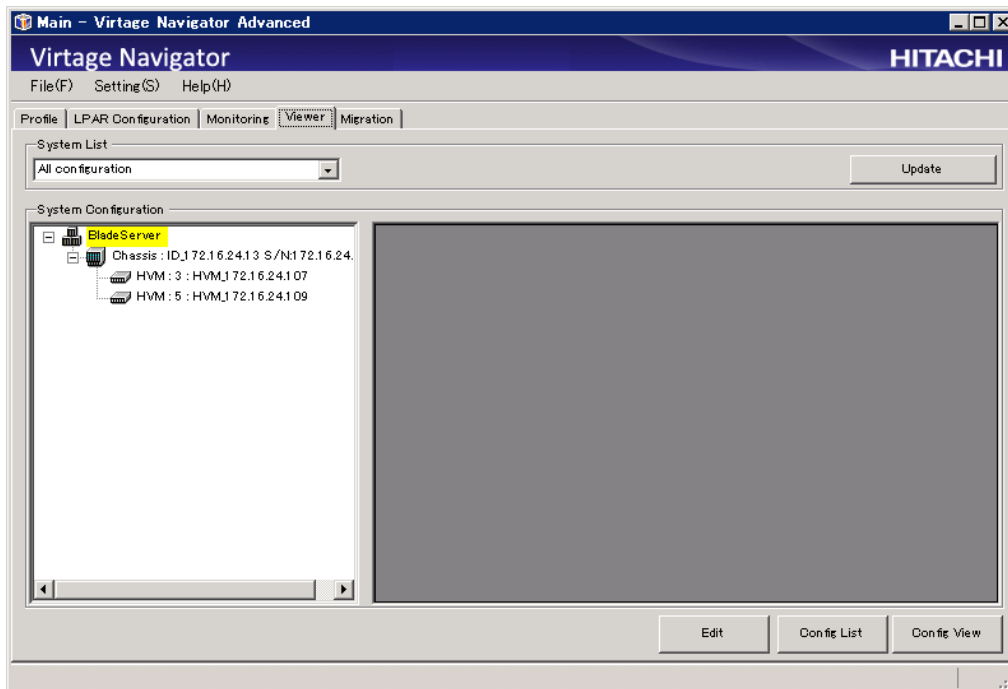


図 9-14 Main ウィンドウ (Viewer タブの表示)

以降の操作は、「BladeSymphony Virtage Navigator ユーザーズガイド 構成ビューア編」をご覧ください。

## 9.5 LPARマイグレーション

Main ウィンドウで Migration タブを選択します。

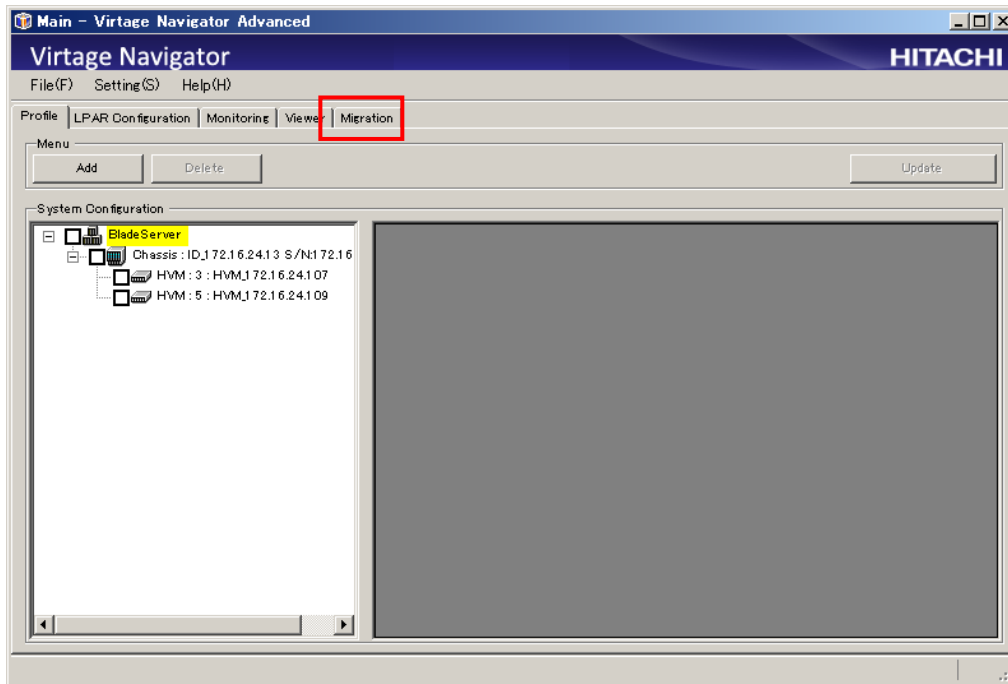


図 9-15 Main ウィンドウ (Migration タブの選択)

Migration タブに移動します。

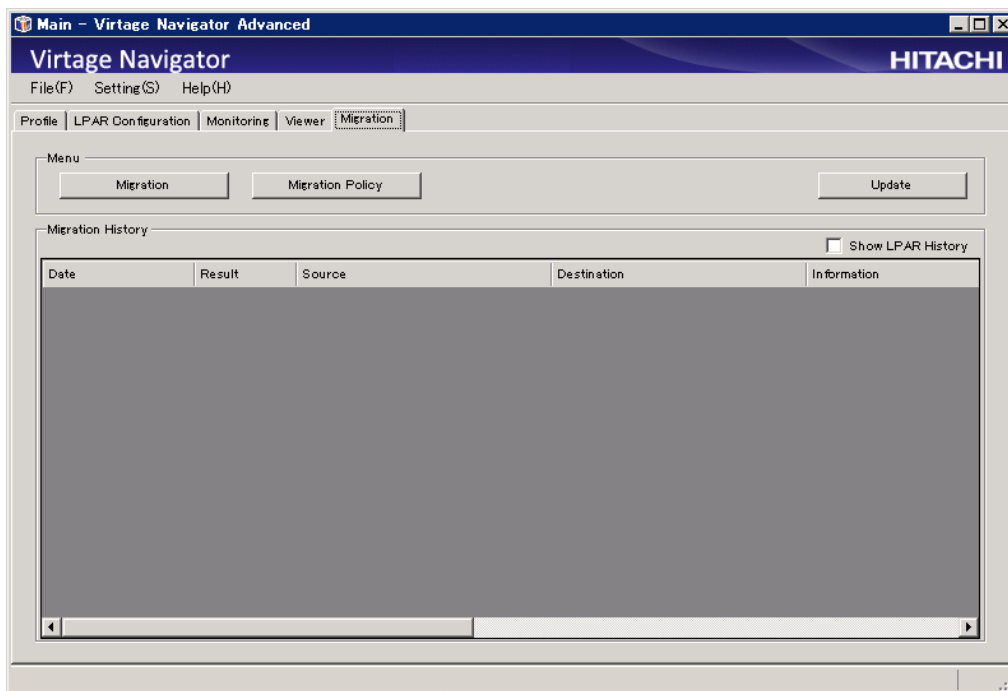


図 9-16 Main ウィンドウ (Migration タブの表示)

以降の操作は、「Blade Symphony Virtage Navigator ユーザーズガイド LPAR マイグレーション編」をご覧ください。

JRE (Java Runtime Environment) 6 をインストールしていない場合、Main ウィンドウで Migration タブを選択すると、ウィンドウ右下に” Java Not Found” と表示されます。

LPAR マイグレーションを使用する場合は、「BladeSymphony Virtage Navigator インストール手順書」にしたがって、JRE (Java Runtime Environment) 6 をインストールして下さい。

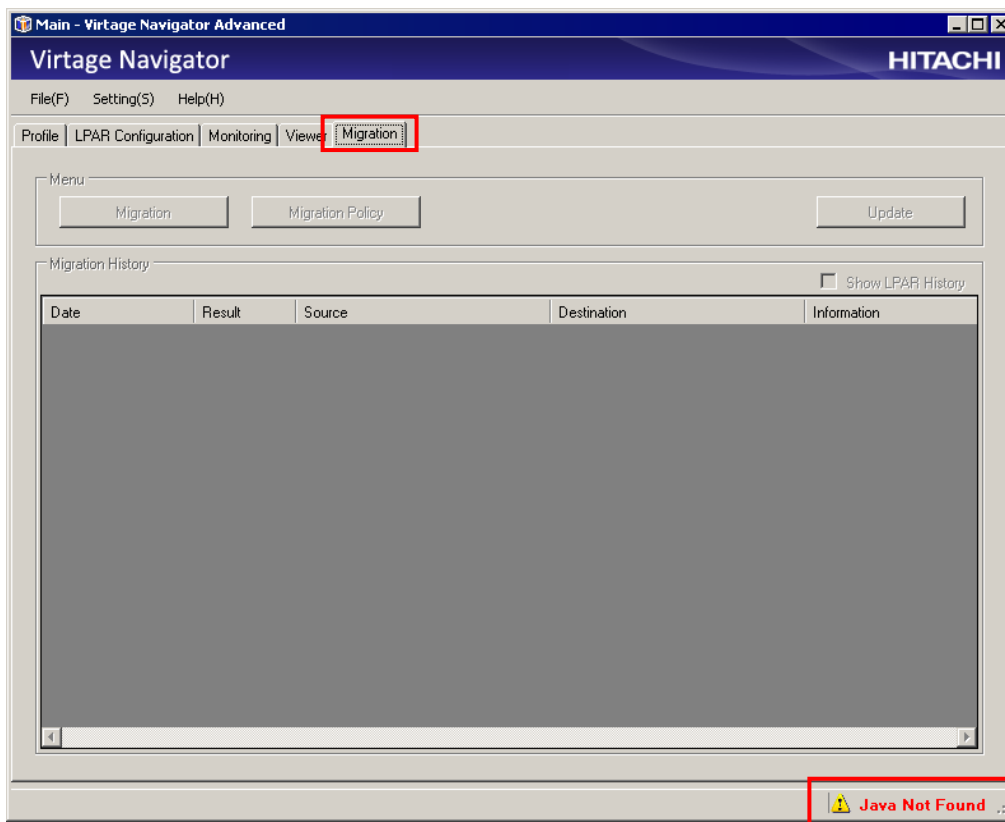


図 9-17 Main ウィンドウ (JRE (Java Runtime Environment) 6 がインストールされていない場合)

## 10 オプション機能

### 10.1 HVM通信タイムアウト時間の設定

Virtage Navigator が HVM と通信を行う際のタイムアウト時間を設定できます。

なお、以下の場合、本設定は適用されません。

- ・ Profile タブでの HVM 登録
- ・ Monitoring でのパフォーマンスデータ取得

設定手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

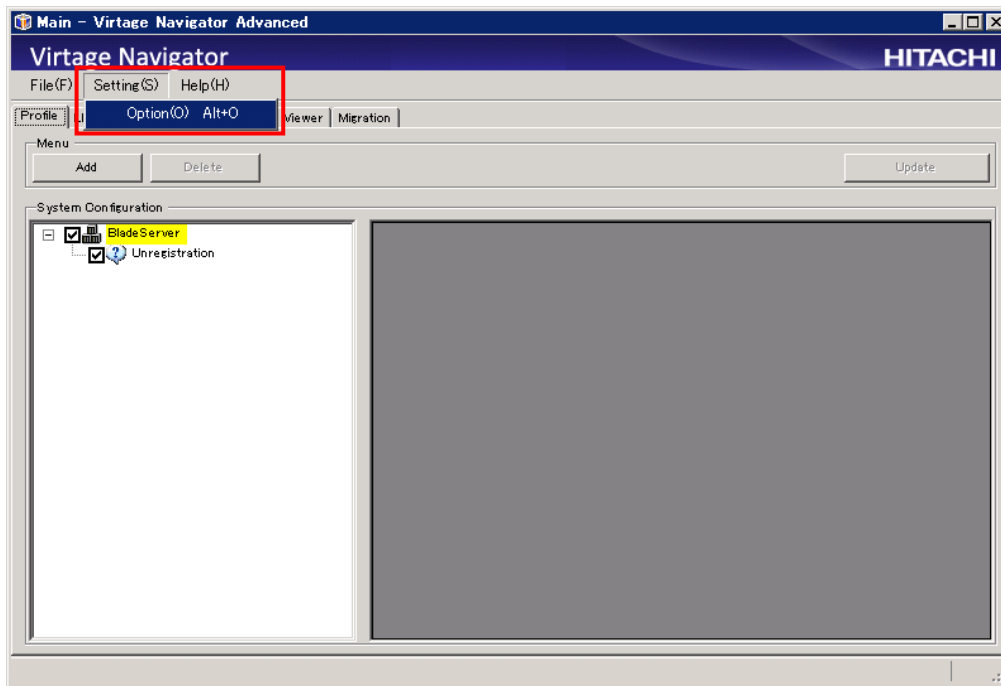


図 10-1 Main ウィンドウ (HVM 接続タイムアウト時間の設定)

(2) Option メニューから HVM を選択します。

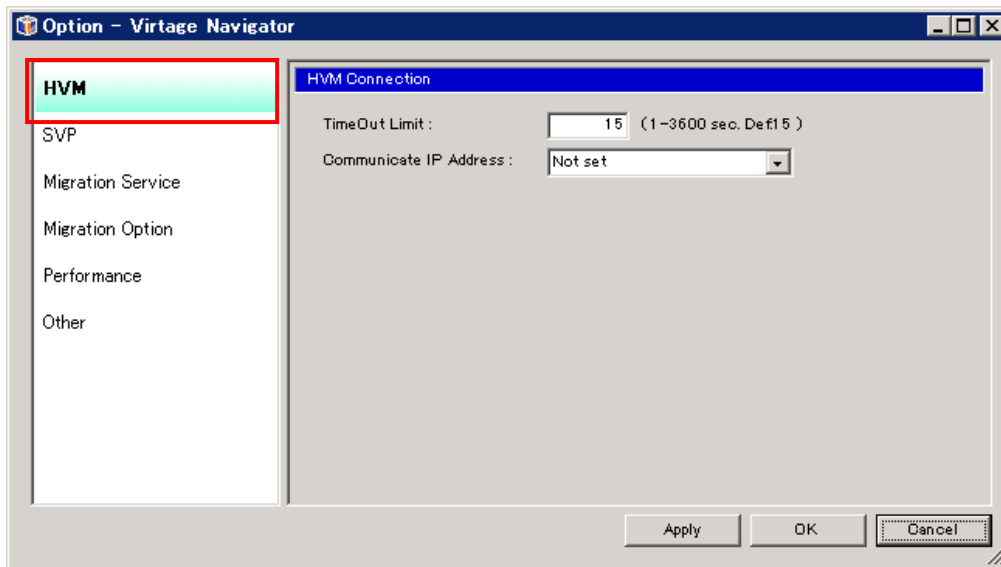


図 10-2 Option ウィンドウ (HVM 接続タイムアウト時間の設定)

(3) TimeOut Limit テキストボックスにタイムアウト時間を入力します。  
デフォルトでは 15 秒に設定されています。

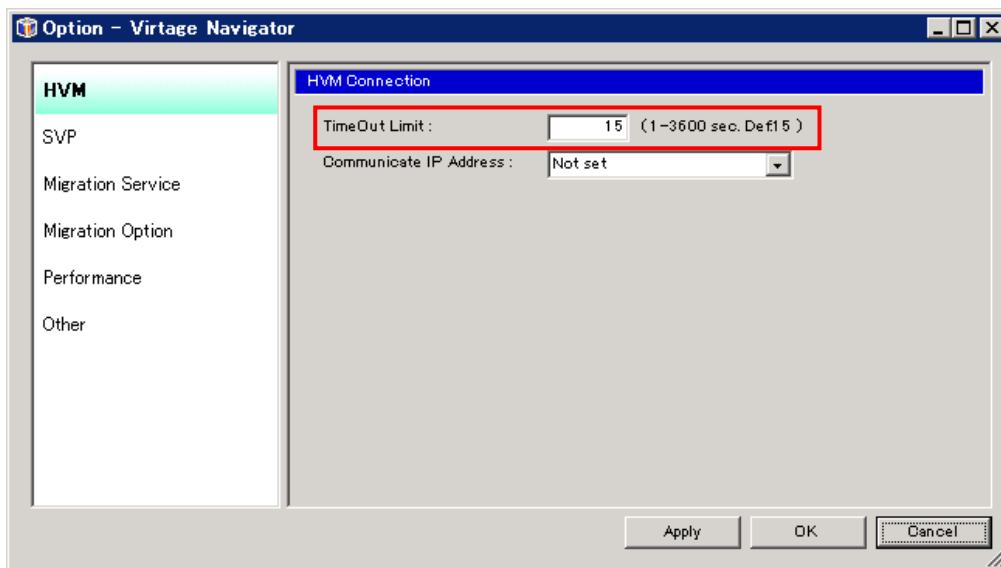


図 10-3 Option ウィンドウ (TimeOut Limit の設定)



(4) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

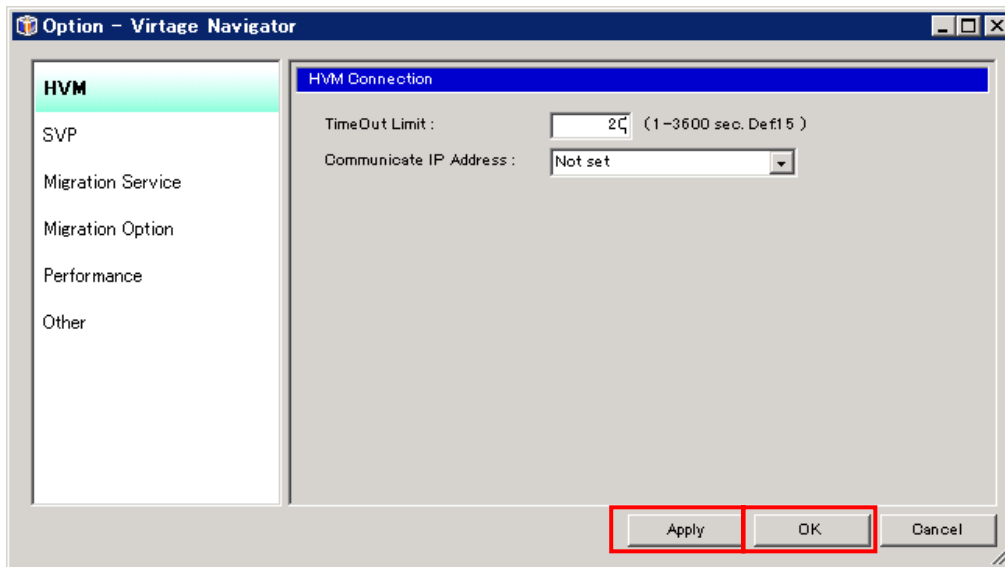


図 10-4 Option ウィンドウ (TimeOut Limit 設定の保存)

## 10.2 管理サーバのIPアドレスの設定

管理サーバに複数の IP アドレスが設定されている環境では、本設定により Virtage Navigator が HVM との通信に使用する管理サーバ側の IP アドレスを指定することができます。

なお、“Not set”を指定した場合は、OS のルーティング設定により通信する IP アドレスが自動的に選択されます。

(本設定は、管理サーバに設定されている IP アドレスが一つだけの場合は設定を変更する必要はありません。)

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

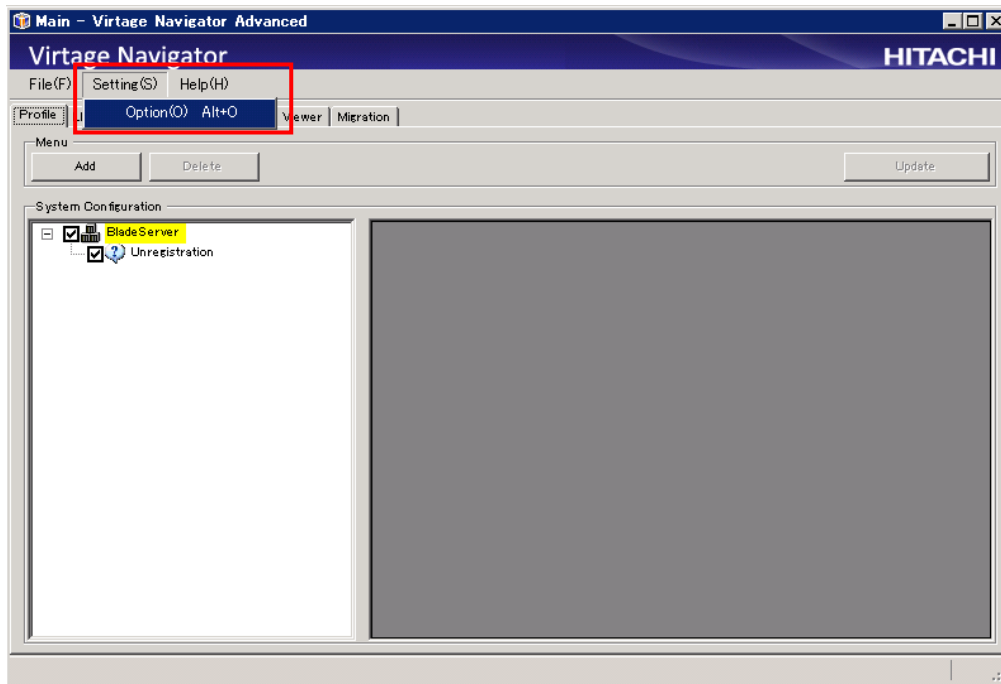


図 10-5 Main ウィンドウ(管理サーバの IP アドレスの設定)

(2) Option メニューから HVM を選択します。

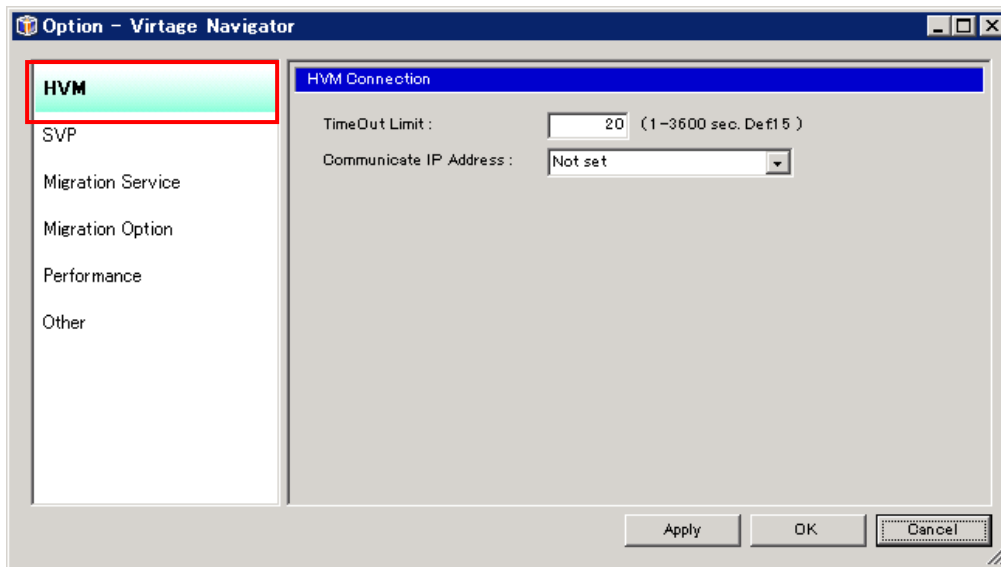


図 10-6 Option ウィンドウ (HVM の選択)

(3) Communicate IP Address コンボボックスから IP アドレスを選択します。

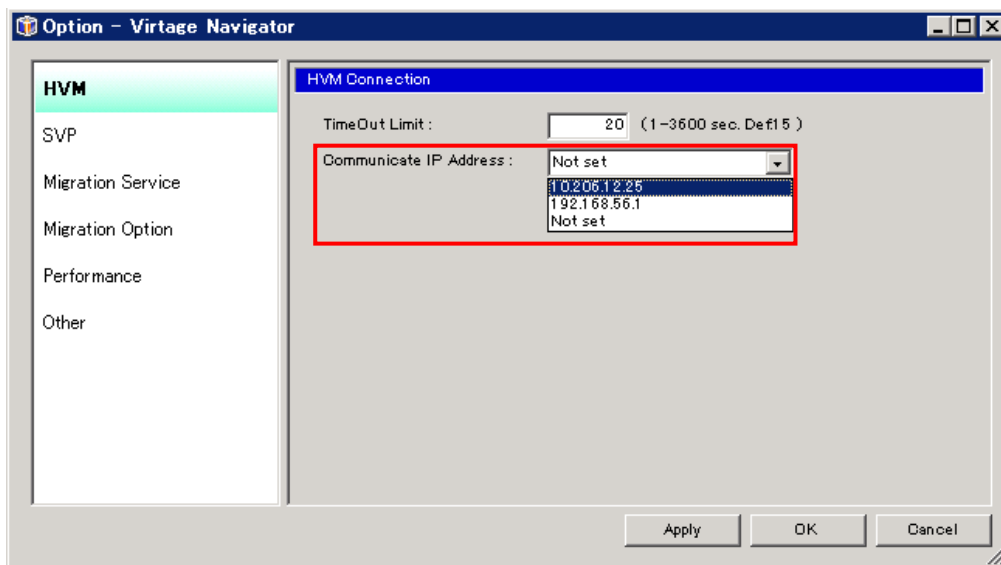


図 10-7 Option ウィンドウ (Communicate IP Address の選択)

(4) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

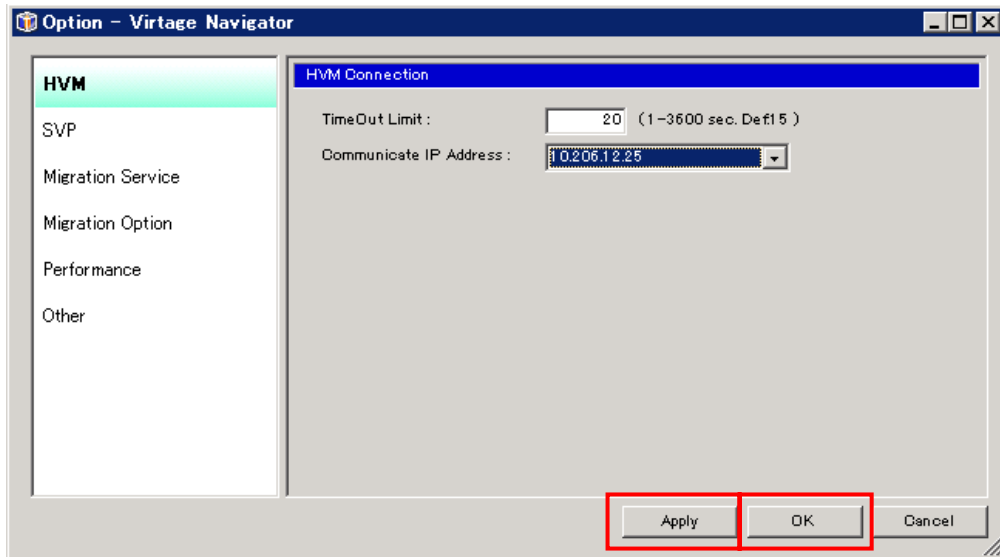


図 10-8 Option ウィンドウ (Communicate IP Address 選択の保存)

## 10.3 SVP通信タイムアウト時間の設定

Virtage Navigator が SVP と通信を行う際のタイムアウト時間を設定できます。

設定手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

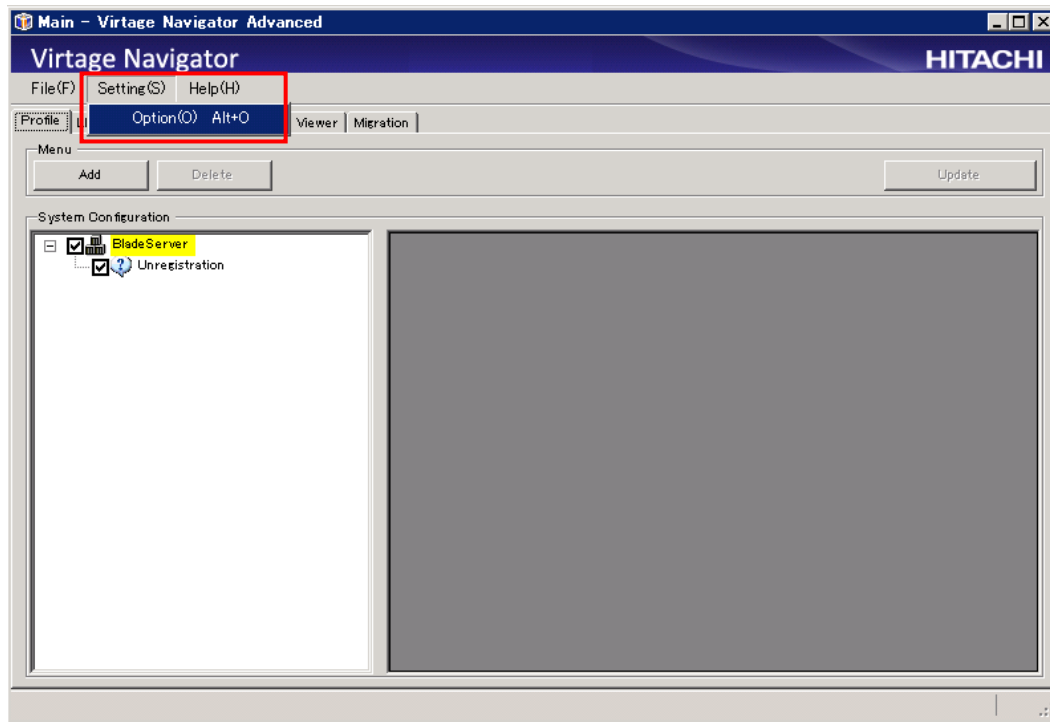


図 10-9 Main ウィンドウ (SVP 接続タイムアウト時間の設定)

- (2) Option メニューから SVP を選択します。

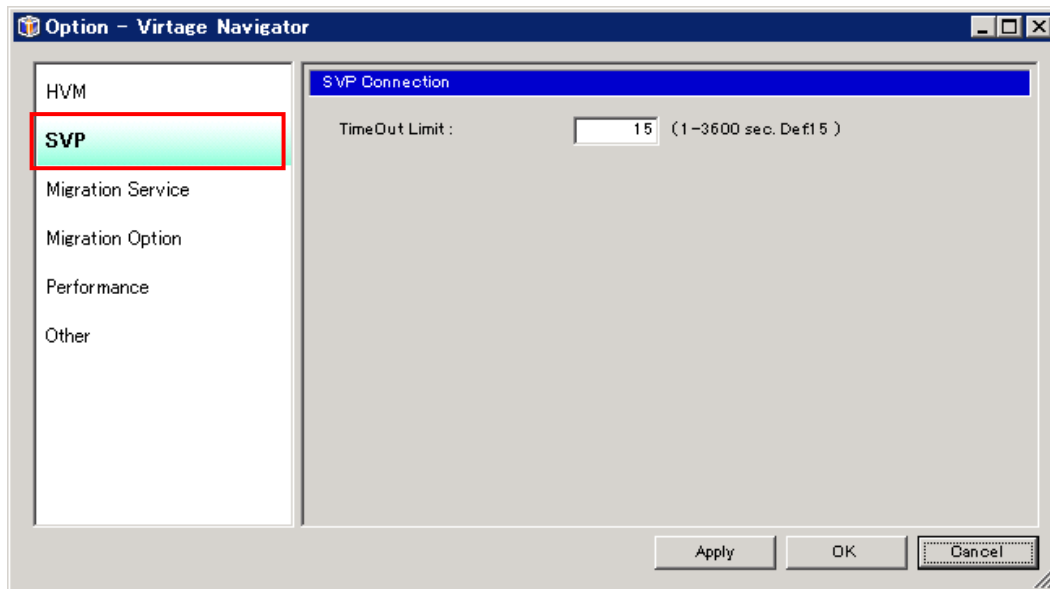


図 10-10 Option ウィンドウ (SVP 接続タイムアウト時間の設定)

- (3) TimeOut Limit テキストボックスにタイムアウト時間を入力します。  
デフォルトでは 15 秒に設定されています。

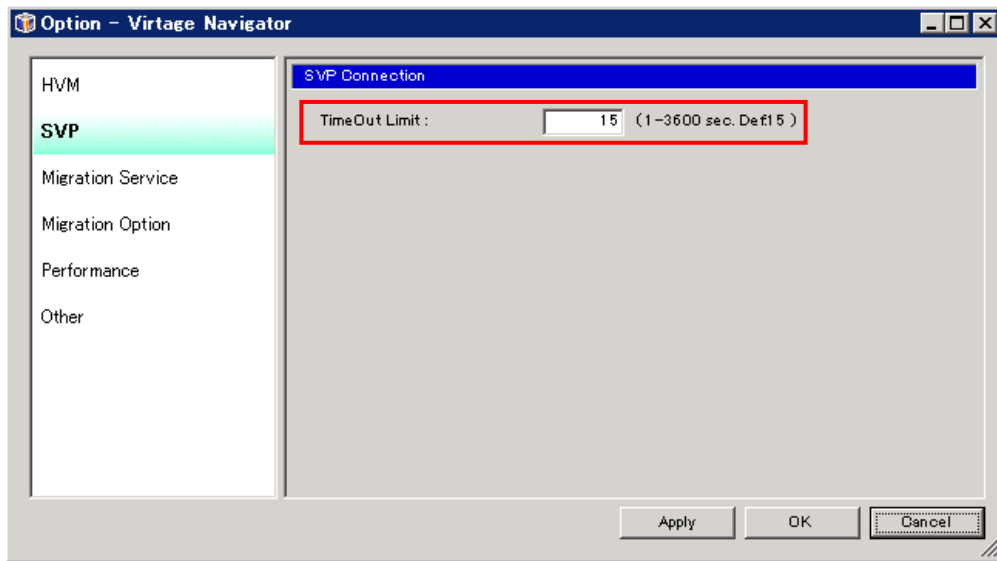


図 10-11 Option ウィンドウ (TimeOut Limit の設定)

- (4) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

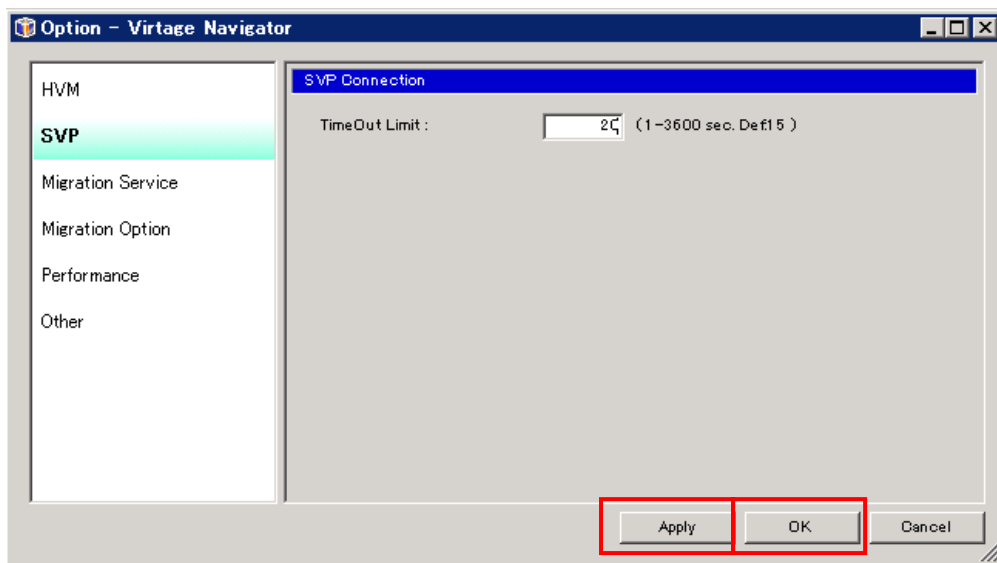


図 10-12 Option ウィンドウ (TimeOut Limit 設定の保存)

## 10.4 Virtage Navigatorへのプロセッサ割り当て

Virtage Navigator が使用するプロセッサのリソースを指定することができます。

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

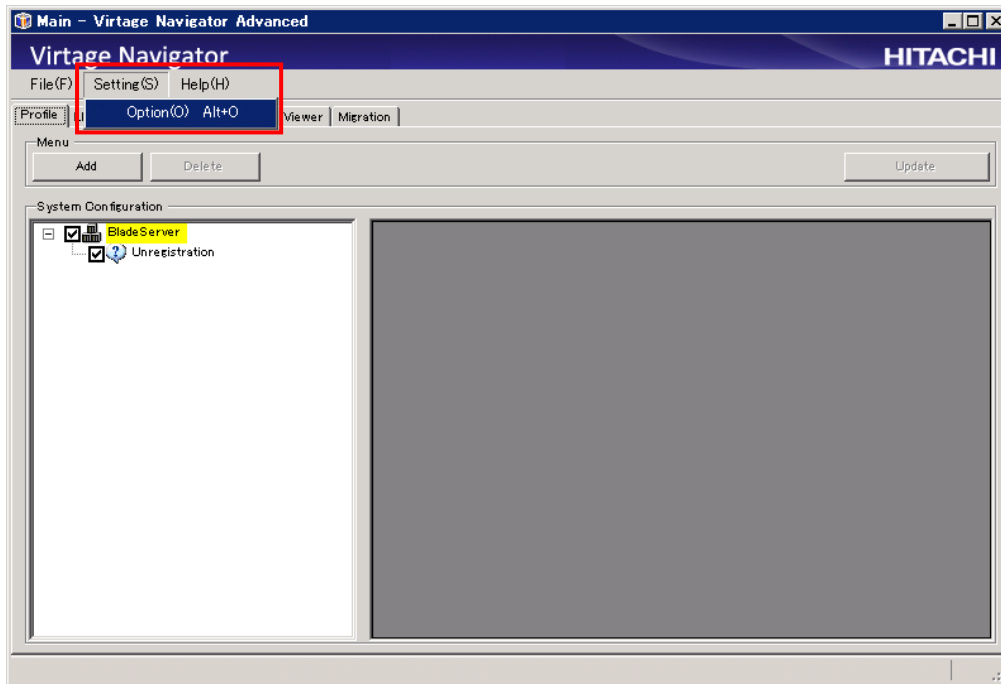


図 10-13 Main ウィンドウ (Virtage Navigator へのプロセッサ割り当て)

(2) Option メニューから Performance を選択します。

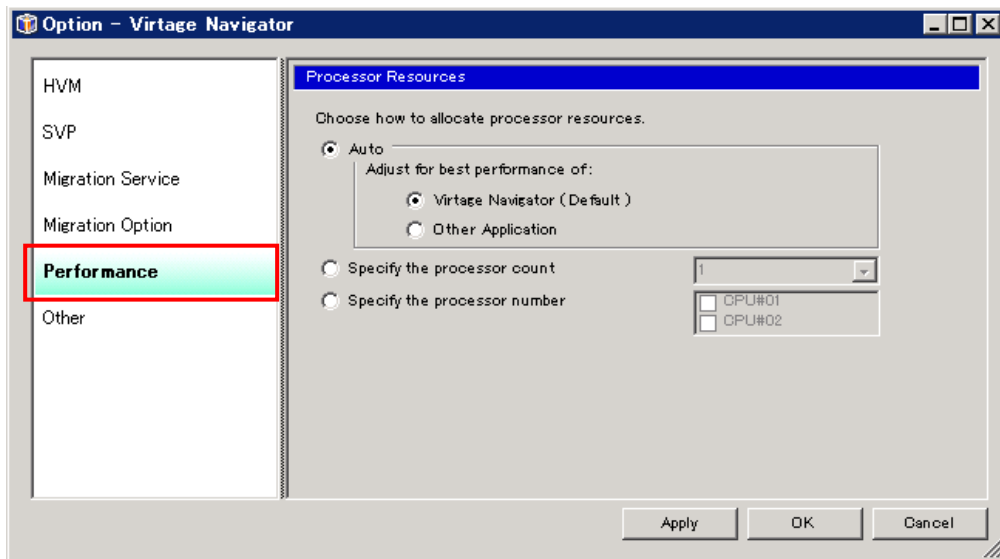


図 10-14 Option ウィンドウ (Performance の選択)

(3) Processor Resources のラジオボタンからプロセッサ割り当て方法を選択します。

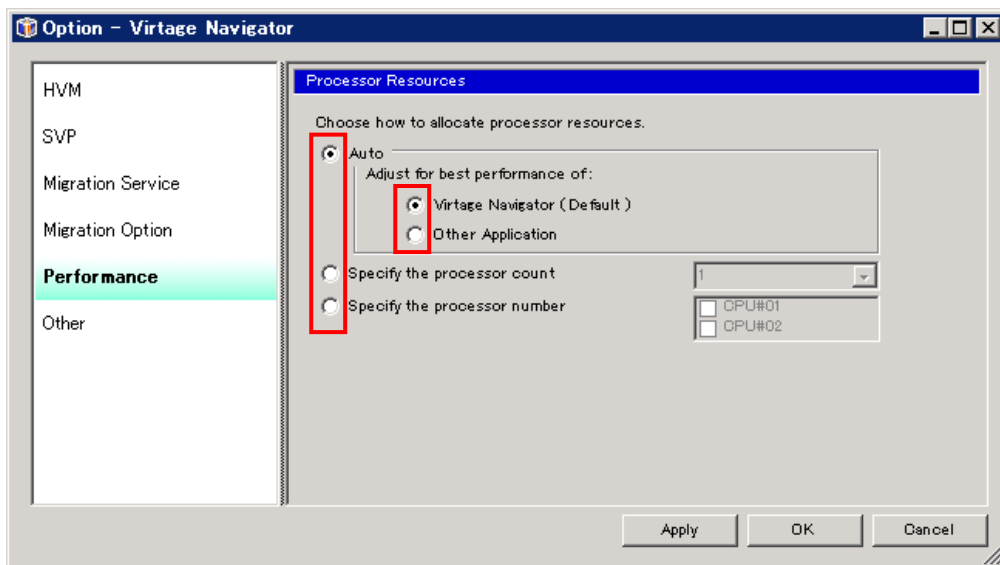


図 10-15 Option ウィンドウ (プロセッサ割り当て方法の選択)



選択肢は以下のとおりです。

表 10-1 プロセッサ割り当て方法

選択肢	説明
Auto	
Virtage Navigator (Default)	使用するプロセッサを制限せずに Windows のプロセススケジュールを従い使用する
Other Application	<p>他のアプリケーションのプロセッサ利用状態により、Virtage Navigator で使用するプロセッサ数を制御する</p> <p>プロセッサ使用率を定期的に監視し、条件を満たした場合には以下の動作を行う</p> <p>条件 1: PC のプロセッサ使用率が 4 秒間連続で 80%を上回る場合、使用するプロセッサ数を減らす</p> <p>条件 2: PC のプロセッサ使用率が 10 秒間連続で 80%を下回る場合、使用するプロセッサ数を増やす</p> <p>条件 1 によりプロセッサ数を減らした場合には、10 秒後に、再度条件を満たしているかを監視する</p>
Specify the processor count	<p>指定したプロセッサ数で Virtage Navigator を制御する</p> <p>(特定のプロセッサに負荷が集中しないよう、2 秒ごとに使用可能なプロセッサを切り替える)</p>
Specify the processor number	指定した番号のプロセッサで Virtage Navigator を制御する

なお、Specify the processor count チェックボックス、または Specify the processor number を選択した場合は、以下の設定をして下さい。

- (a) Specify the processor count チェックボックスを選択した場合  
コンボボックスから、Virtage Navigator が使用するプロセッサ数を選択します。

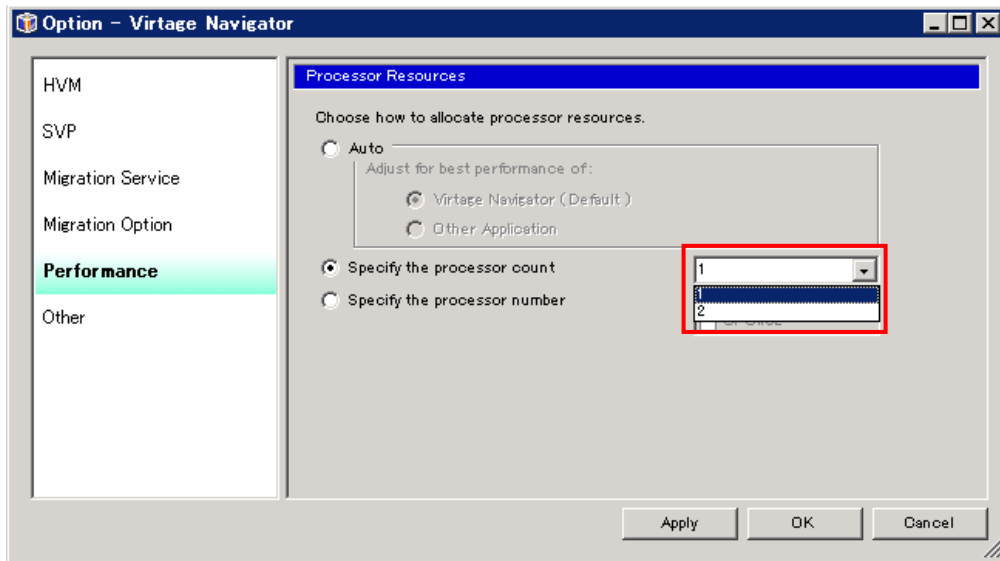


図 10-16 Option ウィンドウ (Specify the processor count の選択)

- (b) Specify the processor number を選択した場合  
リストボックス内のチェックボックスから、Virtage Navigator が使用するプロセッサ番号を選択します。

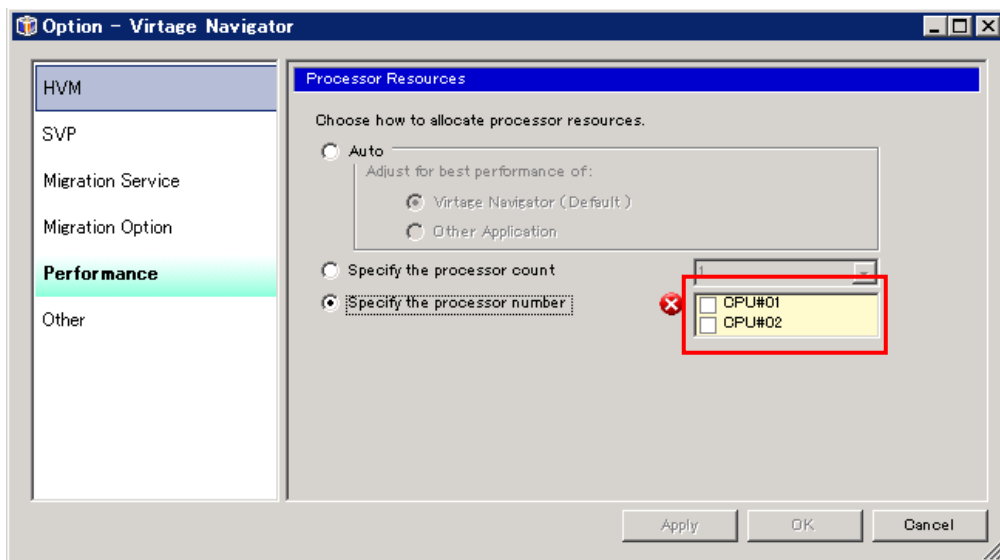


図 10-17 Option ウィンドウ (Specify the processor number の選択)

(4) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

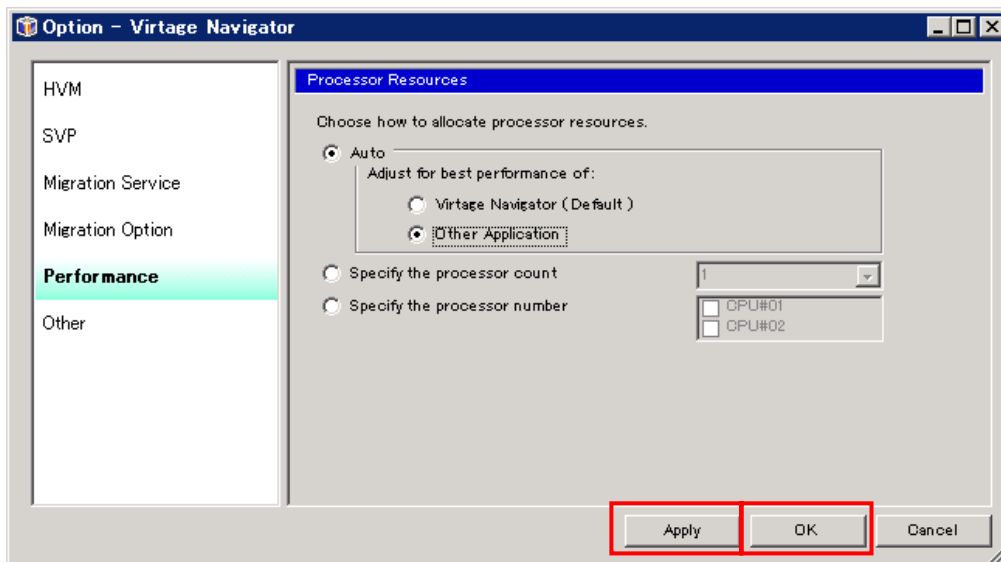


図 10-18 Option ウィンドウ(プロセッサ割り当て方法選択の保存)

## 10.5 HVM情報の更新

Update ボタンは、Profile タブの Add 操作で登録した HVM について、最新状態に更新します。

HVM スクリーン、JP1/SC/BSM、ゲスト OS 操作などで、HVM/LPAR の状態が変化した場合は、その状態を Virtage Navigator に認識させる為に Update 操作が必要となります。

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウより、Profile タブを選択します。

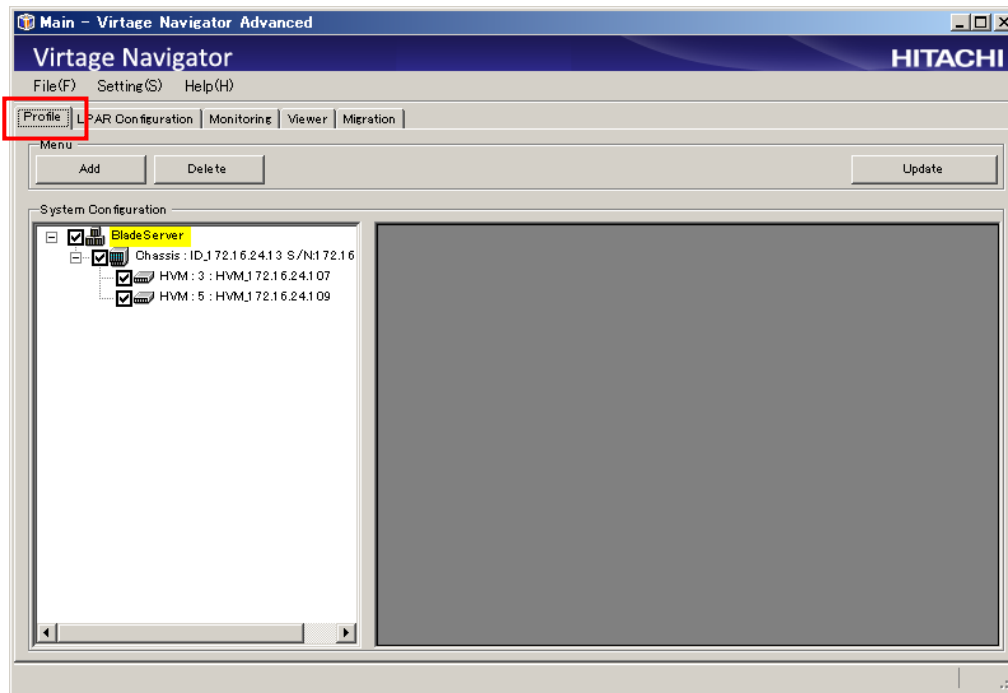


図 10-19 Main ウィンドウ (HVM 情報の更新)

- (2) チェックボックスにチェックをつけた HVM が更新対象となりますので、Update が不要な HVM についてはチェックボックスのチェックを外します。

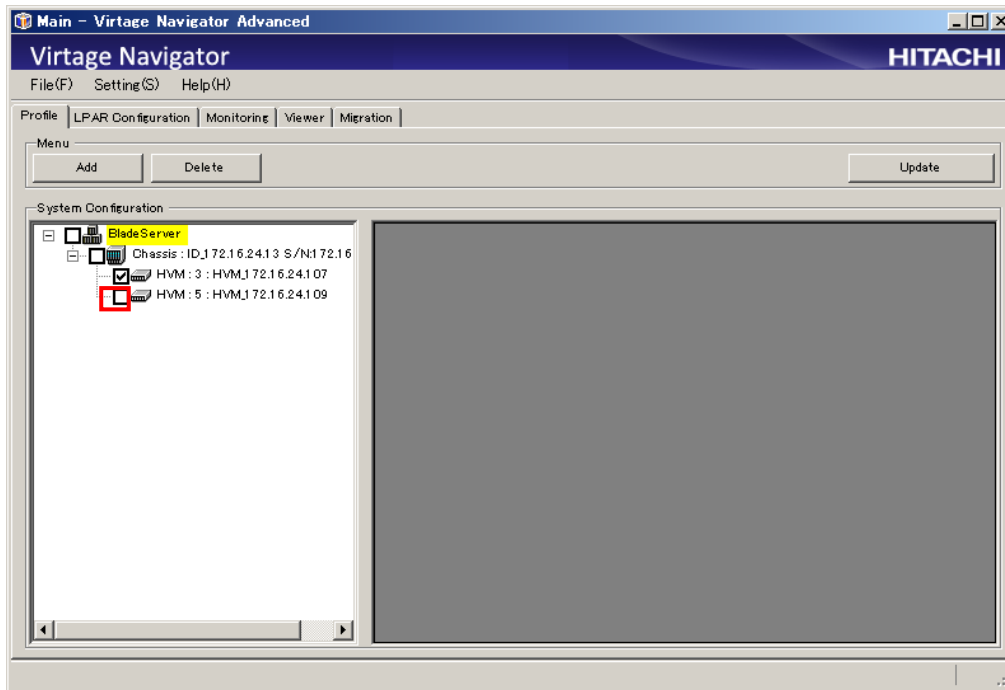


図 10-20 Main ウィンドウ (Update する HVM の選択)

- (3) Update ボタンをクリックします。

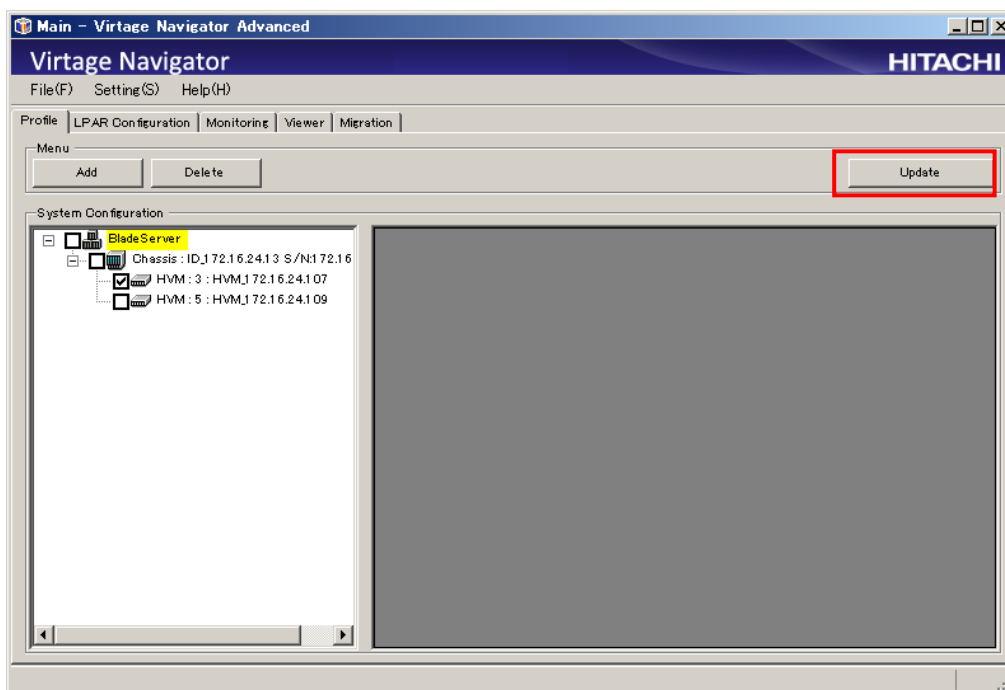


図 10-21 Main ウィンドウ (HVM 情報更新開始)

- (4) Update 中は Main ウィンドウ左下のステータスバーに Update の進捗状況を表示します。  
また、Update を中止するには、Update Cancel ボタンをクリックします。

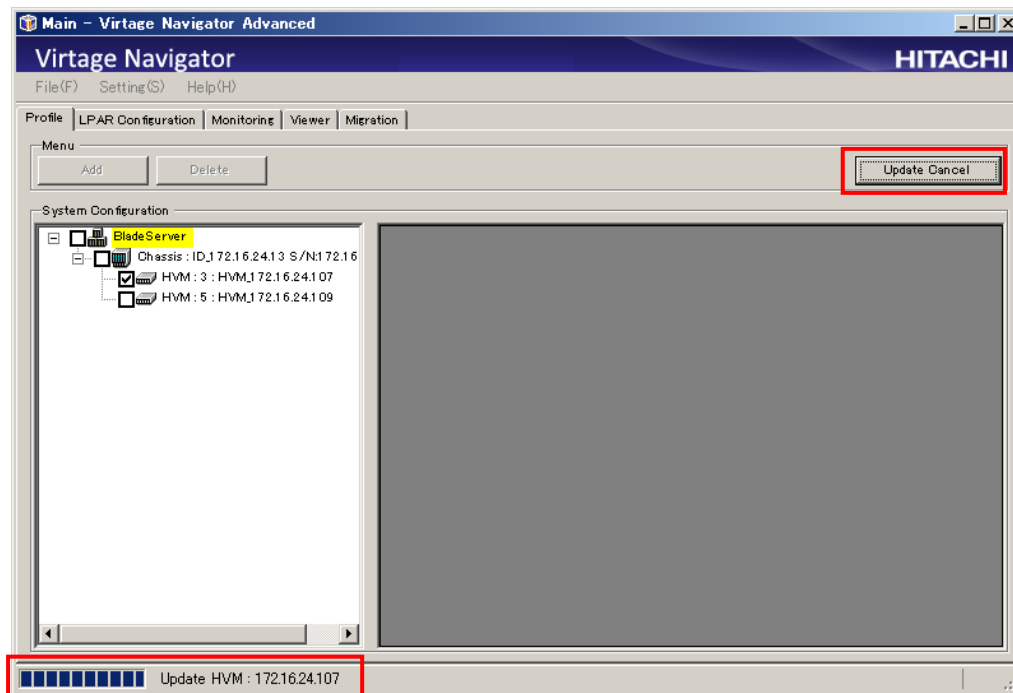


図 10-22 Main ウィンドウ (HVM 情報更新中)

注意 1)

Update 中に以下の操作をすると、ツリービューに登録した HVM 情報が表示されない場合や、“Chassis Unknown” 以外の HVM が “Chassis Unknown” で表示される場合があります。

- ・情報の更新中に Main ウィンドウのメニュータブを選択した場合
- ・ Update Cancel ボタンをクリックして、更新を中止した場合

この現象が発生した場合は、17.7 登録した HVM 情報が表示されない場合、もしくは 17.8 “Chassis Unknown” 以外の HVM が “Chassis Unknown” で表示された場合をご参照下さい。

注意 2)

“Chassis Unknown” と表記されたシャーシに含まれる HVM は、Update ボタンをクリックしても情報を更新することができません。

## 10.6 HVMの削除

Virtage Navigator に登録した HVM を削除するには、以下の操作をします。

- (1) Main ウィンドウより、Profile タブを選択します。

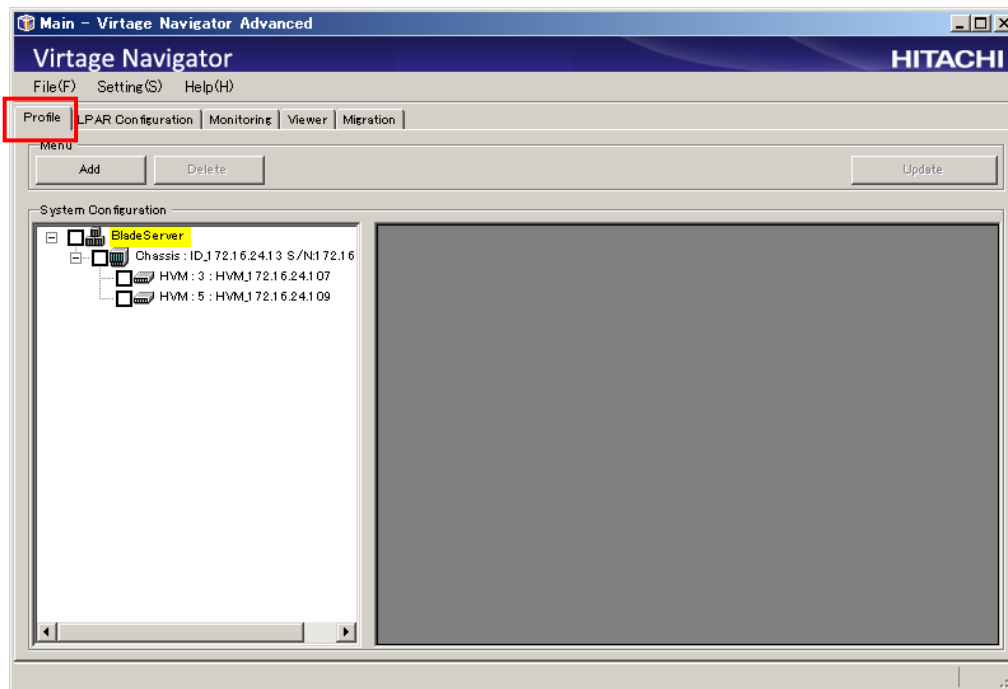


図 10-23 Main ウィンドウ (HVM の削除)

- (2) System Configuration フレーム内のツリービューから削除する HVM、または Chassis を選択します。  
(Chassis を選択すると、その Chassis に含まれる HVM もすべて選択されます。)

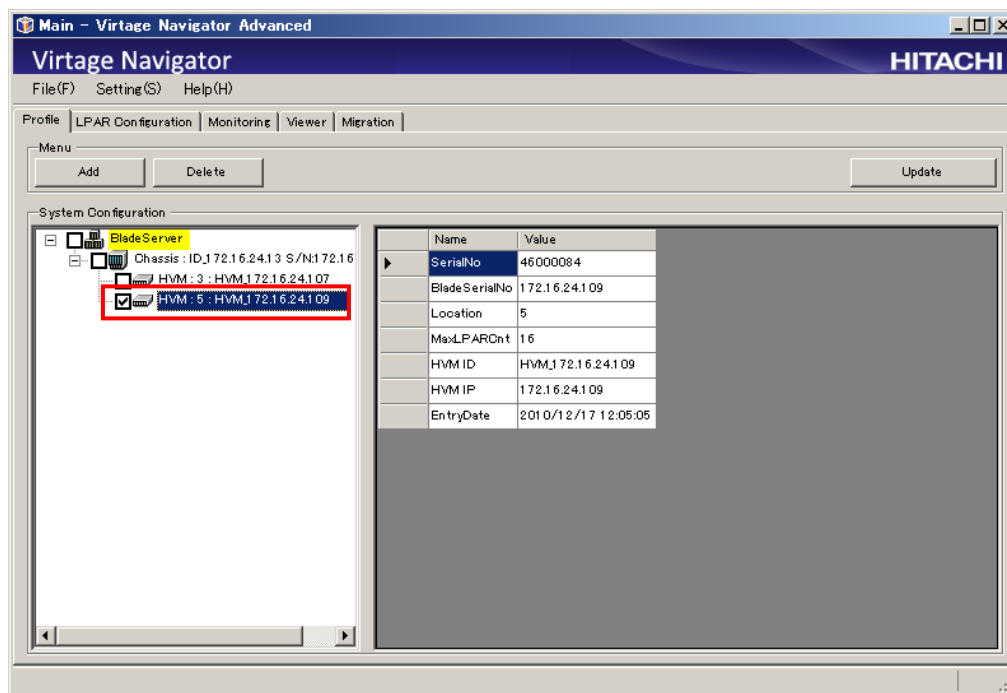


図 10-24 Main ウィンドウ (削除する Chassis/HVM の選択)

- (3) Delete ボタンをクリックします。

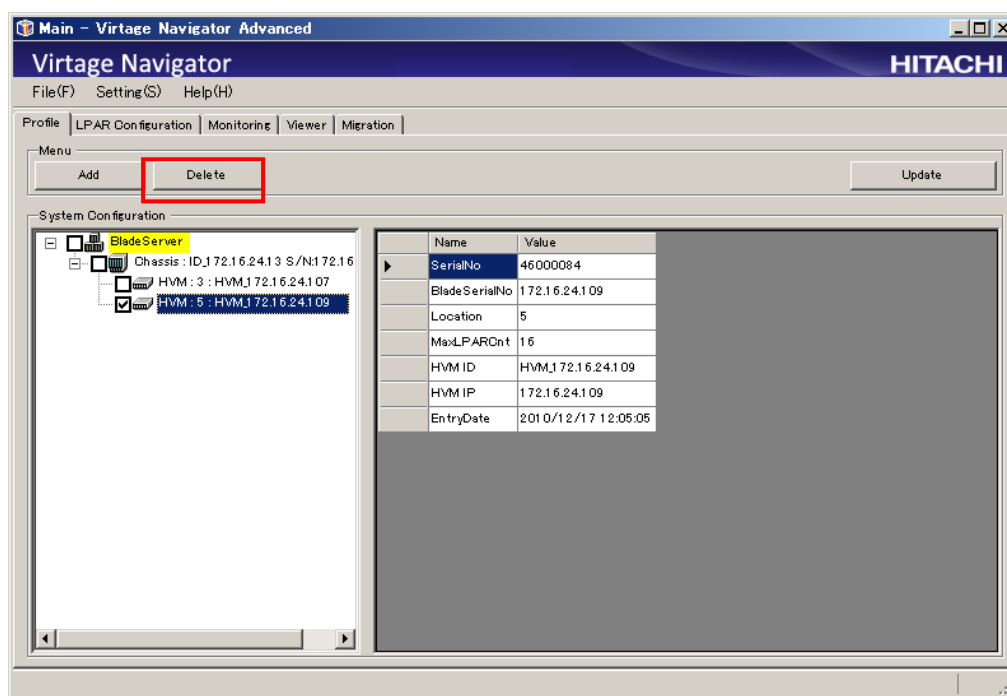


図 10-25 Main ウィンドウ (選択した HVM の削除)



(4) OK ボタンをクリックします。

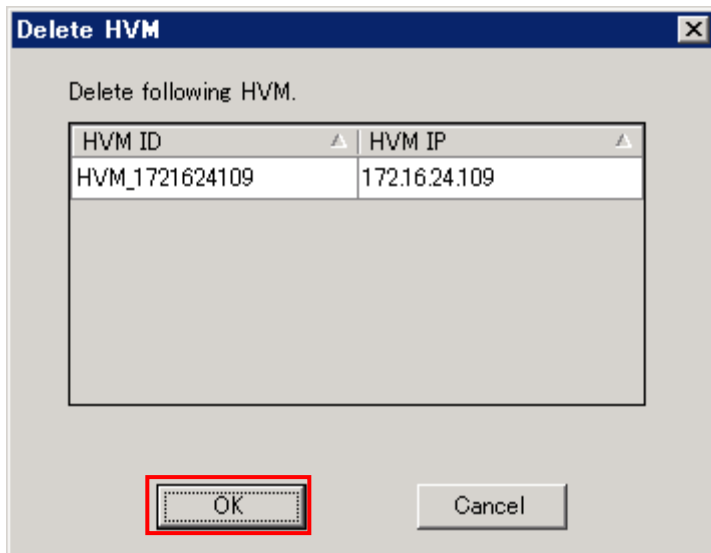


図 10-26 Delete HVM ウィンドウ (削除する HVM の確認)

(5) OK ボタンをクリックします。

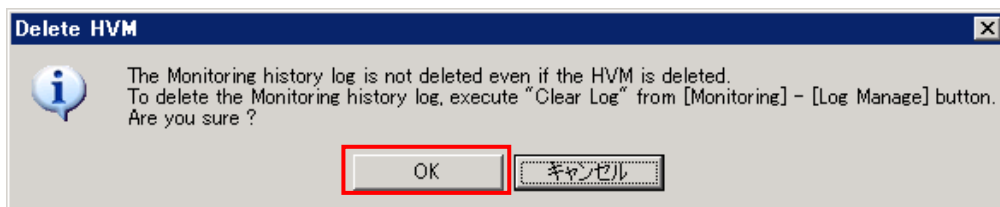


図 10-27 Delete HVM ウィンドウ (選択した HVM の削除)

System Configuration フレーム内のツリービューから HVM が削除されます。

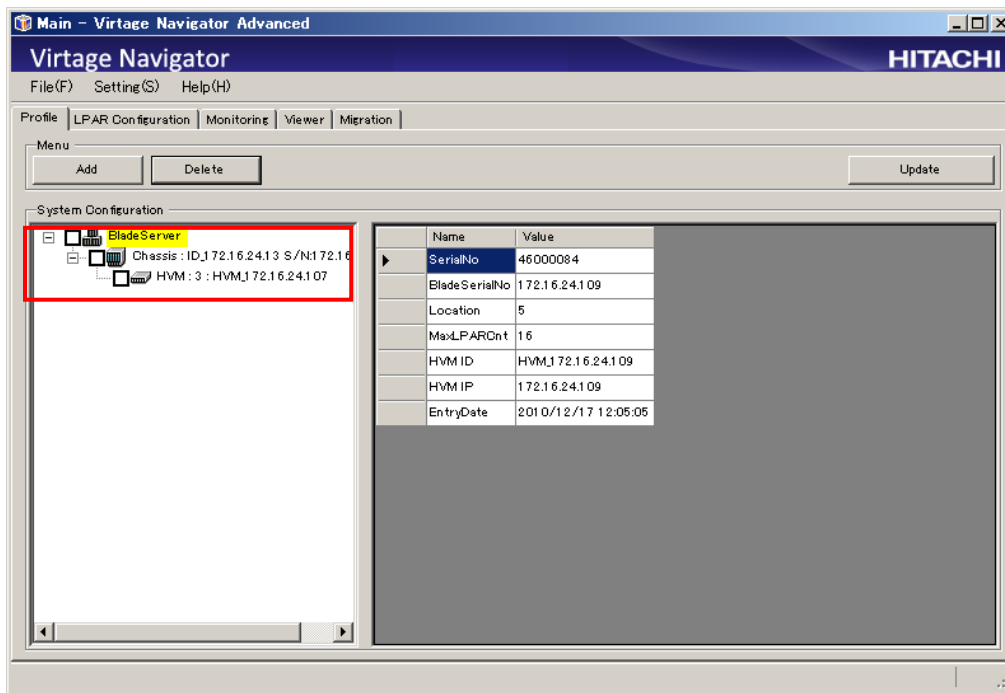


図 10-28 Main ウィンドウ (HVM 削除後)

## 10.7 Virtage Navigatorの技術情報の採取

Virtage Navigator の技術情報を採取するには、以下の操作をします。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Help(H)]-[Get Technical Information(T)]と選択します。

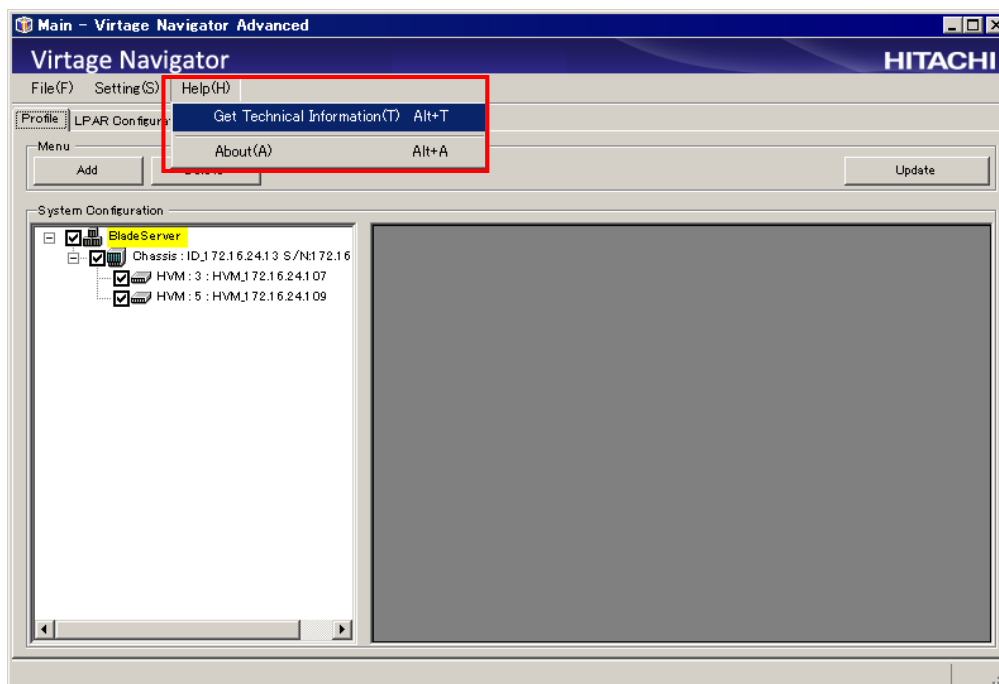


図 10-29 Main ウィンドウ (技術情報の採取)

- (2) 出力先フォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。

出力先フォルダはローカルディスクを選択することを推奨します。



図 10-30 フォルダの参照ウィンドウ (出力先フォルダの選択)

技術情報の採取中のプログレスバーが表示されます。

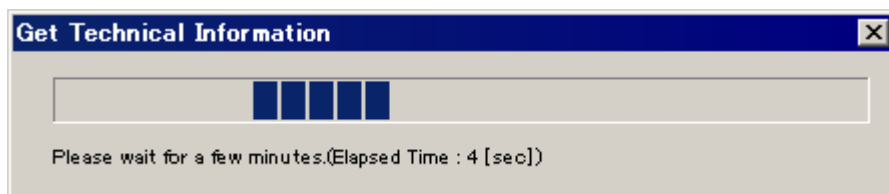


図 10-31 Get Technical Information ウィンドウ (技術情報の採取中のプログレスバー表示)

技術情報採取で 1 分経過した場合、Close ボタンが表示されます。

技術情報採取を中断させる場合には、Close ボタンをクリックします。

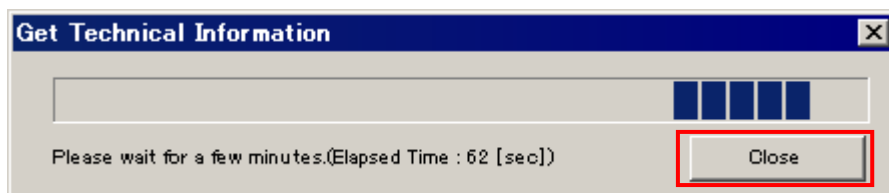


図 10-32 Get Technical Information ウィンドウ (技術情報のプログレスバーの Close ボタン表示)

確認メッセージが表示されます。OK ボタンをクリックします。

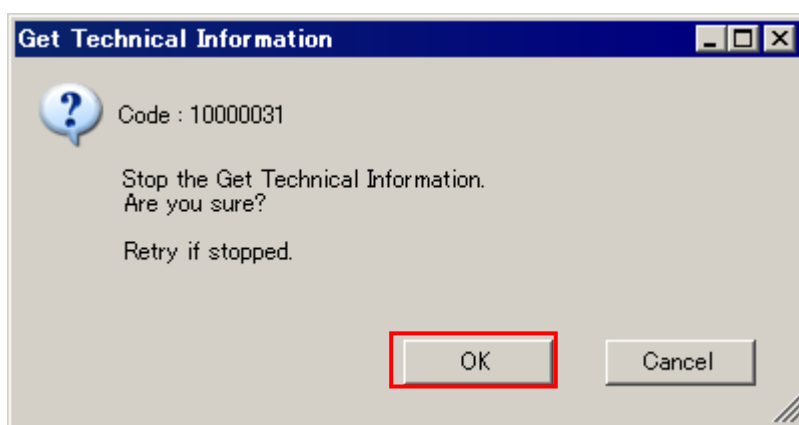


図 10-33 Get Technical Information ウィンドウ (技術情報の採取の中断)

(3) 確認メッセージが表示されます。OK ボタンをクリックします。

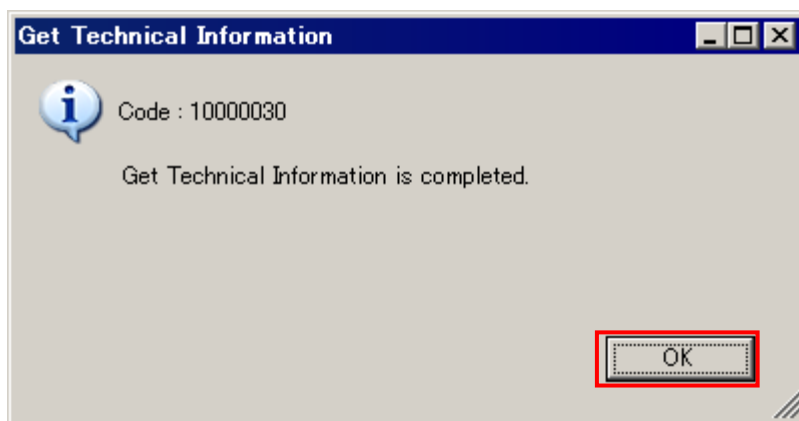


図 10-34 Main ウィンドウ (技術情報の採取の完了)

## 10.8 LPAR設定のオプション設定

### 10.8.1 ターミナルアプリケーションの登録

SVP のシステムコンソールや LPAR の仮想 COM スクリーンを表示するために使用するターミナルアプリケーションの格納先を登録します。

ターミナルアプリケーションの設定については「BladeSymphony BS1000 ユーザーズガイド」、「BladeSymphony BS2000 ユーザーズガイド」、および「BladeSymphony BS320 ユーザーズガイド」の「HVM について」－「HVM の概要」－「HVM 起動前の準備」をご参照下さい。

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

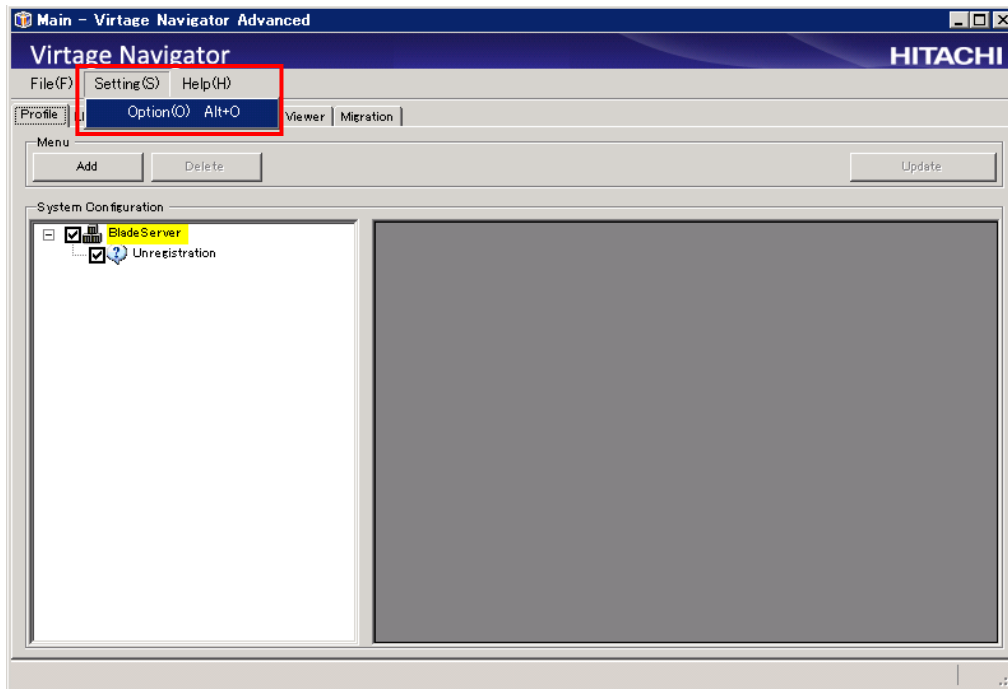


図 10-35 Main ウィンドウ(ターミナルアプリケーションの登録)

(2) Option メニューから Other を選択します。

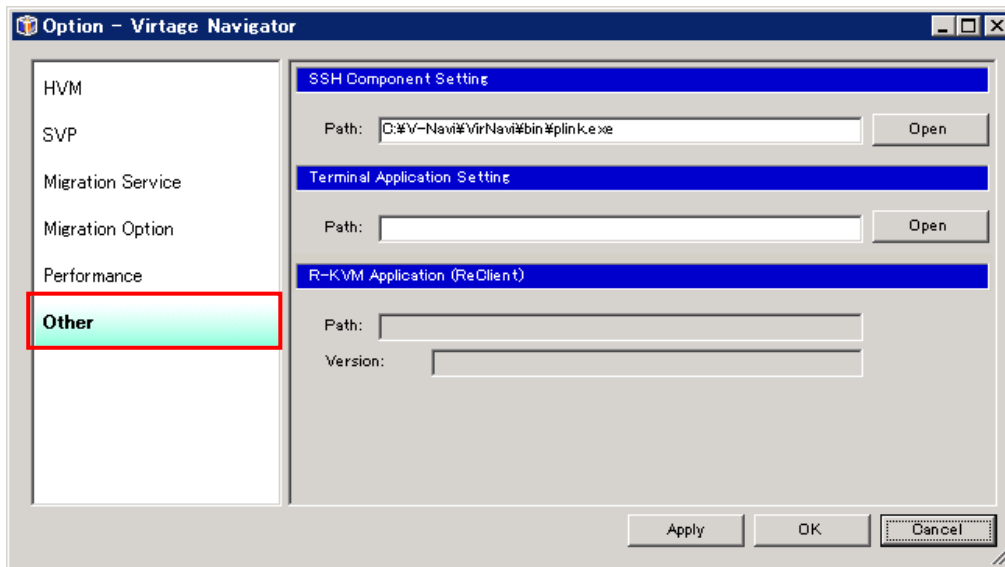


図 10-36 Option ウィンドウ (Other の選択)

(3) Terminal Application Setting の Open をクリックします。

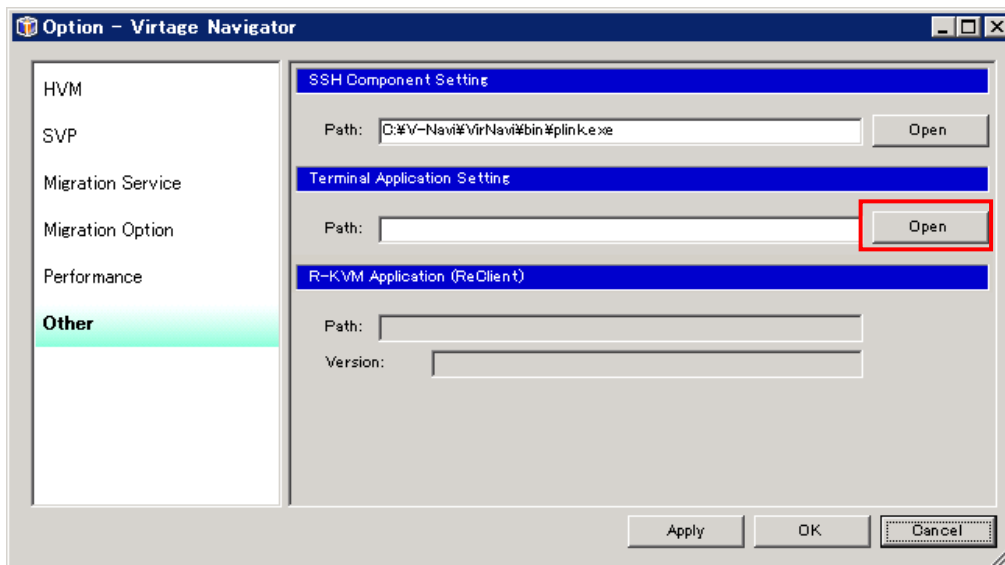


図 10-37 Option ウィンドウ (ターミナルアプリケーションのパス指定)

(4) ttermpro.exe を選択し、開くボタンをクリックします。

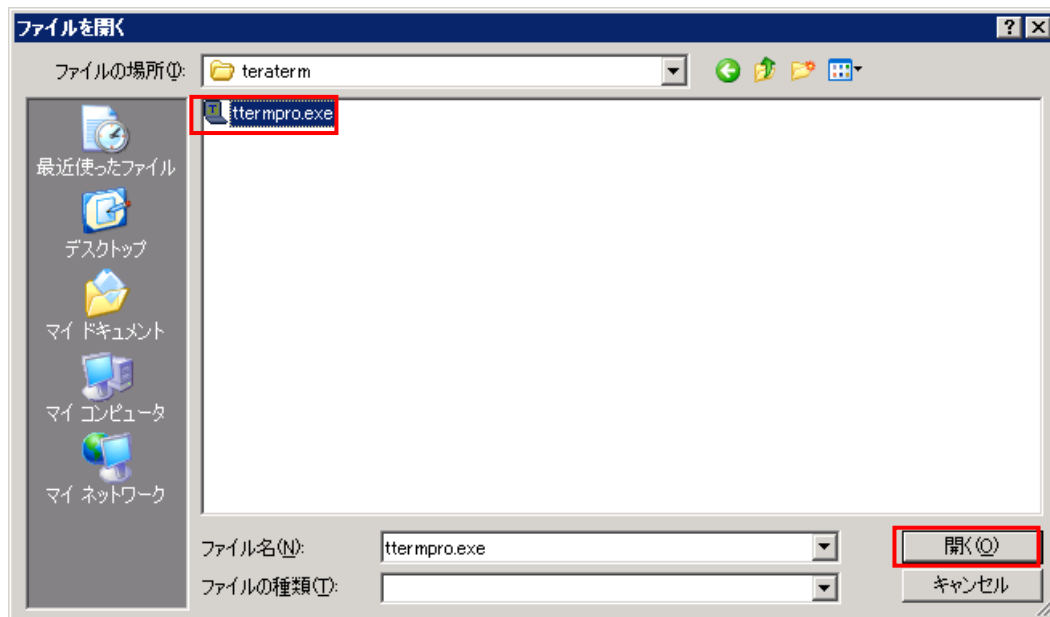


図 10-38 ファイルを開くウインドウ(ターミナルアプリケーションのパス指定)

(5) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

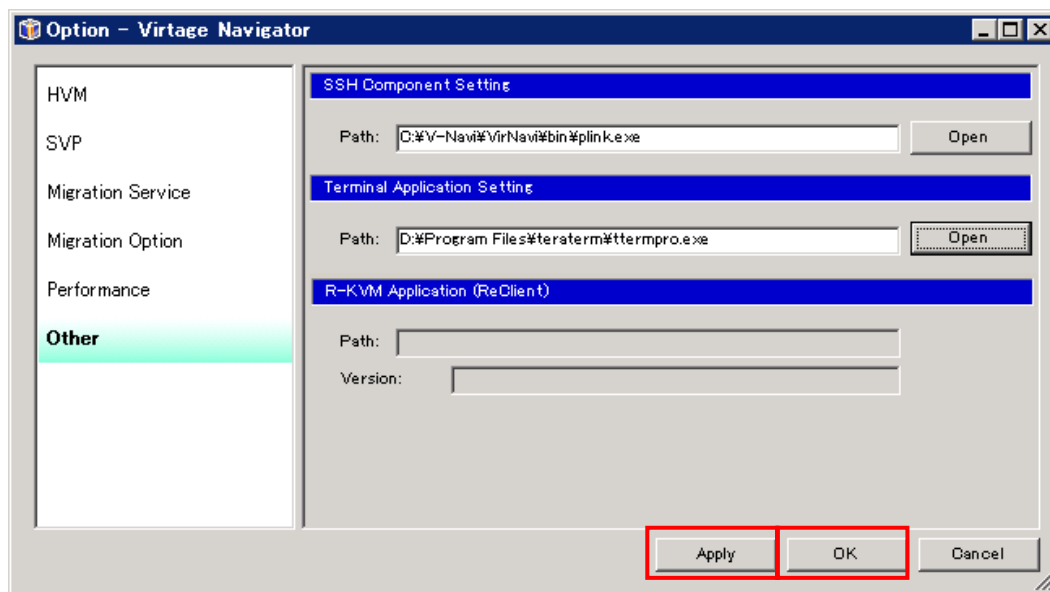


図 10-39 Option ウインドウ(ターミナルアプリケーションのパス保存)

## 10.8.2 リモートコンソールアプリケーション情報の表示

リモートコンソールアプリケーションのインストールパスとバージョンを表示します。

(リモートコンソールアプリケーションがインストールされていない場合、インストールパスとバージョンは表示されません。)

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Mainウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

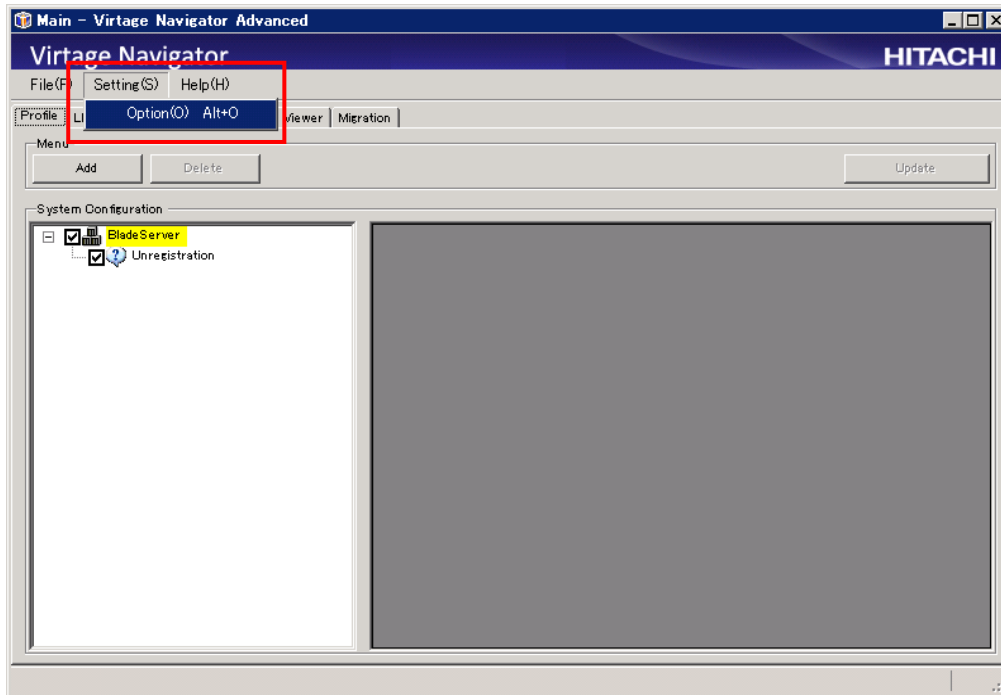


図 10-40 Main ウィンドウ (リモートコンソールアプリケーション情報の表示)

- (2) OptionメニューからOtherを選択します。

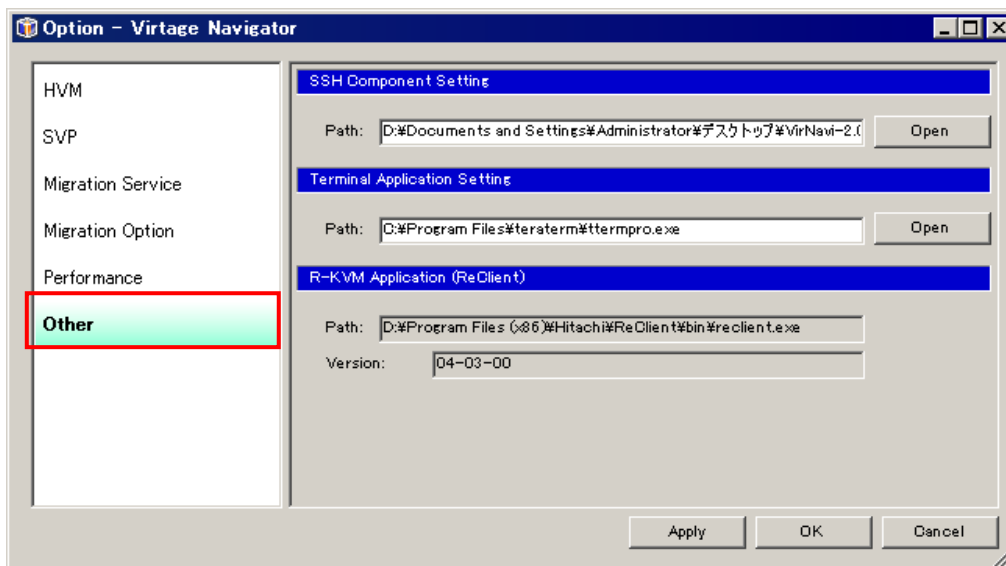


図 10-41 Option ウィンドウ (Other の選択)



- (3) Remote Console Application (Reclient)に、リモートコンソールアプリケーションのインストールパスとバージョンを表示します。

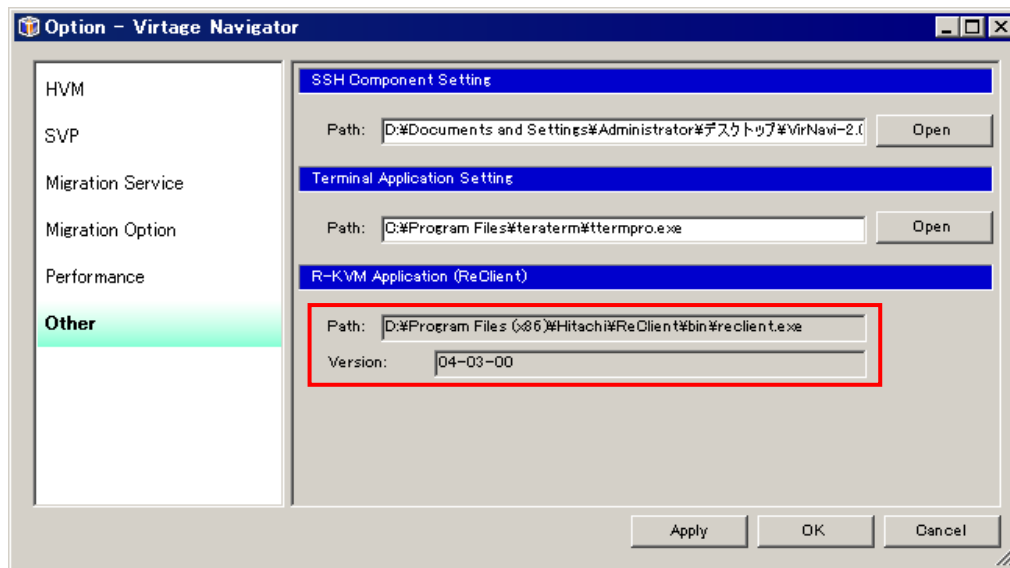


図 10-42 Option ウィンドウ(リモートコンソールアプリケーション情報の表示)

## 10.9 LPARマイグレーションのオプション設定

### 10.9.1 リモートシャットダウンのタイムアウト時間の設定

LPAR マイグレーションのオプション機能であるリモートシャットダウン機能を選択した際のシャットダウンタイムアウト時間を設定できます。

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

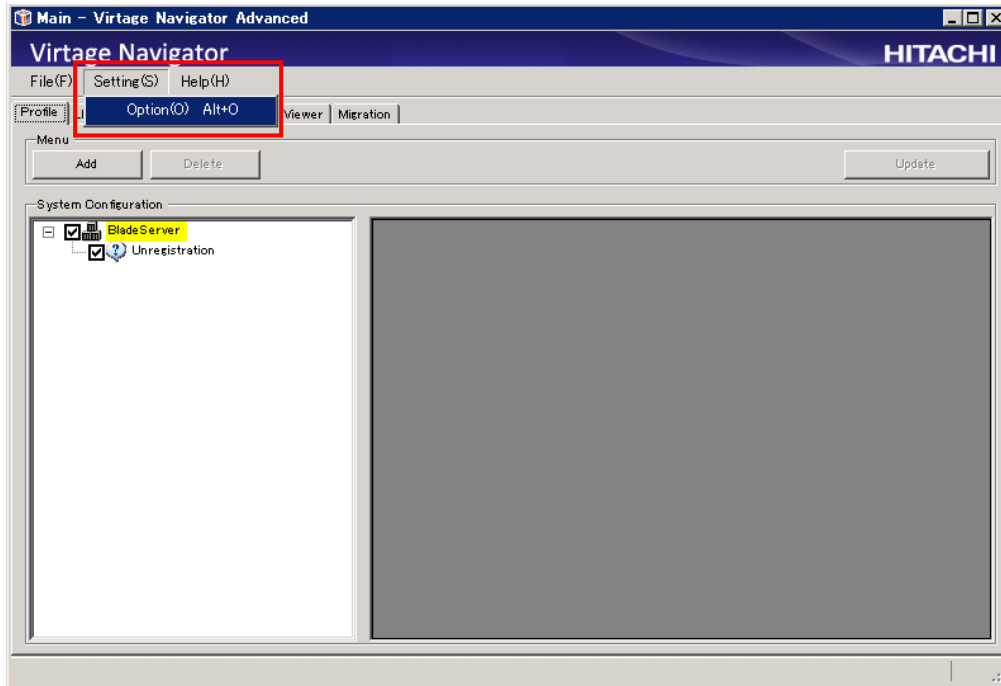


図 10-43 Main ウィンドウ(リモートシャットダウンのタイムアウト時間の設定)

(2) Option メニューから Migration Option を選択します。

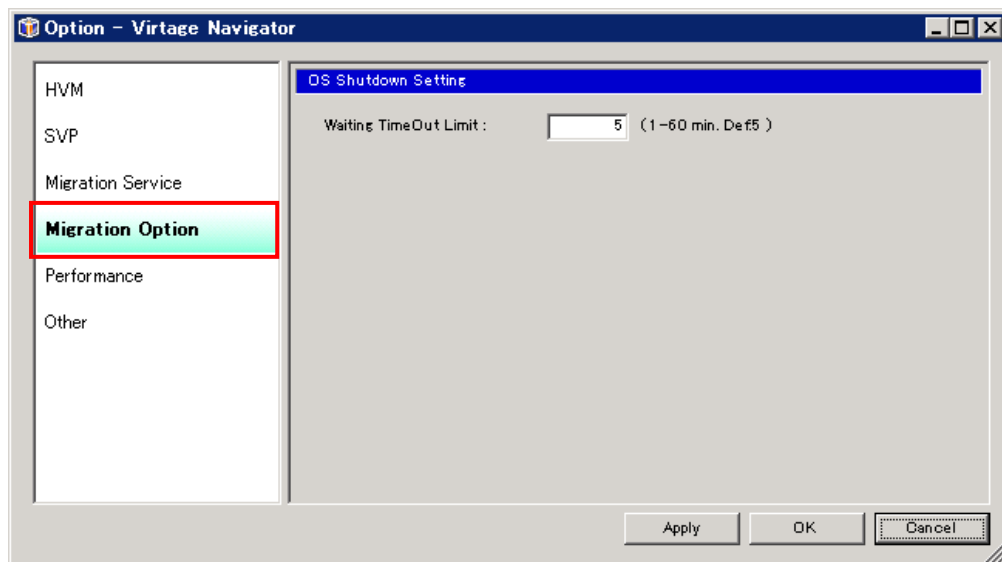


図 10-44 Option ウィンドウ (Migration Option の選択)

(3) Waiting TimeOut Limit: テキストボックスにシャットダウンタイムアウト時間を入力します。  
デフォルトでは、5 分に設定されています。

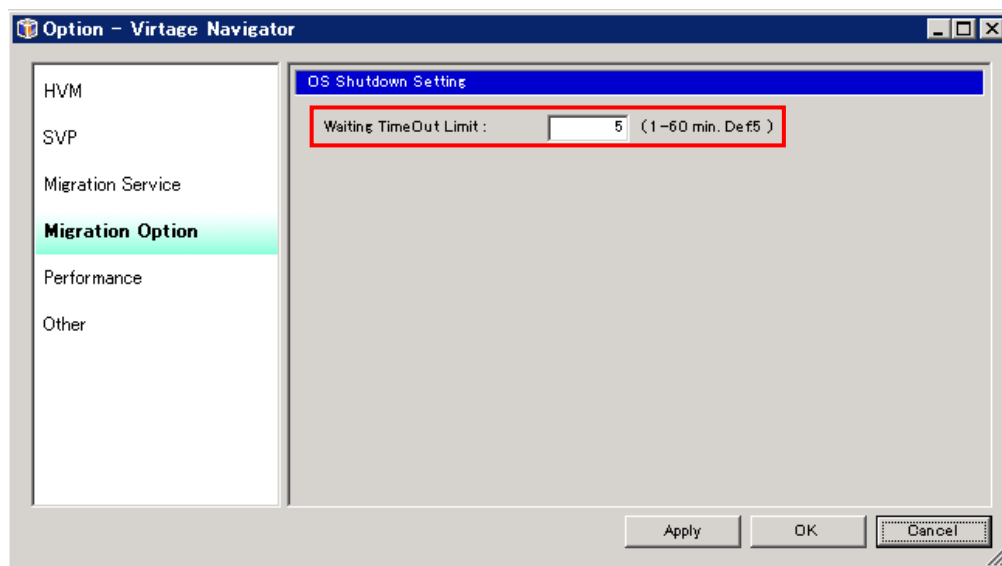


図 10-45 Option ウィンドウ (Waiting TimeOut Limit の入力)

(4) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

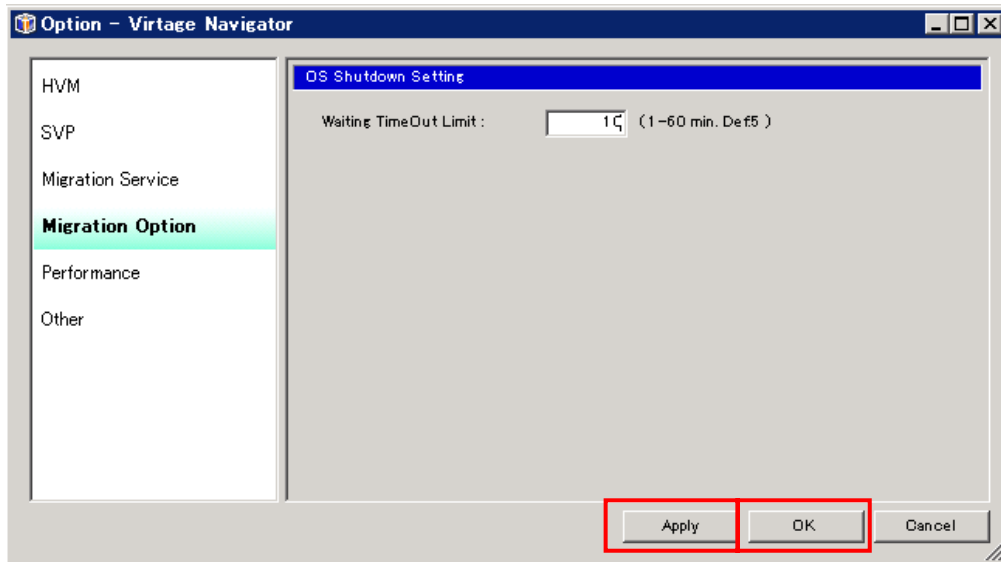


図 10-46 Option ウィンドウ (Waiting TimeOut Limit 設定の保存)

## 10.9.2 TCPポートの設定

マイグレーションサービスでは、TCP ポートを使用しています。

TCP ポートが他のアプリケーションと競合してしまい、マイグレーションサービスの起動に失敗してしまう場合、Migration Service Port を変更することで、マイグレーションサービスが使用する TCP ポートを変更することができます。

変更後、Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックすることにより、自動的にマイグレーションサービスの再起動を行います。

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

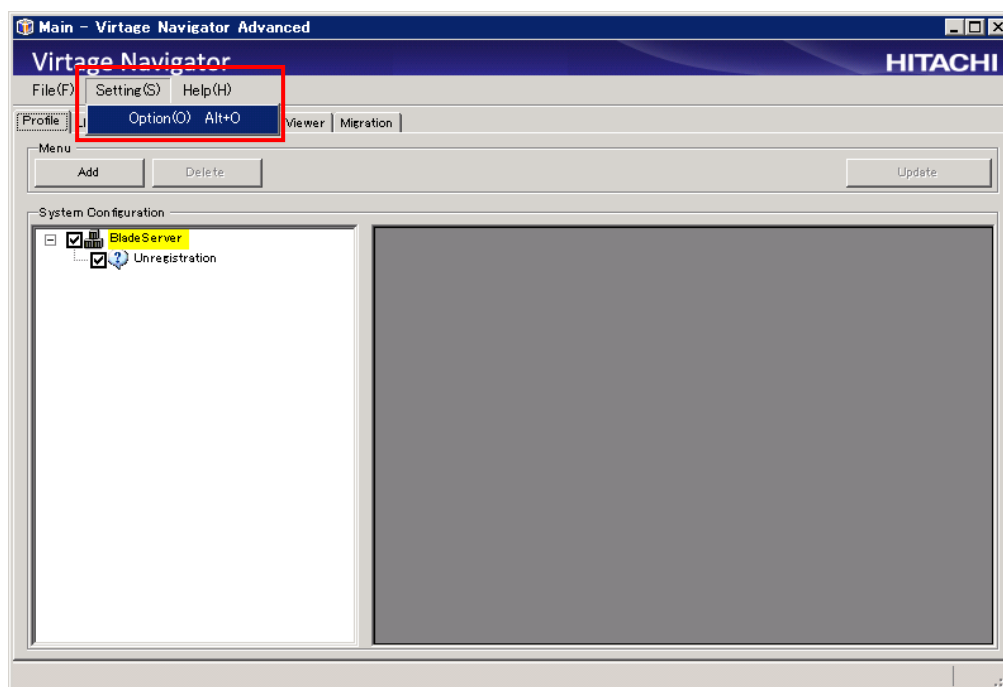


図 10-47 Main ウィンドウ (TCP ポートの設定)

(2) Option メニューから Migration Service を選択します。

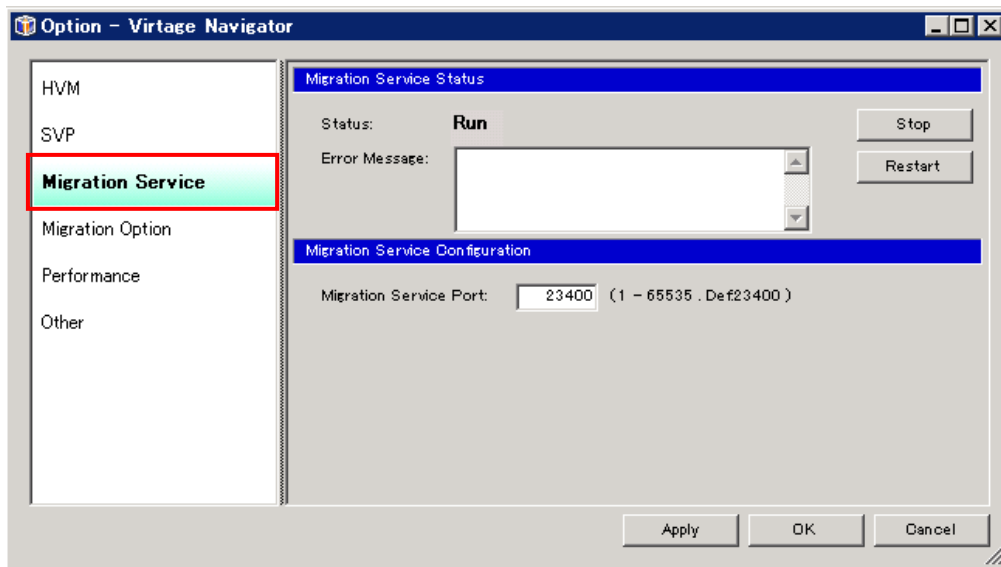


図 10-48 Option ウィンドウ (Migration Service の選択)

(3) Migration Service Port に設定する TCP ポートを入力します。

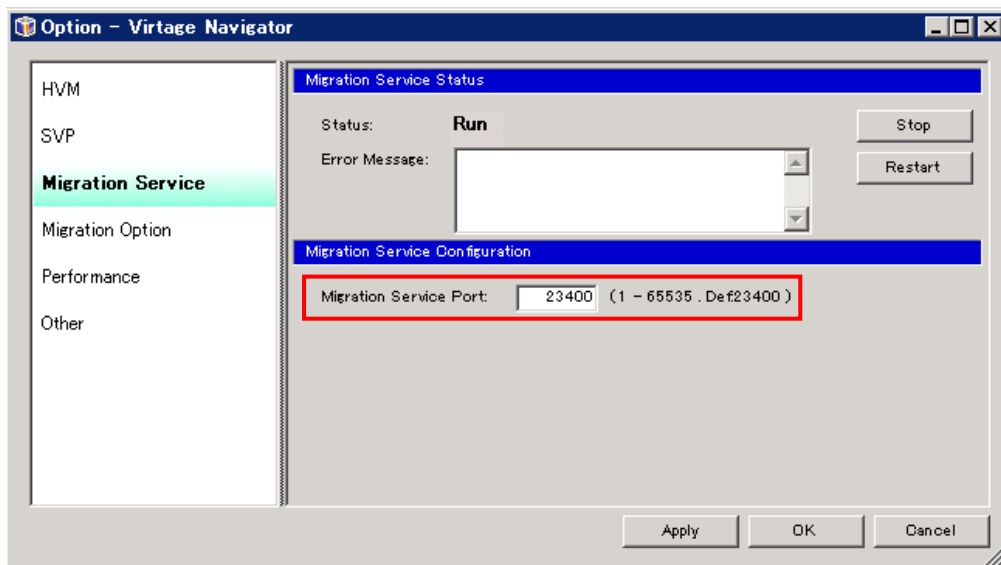


図 10-49 Option ウィンドウ (Migration Service Port の設定)

(4) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

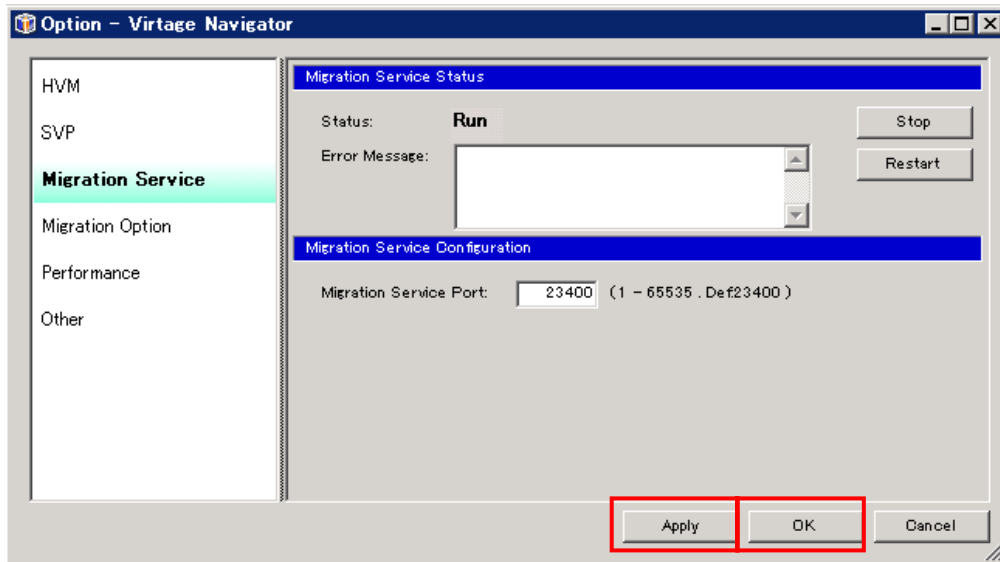


図 10-50 Option ウィンドウ (Migration Service Port 設定の保存)

※Migration Service Status が Stop の状態の場合には、Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックしても再起動は行われません。

Restart ボタンにより、手動で再起動を実施して下さい。

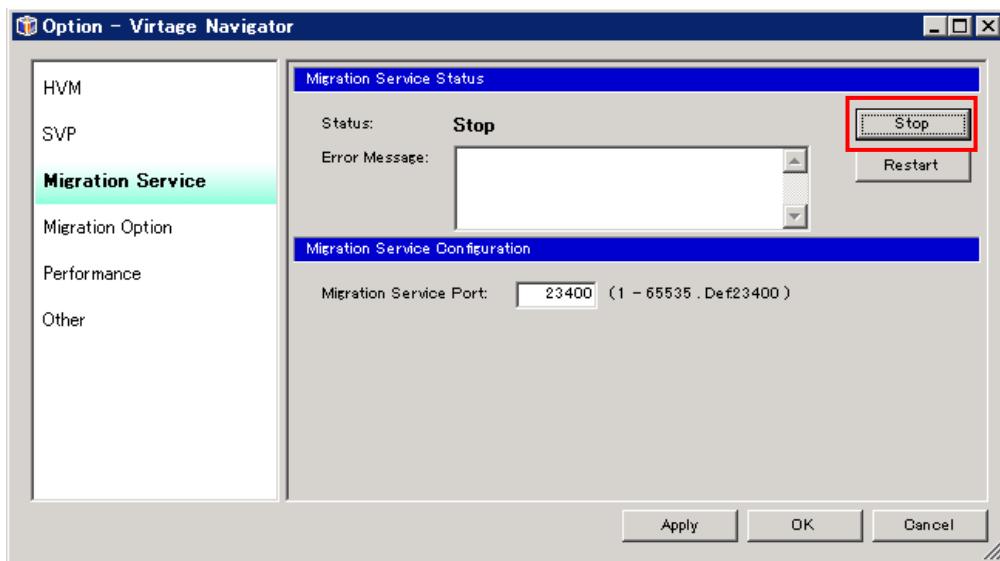


図 10-51 Option ウィンドウ (Migration Service の再起動)

### 10.9.3 前提アプリケーションの登録

リモートシャットダウン機能を、ゲストOSがLinuxのLPARに対して使用するには、plink.exeの格納先フォルダを登録します。

(plink.exeをVirtage Navigatorインストールフォルダ¥VirNavi¥bin に格納している場合は、本設定を行う必要はありません。)

操作手順は以下のとおりです。

- (1) Main ウィンドウのメニューより、[Setting(S)]-[Option(O)]と選択します。

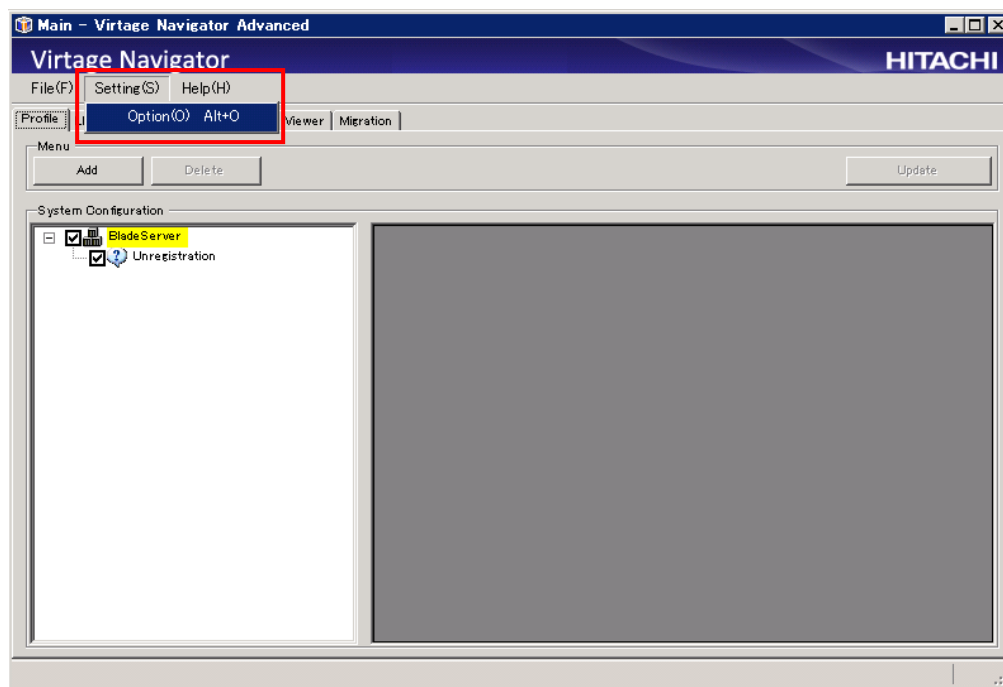


図 10-52 Main ウィンドウ(前提アプリケーションの格納フォルダの登録)



(2) Option メニューから Other を選択します。

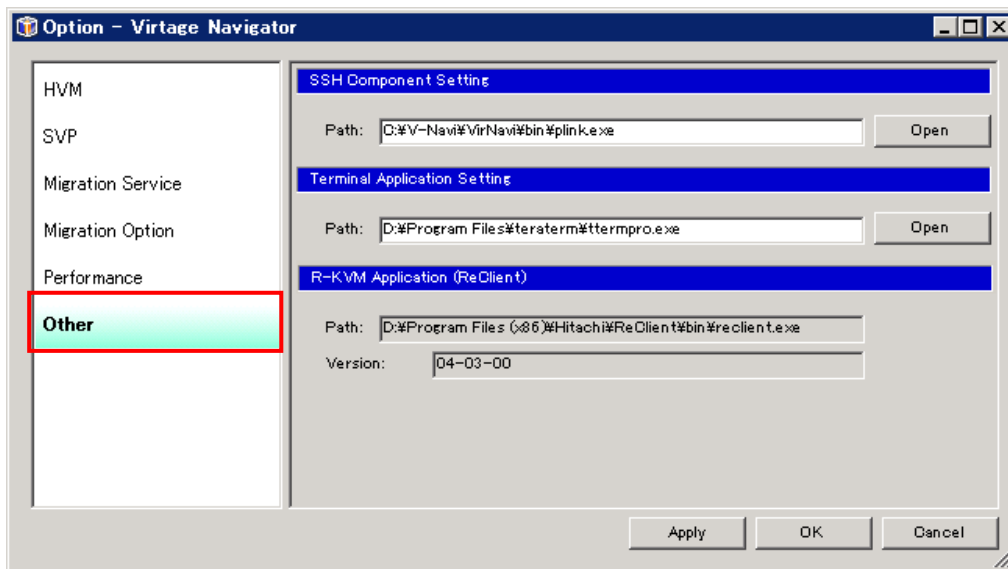


図 10-53 Option ウィンドウ (Other の選択)

(3) SSH Component Setting の Open ボタンをクリックします。

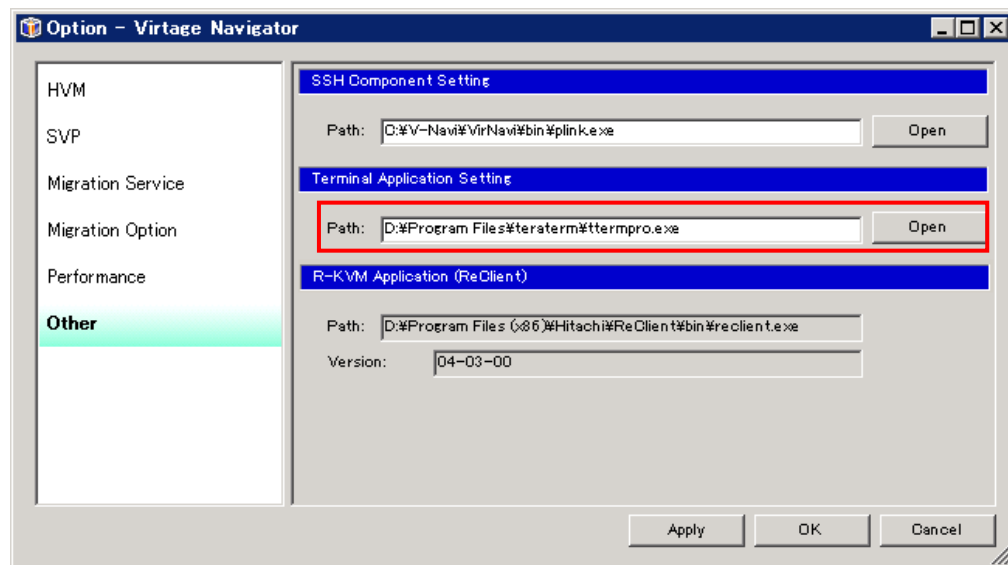


図 10-54 Option ウィンドウ (前提アプリケーションのパス指定)

(4) plink.exe を選択し、開くボタンをクリックします。

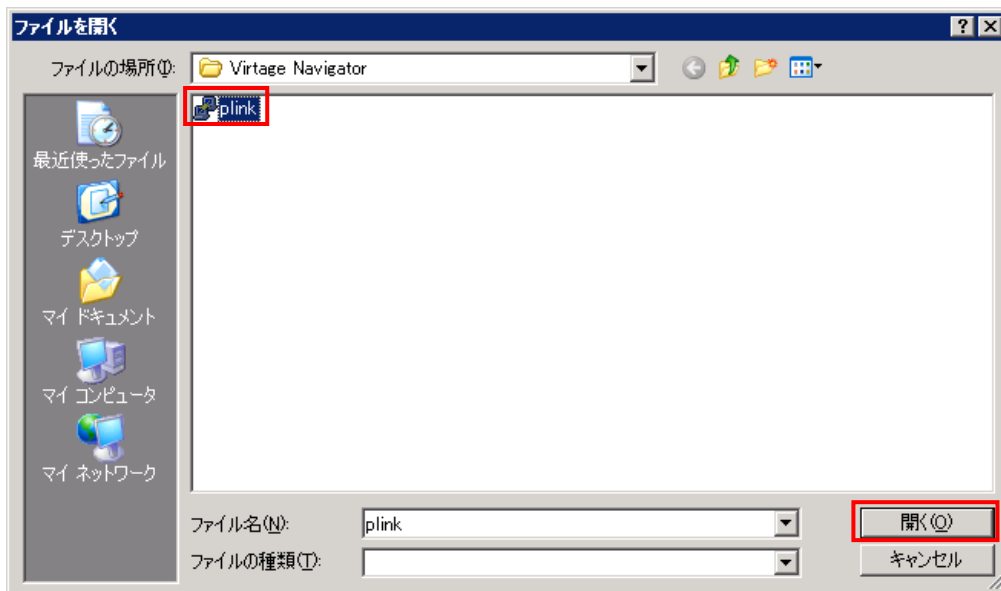


図 10-55 ファイルを開くウインドウ(前提アプリケーションのパス指定)

(5) Apply ボタンまたは OK ボタンをクリックします。

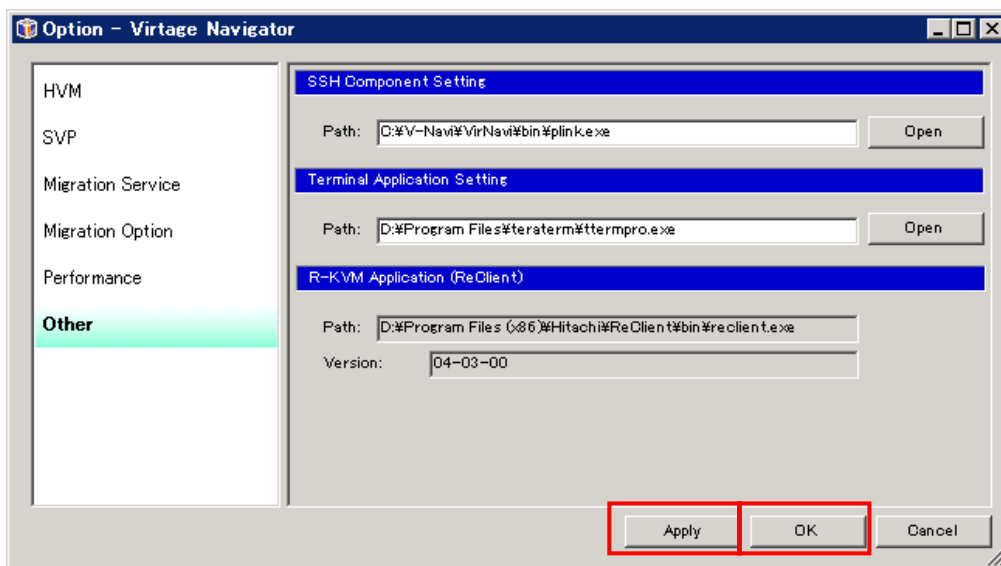


図 10-56 Option ウインドウ(前提アプリケーションのパス保存)

## 11 Virtage Navigatorの終了

Main ウィンドウのメニューより、[File(F)]-[Exit(X)]と選択します。

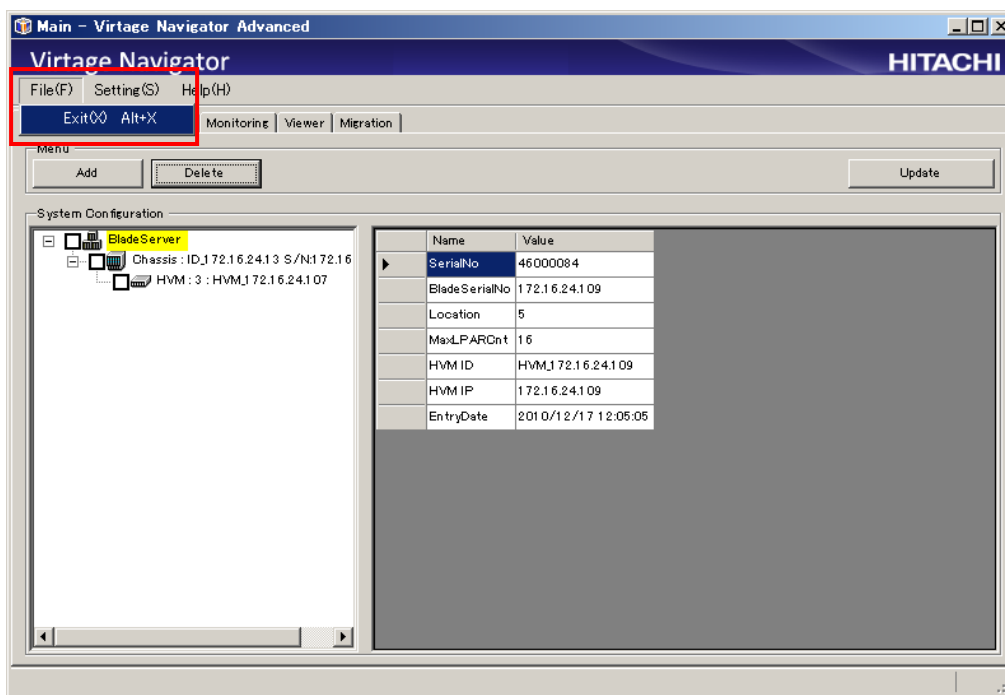


図 11-1 Main ウィンドウ (Virtage Navigator の終了)

## 12 Virtage Navigatorのバージョン表示

Main ウィンドウのメニューより、[Help(H)]-[About(A)]と選択します。

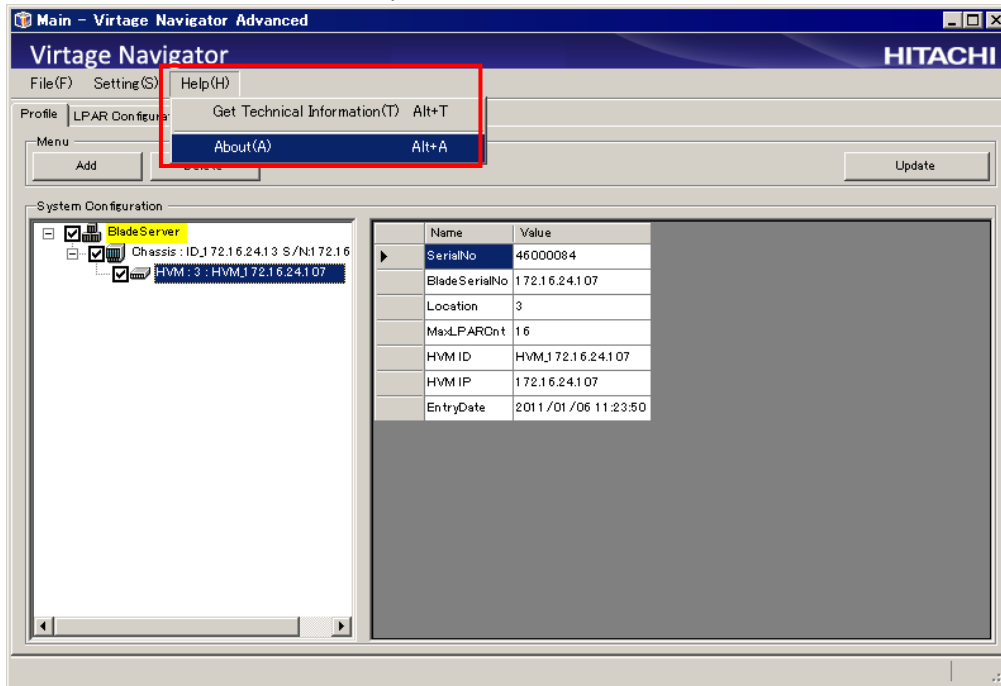


図 12-1 Main ウィンドウ(バージョン表示)

Version Information ウィンドウが表示されます。

(ここでは、例として V02-00 (2.0.0.13) の Virtage Navigator の Version Information ウィンドウを表示します。)

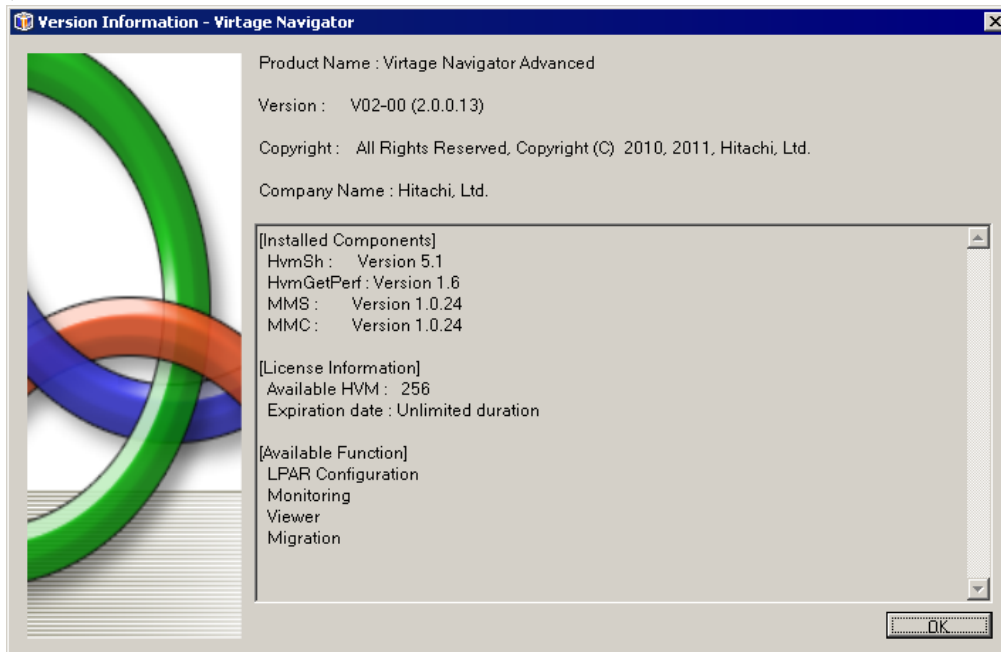


図 12-2 Version Information ウィンドウ(バージョン表示)

## 13 Virtage Navigatorのバージョンアップ

Virtage Navigatorのバージョンアップは、以下の手順で行います。

注意) これまでVirtage Navigatorに一度もログインしたことがない場合には、バージョンアップを行う前にログインを行って下さい。

ログインにつきましては、8 Virtage Navigatorの起動をご参照下さい。

- (1) 既存の VirNavi フォルダを一時的にバックアップしておくことを推奨します。

上書きコピーに失敗した場合に、バックアップした既存のVirNaviフォルダで元の状態に復旧させることができます。

※VirNaviフォルダをバックアップする前に、Virtage Navigatorを終了させて下さい。

終了せずにバックアップした場合、データが正しくコピーされない可能性があります。

- (2) VirNavi-[バージョン]\_Ess.zip を用意します。

入手方法につきましては、5.1.1 BladeSymphonyホームページより入手する場合をご参照下さい。

- (3) VirNavi-[バージョン]\_Ess.zip を解凍します。

(解凍後に生成するフォルダが、既存VirNaviフォルダと異なるパスに生成するようにして下さい。)

zipファイルと同じ名称のフォルダ、もしくはVirNaviフォルダが生成されます。

**※バージョンアップが完了するまで、生成したフォルダのVirtage Navigatorを実行しないで下さい。  
実行してバージョンアップした場合、既存の設定が正しく引き継がれません。**

- (4) 解凍された VirNavi フォルダを PC または管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。

(解凍した際、zipファイル名と同じ名称のフォルダが生成された場合、その生成されたフォルダ内に含まれるVirNaviフォルダをPCまたは管理サーバ上の任意のフォルダにコピーしてください。)

- (5) 生成された VirNavi フォルダを既存の VirNavi フォルダに上書きコピーします。

## 14 Virtage Navigatorのライセンスアップグレード

Virtage Navigatorのライセンスアップグレードは、以下の手順で行います。

- (1) 既存の VirNavi フォルダを一時的にバックアップしておくことを推奨します。

上書きコピーに失敗した場合に、バックアップした既存のVirNaviフォルダで元の状態に復旧させることができます。

※VirNaviフォルダをバックアップする前に、Virtage Navigatorを終了させて下さい。終了せずにバックアップした場合、データが正しくコピーされない可能性があります。

- (2) VirNavi-[バージョン]\_[ライセンス].zip を解凍します。

(解凍後に生成するフォルダが、既存VirNaviフォルダと異なるパスに生成するようにして下さい。)

zipファイルと同じ名称のフォルダ、もしくはVirNaviフォルダが生成されます。

**※バージョンアップが完了するまで、生成したフォルダのVirtage Navigatorを実行しないで下さい。  
実行してバージョンアップした場合、既存の設定が正しく引き継がれません。**

ライセンスアップグレード版のフォルダ構成は、以下のとおりです。

表 14-1 Virtage Navigator フォルダ構成

No.	フォルダ名
1	VirNavi
2	AppData
3	bin
4	mms
5	Regist

なお、zipファイル名と同じ名称のフォルダが生成された場合、VirNaviフォルダは、その生成されたフォルダ内に含まれます。

- (3) 生成された VirNavi フォルダを既存の VirNavi フォルダに上書きコピーします。

## 15 Virtage Navigatorのアンインストール

Virtage Navigator をアンインストールする場合は、VirNavi フォルダ、およびフォルダ内の全てのファイルを削除します。

## 16 注意事項

### 16.1 クローズボタンについて

タイトルバーにある[閉じるボタン](×ボタン)をクリックして、Virtage Navigator を終了した場合、以下の現象が起こります。

(1) Main ウィンドウの場合

Exit ウィンドウが表示されます。このウィンドウの OK ボタンをクリックすると、実行中の操作はすべて中断されます。

(2) その他のウィンドウの場合

保存していない設定があった場合、その設定内容は破棄されます。

なお、一部のウィンドウでは、確認ウィンドウが表示される場合があります。

### 16.2 Update操作に時間が掛かる場合の対応について

Update 操作は、Profile タブで登録した全ての HVM について、最新情報を再取得します。

Profile タブで登録済みの HVM の中で、P-off されている HVM、IP アドレスを変更したなどで存在しない HVM などが登録されていますと、情報取得におけるタイムアウト処理の為、時間がかかる、遅いと感じられる場合があります。快適にお使い頂くために、System Configuration の登録内容を見直し、Virtage Navigator の機能を使用しない HVM、特に長期の間 P-off の HVM、存在しない HVM などは、System Configuration の登録から外して使用頂くことを推奨します。なお、最新情報を再取得する HVM を限定することで、Update 時間を短縮できます。(10.5 HVM 情報の更新をご参照下さい。)

## 16.3 HVMの構成・登録台数と処理時間について

Virtage Navigator は、登録されている HVM 台数と HVM の構成 (LPAR 数, I/O 数) により、処理時間が変動します。

処理時間にストレスを感じるようであれば、登録 HVM 数を調整して対応下さい。

### 実例 1) ログインしてから Main ウィンドウが起動するまで

以下に、ログインしてから Main ウィンドウが起動するまでの登録 HVM 数と処理時間の実測値を示します。

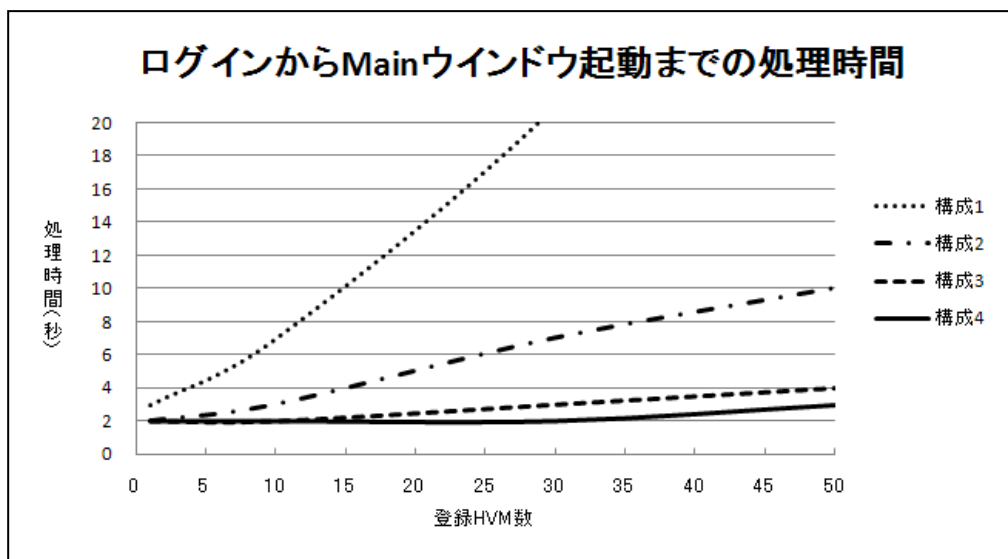


図 16-1 ログインから Main ウィンドウ起動までの処理時間

表 16-1 各構成の説明

構成	定義 LPAR 数	搭載 I/O 数	Total I/O 数	ブレード構成詳細
1	60	76	4560	BS2000 高性能サーバブレード (4 ブレード SMP 最大構成)
2	60	19	1140	BS2000 高性能サーバブレード (1 ブレード最大構成)
3	16	19	304	BS2000 標準サーバブレード (最大構成)
4	16	4	64	BS320 (最大構成)

表 16-2 動作環境

OS	Windows Server 2003 x86
CPU	Pentium III Xeon processor 2.92GHz * 2
メモリ	2GB



**実例 2) 構成ビューアで、Chassis Configuration Image ウィンドウの Show Detail ボタンをクリックしてから、HVM Configuration Image ウィンドウが表示されるまで**  
構成ビューアの HVM Configuration Image ウィンドウ表示の所要時間は、概ね以下のとおりです。

表 16-3 HVM Configuration Image ウィンドウ表示の所要時間

HVM 構成		表示時間(秒)	ブレード構成詳細
LPAR 数	I/O 数		
60	19	23	BS2000 高性能サーバブレード 1 ブレード
16	5	2	標準構成 1 ブレード

動作環境は、表 16-2 動作環境に示すとおりです。

また、以下のケースでも同様に処理時間が変動します。

表 16-4 上記実例以外で処理時間が変動する操作

No.	機能	操作
1	構成ビューア	System Configuration List 表示
2	マイグレーション	Migration 画面表示

処理時間にストレスを感じるようであれば登録 HVM 数を調整して対応下さい。

## 16.4 同梱アプリケーションの扱いについて

VirNavi フォルダ内の bin フォルダに含まれる HvmSh.exe、HvmGetPerf.exe、および VirNavi フォルダ内の mms フォルダに含まれる MMS ファイルは、必ず提供時に同梱しているファイルをお使い下さい。

(提供時に同梱しているファイルとバージョンが異なるファイルに置き換えられていた場合、Virtage Navigator は起動しません。)

## 16.5 ツリー表示で同一ブレード番号のHVMが複数表示される現象について

以下の操作を行った後に HVM 情報を更新した場合、Virtage Navigator に登録された HVM のツリー表示において、1つのシャーシに同一ブレード番号の HVM が複数表示される場合があります。

- (1) サーバブレードの移動(搭載位置の変更)
- (2) N+M 切り替え時の HVM の移動

本現象は、上記操作後の更新によって取得した HVM の位置情報と、過去に取得した別の HVM の位置情報が重複する場合に発生します。

なお、本現象は「装置に登録されているシャーシのシリアル番号が重複しているケース」にも発生します。

## 17 トラブルシュート

### 17.1 Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 がインストールできない場合

お使いのサーバ OS をご確認ください。

Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)は、Microsoft Windows Me、Windows NT 4.0、Windows 2000、またはそれ以前のオペレーティング システムにはインストールできません。Virtage Navigatorもこれらのオペレーティング システムをサポートしません。(3 動作条件をご参照下さい。)

Windows Server 2003, Windows XP, Windows XP SP1, および Windows XP SP2 をお使いの場合、Windows Installer 3.1(3.1 以上のバージョンも含む)をインストールする必要があります。

Windows Installer3.1(3.1 以上のバージョンも含む)がインストールされているか確認して下さい。  
確認方法は、以下のとおりです。

- (1) コマンドプロンプトで、msiexec コマンドを実行します。

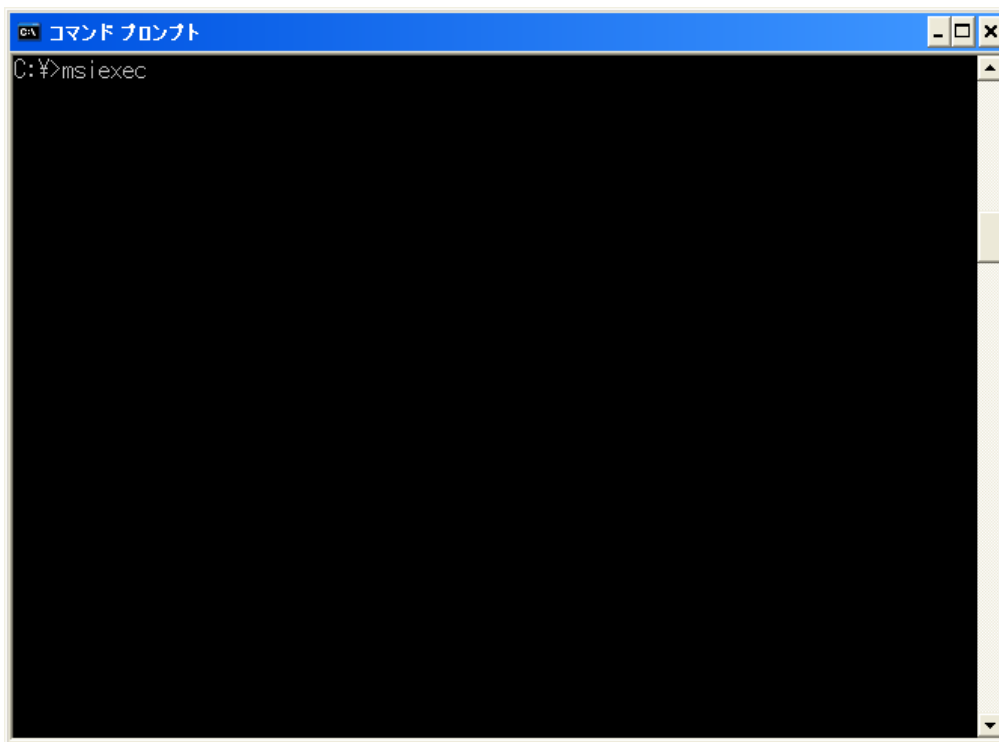


図 17-1 コマンドプロンプト(msiexec コマンドの実行)

(2) ポップアップした Windows インストーラウインドウで、バージョンを確認します。

図 17-2 Windows インストーラウインドウ (Windows Installer のバージョン確認) の赤枠内を確認します。

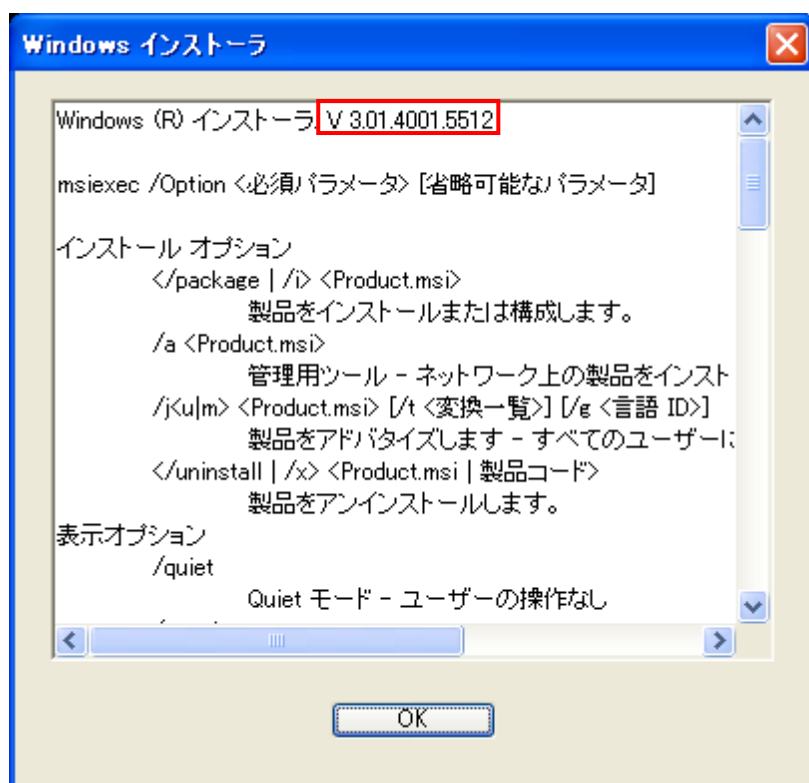


図 17-2 Windows インストーラウインドウ (Windows Installer のバージョン確認)

図 17-2 Windows インストーラウインドウ (Windows Installer のバージョン確認) の場合、“V 3.01.xxxx.xxxx”という表記になっており、バージョンが3.1であることが確認できます。

Windows Installer3.1(3.1 以上のバージョンも含む)がインストールされていない場合は、マイクロソフトダウンロードセンターより WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe を入手し、インストールして下さい。

マイクロソフトダウンロードセンター：

<http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/default.aspx>

WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe の入手、インストールの手順は、以下のとおりです。

- (1) マイクロソフトダウンロードセンターで、以下の文字列を使って検索します。

**Windows Installer 3.1 Redistributable**

- (2) 検索結果から、“Windows Installer 3.1 Redistributable”を選択します。
- (3) “WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe”のダウンロードボタンをクリックします。
- (4) ポップアップしたファイルのダウンロードウインドウで、保存(S) ボタンをクリックし、“WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe”を任意の場所に保存します。
- (5) “WindowsInstaller-KB893803-v2-x86.exe”をダブルクリックします。
- (6) ポップアップした開いているファイルウインドウで、実行(R) ボタンをクリックします。

## 17.2 Virtage Navigatorが起動しない場合

### 17.2.1 VNavigator.exeをダブルクリックしたのにログインウィンドウが表示されない場合には？

Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)がインストールされていない可能性があります。

Virtage Navigator のインストール先サーバに、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)がインストールされていることを確認して下さい。

Virtage Navigatorの実行には、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)が必要です。(7.2 前提アプリケーションのインストールをご参照下さい。)

### 17.2.2 Virtage Navigator起動時に、VNavigator.exe - アプリケーションエラーが表示された場合には？

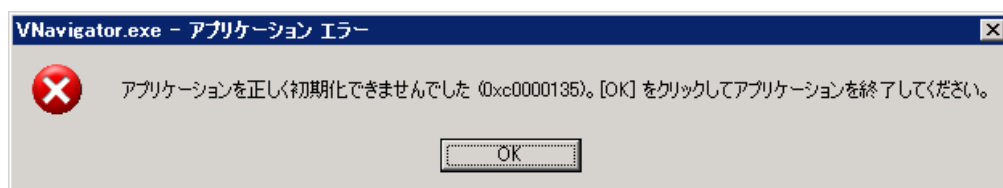


図 17-3 VNavigator.exe - アプリケーションエラーウィンドウ

起動時に、Unexpected Internal Error Occurred と表示された場合には、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)がインストールされていない可能性があります。

Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)がインストールされているか確認して下さい。

### 17.2.3 Virtage Navigator起動時に、.NET Framework Initialization Errorが表示された場合には？

起動時に、.NET Framework Initialization Error と表示された場合には、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)がインストールされていない可能性があります。

Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1(full package)がインストールされているか確認して下さい。

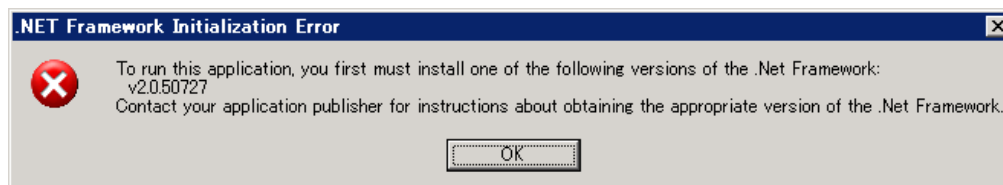


図 17-4 .NET Framework Initialization Error ウィンドウ

#### 17.2.4 Virtage Navigator起動時に、Unexpected Internal Error Occurredが表示された場合には？

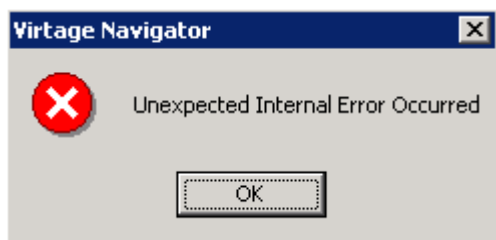


図 17-5 Virtage Navigator ウィンドウ(Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていない場合)

起動時に、Unexpected Internal Error Occurred と表示された場合には、Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされていない可能性があります。

Microsoft Chart Controls for Microsoft .NET Framework 3.5 がインストールされているか確認して下さい。

#### 17.2.5 Virtage Navigator起動時に、Virtage Navigator is already started ! が表示された場合には？



図 17-6 Virtage Navigator ウィンドウ(Virtage Navigator の複数起動を試みた場合)

起動時に、Virtage Navigator is already started ! が表示された場合には、Virtage Navigator の起動を試みた PC または管理サーバ上で、すでに Virtage Navigator が起動しています。

### 17.2.6 Virtage Navigatorへのログイン後、Could not execute the Virtage Navigatorが表示された場合には？

以下のウインドウが表示された場合には、使用しているユーザに管理者権限があるかどうか確認して下さい。



図 17-7 Could not execute the Virtage Navigator ウインドウ

管理者権限がない場合には、管理者権限のユーザでログインし直すか、現在使用しているユーザに管理者権限を追加し、Virtage Navigator を起動して下さい。

### 17.2.7 Virtage Navigatorへのログイン後、Different version of a bundled component was detected.が表示された場合には？

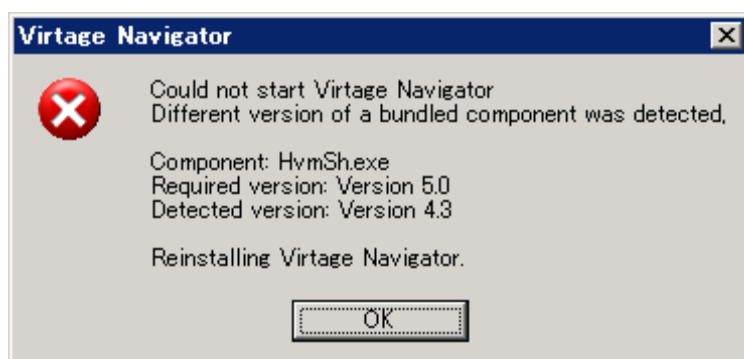


図 17-8 Virtage Navigator ウインドウ (提供時またはダウンロード時のファイルと異なるバージョンのファイルを検知した場合)

VirNavi フォルダ内の bin フォルダに含まれる HvmSh.exe, HvmGetPerf.exe, および VirNavi フォルダ内の mms フォルダに含まれる MMS ファイルのバージョンが、提供時またはダウンロード時の同梱ファイルのバージョンと異なります。

現在使用している VirNavi フォルダに、提供時またはダウンロード時の VirNavi フォルダを上書きコピーして下さい。

### 17.2.8 Virtage Navigatorへのログイン後、Failed to read boot file. Contact Hitachi.が表示された場合には？

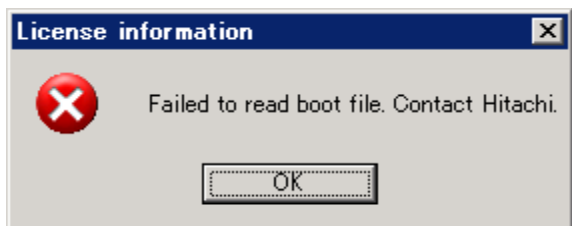


図 17-9 License information ウィンドウ(ファイル読み込み失敗)

ログイン後に、Failed to read boot file. Contact Hitachi.が表示された場合には、Virtage Navigatorの実行に必要なファイルの読み込みに失敗しています。

18 障害時のデータ採取を参照の上、弊社サポートサービスへお問い合わせ下さい。

### 17.2.9 Virtage Navigatorへのログイン後、Damage of data file is detected.が表示された場合には？



図 17-10 Virtage Navigator ウィンドウ(Virtage Navigator の起動に必要な構成ファイルが破損している場合)

Virtage Navigator の起動に必要な構成ファイルが破損しています。

18 障害時のデータ採取を参照の上、弊社サポートサービスへお問い合わせ下さい。

### 17.3 Virtage Navigator起動時に、Damage of data file is detected. Data on "Option Setting" return to default settings.が表示された場合には？

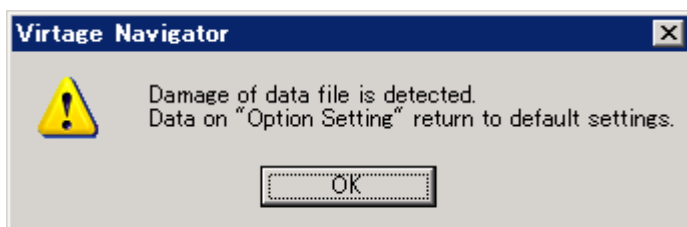


図 17-11 Virtage Navigator ウィンドウ(Option 設定ファイルが破損している場合)

Option メニューで設定した内容を保存しているファイルが破損しているため、設定内容はすべてデフォルト値になります。

再度設定し直して下さい。



## 17.4 Virtage Navigator起動時に、Damage of data file is detected. Data on "Migration History" is cleared.が表示された場合には?

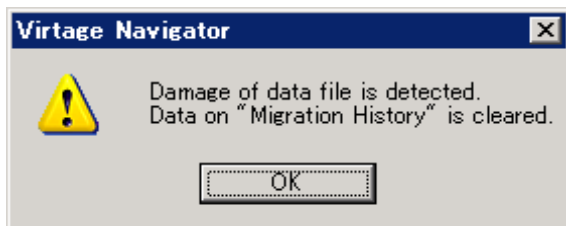


図 17-12 Virtage Navigator ウィンドウ (Migration History 用ファイルが破損している場合)

Migration 操作の履歴を保存しているファイルが破損しているため、Migration History に Migration 操作の履歴が表示されません。

18 障害時のデータ採取を参照の上、弊社サポートサービスへお問い合わせ下さい。

## 17.5 Search Errorが表示された場合には?

以下のウィンドウが表示された場合、(1)～(6)の確認、対策をして下さい。

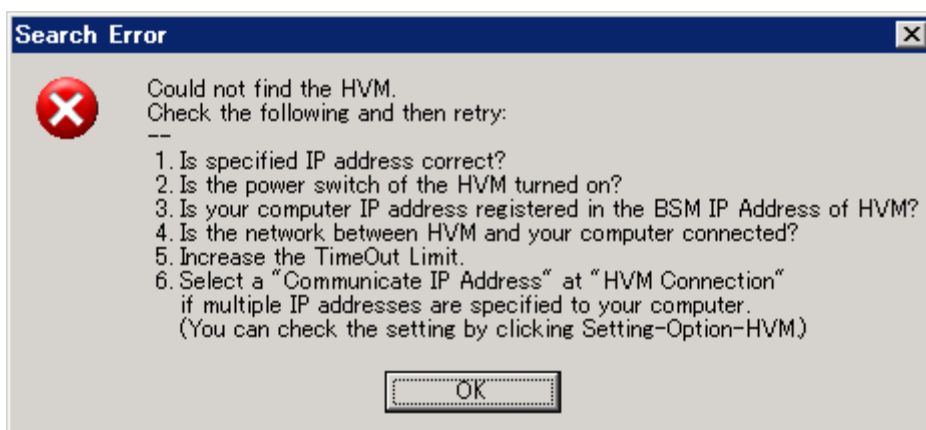


図 17-13 Search Error ウィンドウ

- (1) 指定した IP アドレスが正しいことを確認して下さい。
- (2) HVM の電源が ON になっていることを確認して下さい。
- (3) HVM に管理サーバの IP アドレスが登録されていることを確認して下さい。
- (4) 管理サーバと HVM 間のネットワーク接続を確認して下さい。
- (5) タイムアウト時間を増やして下さい。
- (6) HVM との通信に使用する IP アドレスを指定して下さい。(10.2 管理サーバの IP アドレスの設定をご参照下さい。)

## 17.6 Insufficient memory error occurred.が表示された場合には?

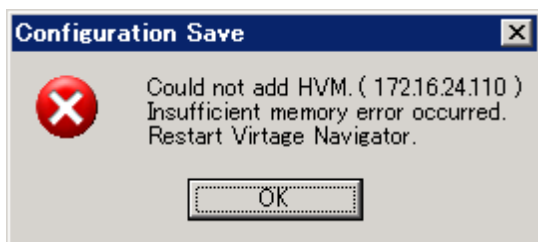


図 17-14 Configuration Save ウィンドウ(メモリ不足による HVM 登録失敗)

お使いの管理サーバのメモリが不足しており、HVM を登録することができません。

以下のいずれかの対策をすると、HVM を登録できることがあります。

- (1) 開いている Virtage Navigator のウィンドウを閉じる
- (2) Virtage Navigator を再起動する
- (3) Virtage Navigator に登録している HVM 数を減らす

## 17.7 登録したHVM情報が表示されない場合には?

Update 処理を実行中、またはキャンセル(「Update Cancel」ボタンをクリック)すると、次に示す現象が発生する可能性があります。

- (1) Main ウィンドウ Viewer タブのツリービューに登録した HVM 情報が表示されない

この現象が発生した場合、しばらくしてから Main ウィンドウのメニュータブの選択を行い、ウィンドウを再描画して下さい。

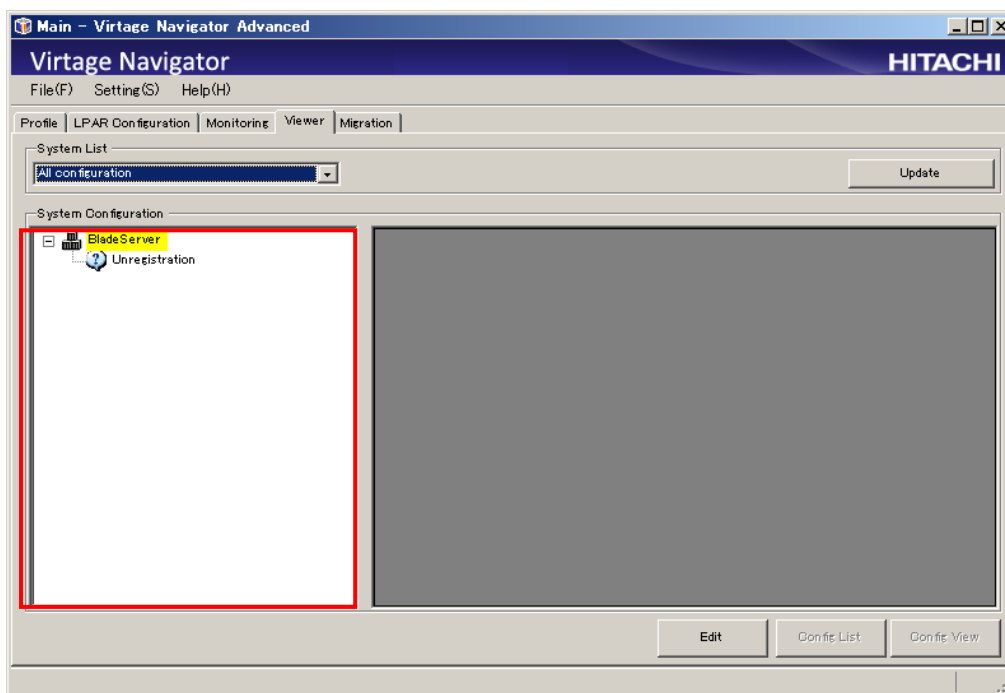


図 17-15 Main ウィンドウ Viewer タブ(登録した HVM が表示されない)

- (2) Migration ウィンドウのツリービューに登録した HVM が表示されない  
一度 Migration ウィンドウを閉じ、しばらくしてから開きなおして下さい。

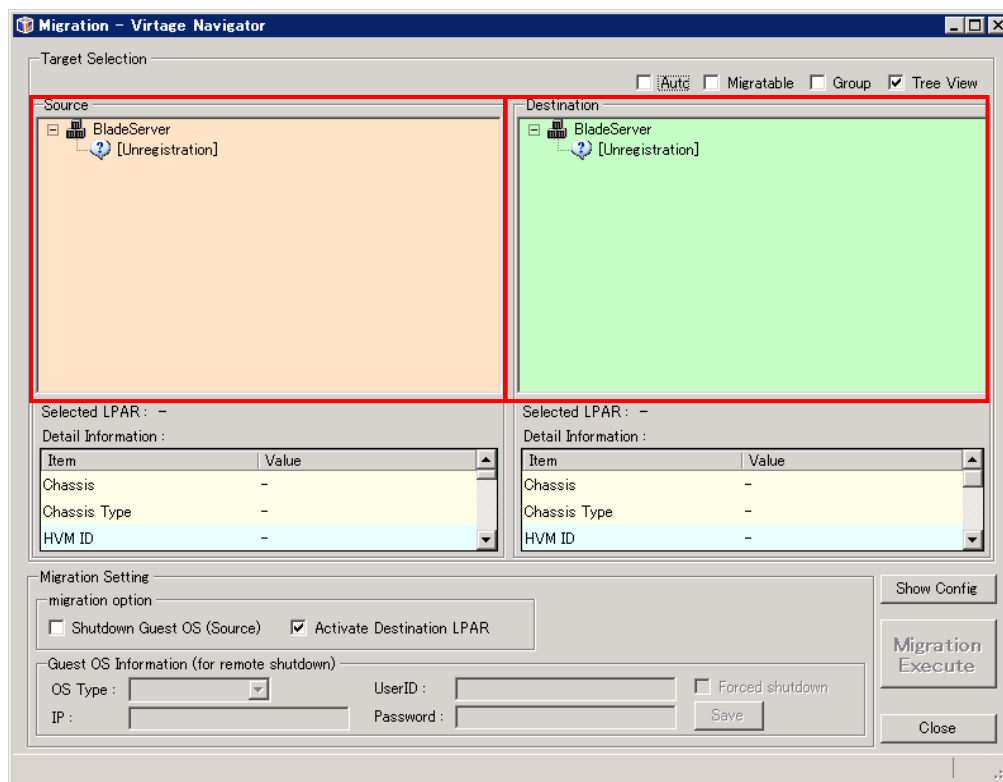


図 17-16 Migration ウィンドウ(登録した HVM が表示されない)

※ この現象は、登録している HVM の台数が多い場合、あるいは Virtage Navigator を起動している管理サーバの負荷が高い場合に発生します。 より快適にお使い頂くためには、System Configuration の HVM 登録内容を見直し、Virtage Navigator の機能を使用しない HVM、HVM IP アドレスを変更した等で存在しない HVM などは、System Configuration の登録から外して頂くことを推奨します。

## 17.8 “Chassis Unknown” 以外のHVMが “Chassis Unknown” で表示された場合には？

Update 処理を実行中、またはキャンセル（「Update Cancel」ボタンをクリック）すると、Main ウィンドウ Profile タブのツリービューの “Chassis Unknown” 以外の HVM が “Chassis Unknown” で表示される場合があります。

この現象が発生した場合、しばらくしてから Main ウィンドウのメニュータブの選択を行い、ウィンドウを再描画して下さい。

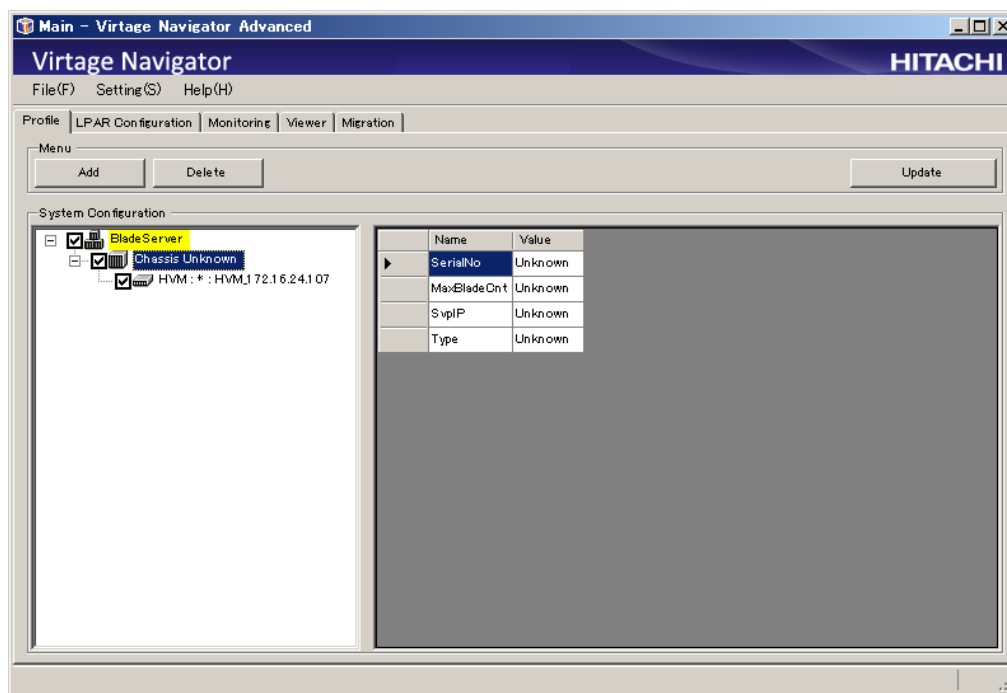


図 17-17 Main ウィンドウ Profile タブ（“Chassis Unknown” 以外の HVM が “Chassis Unknown” で表示された）

※ この現象は、登録している HVM の台数が多い場合、あるいは Virtage Navigator を起動している管理サーバの負荷が高い場合に発生します。より快適にお使い頂くためには、System Configuration の HVM 登録内容を見直し、Virtage Navigator の機能を使用しない HVM、HVM IP アドレスを変更した等で存在しない HVM などは、System Configuration の登録から外して頂くことを推奨します。

## 17.9 Necessary Component Not Foundが表示された場合には?

VirNavi フォルダに必要なファイルがありません。

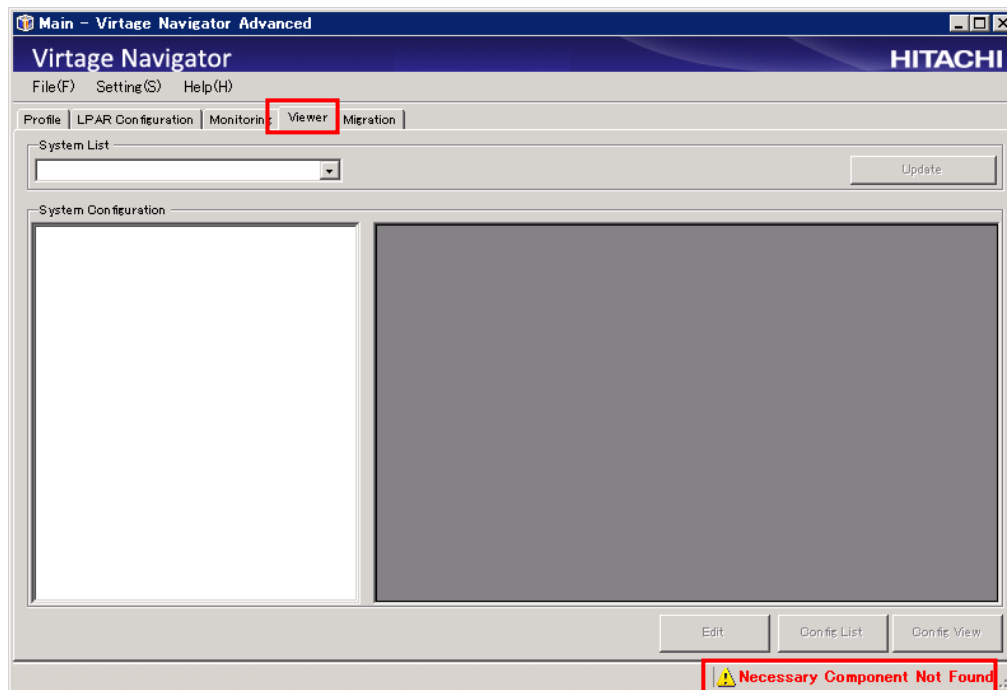


図 17-18 Main ウィンドウ (必要ファイルが VirNavi フォルダに存在しない場合)

本メッセージが表示された場合は、以下の対応をして Virtage Navigator を起動下さい。

- (1) 現在使用している VirNavi フォルダに、提供時の VirNavi フォルダ(※)を上書きコピーして下さい。

※提供時の VirNavi フォルダは、Standard または Advanced 版の VirNavi フォルダです。

- (2) 提供時の VirNavi フォルダが古いバージョンであり、バージョンアップを希望される場合は、(1)の VirNavi フォルダをバージョンアップします。

バージョンアップの方法につきましては、13 Virtage Navigatorのバージョンアップをご参照下さい。

## 18 障害時のデータ採取

Virtage Navigator に障害が発生し、解決しない場合は、以下のデータを採取し、操作内容・現象とともに弊社サポートサービスにご送付いただくか、お買い求め先にお問合せ下さい。

なお、採取されるデータは、圧縮後のサイズが数 M バイトに及ぶことがあります。

### (1) トラブルの内容とトラブルが発生した経緯

発生したトラブルの内容と発生した経緯を確認して下さい。

- ・ トラブルの内容  
発生している状況 (環境構築中、システム運用中、過去の使用での実績、間欠的・固定的など) と、問題の内容
- ・ トラブル発生時刻
- ・ トラブルが発生した際、発生する前に行っていたオペレーション内容
- ・ Virtage Navigator と同時に動作させていたプログラムなど

### (2) 画面表示内容の確認で採取する資料

エラーコード等のエラー情報が画面上に表示されている場合、画面のハードコピーを採取して下さい。

### (3) ログファイル

下記のログファイルを採取して下さい。

- ・ インストールフォルダ¥VirNavi¥bin 内の VirtGetLogs.exe を実行して下さい。  
VirtGetLogs.exe の実行により、ログデータが、「VirtGetLog\_YYYYMMDD\_hhmmss」フォルダに収集されます。「VirtGetLog\_YYYYMMDD\_hhmmss」フォルダは、¥VirNavi¥bin 内に生成されます。このフォルダを採取して下さい。
- ・ 管理サーバの「コンピュータの管理」-「イベントビューア」-「システム」に表示されるイベント (トラブル発生時刻付近の前後) を採取して下さい。

### (4) ネットワーク情報

Virtage Navigator で、HVM が登録できない、HVM との通信が間欠的に切れる様な場合は、ネットワークの問題である可能性があります。

- ・ ファイアウォール設定、ネットワークスイッチの設定に誤りがないこと、およびネットワーク構成に誤りがないことを確認して下さい。
- ・ ネットワーク構成図があると解決の手助けとなります。

### (5) システム構成情報

Virtage Navigator の内部エラー等でない場合、制御対象の HVM 側情報が必要となります。HVM スクリーンから HVM の稼動時ダンプを採取し、マネージメントモジュールから装置のログを採取下さい。

採取方法は、「BladeSymphony BS1000 ユーザーズガイド」、「BladeSymphony BS2000 ユーザーズガイド」、および「BladeSymphony BS320 ユーザーズガイド」をご参照下さい。

## 19 Virtage Navigatorのコントロール一覧

Virtage Navigator で使用しているコントロールの名称を説明します。

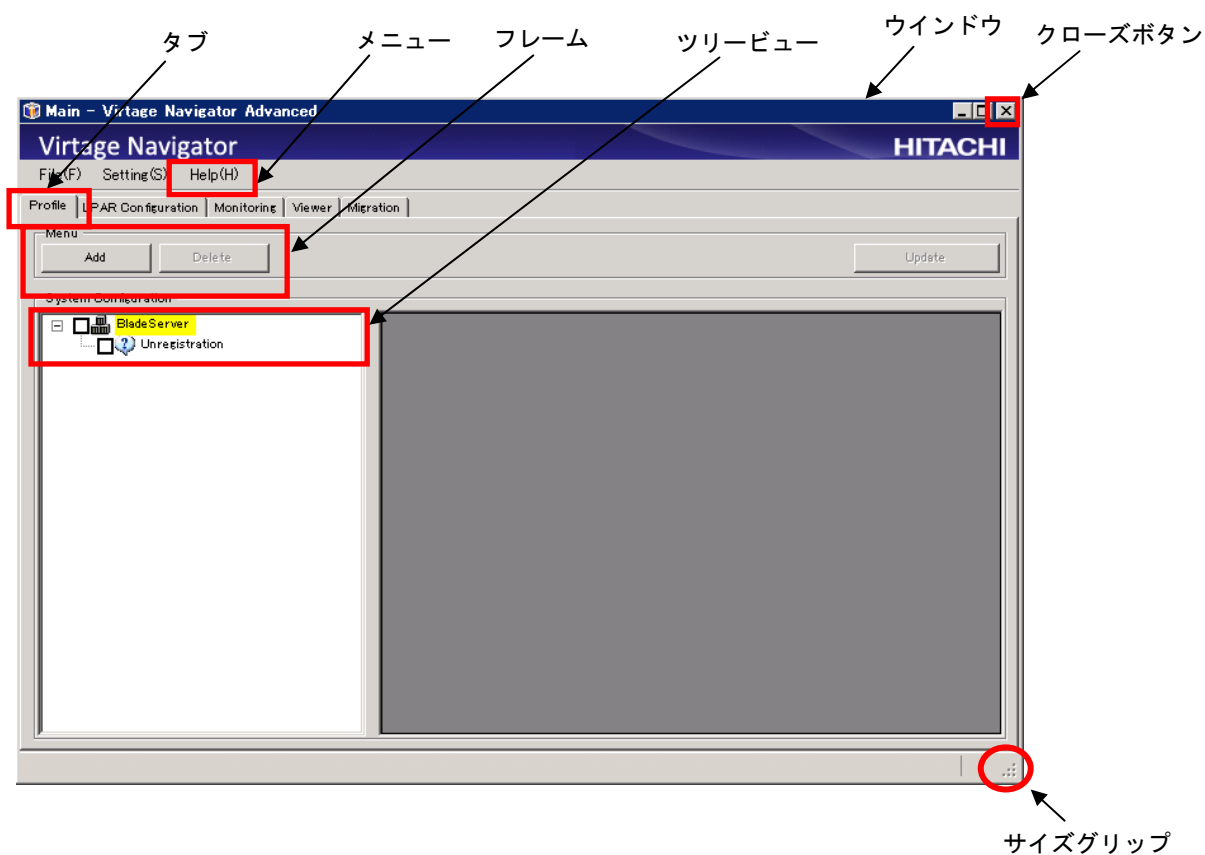


図 19-1 Main ウィンドウ(コントロール名称)

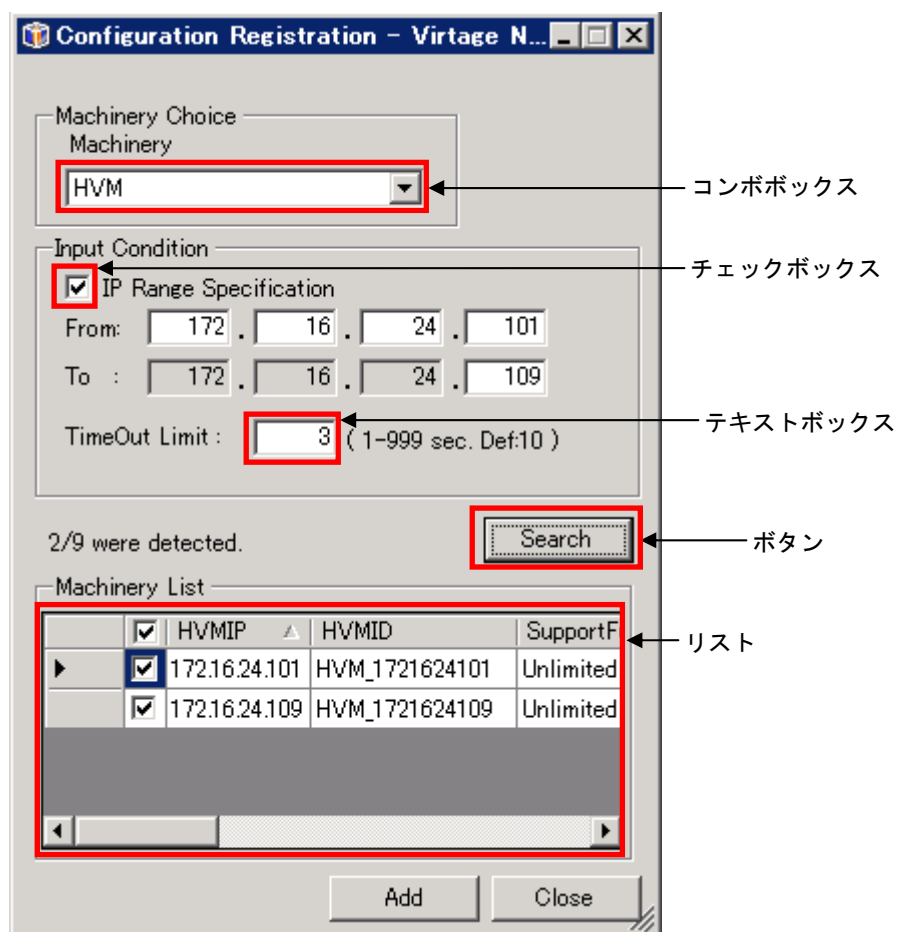


図 19-2 Configuration Registration ウィンドウ(コントロール名称)



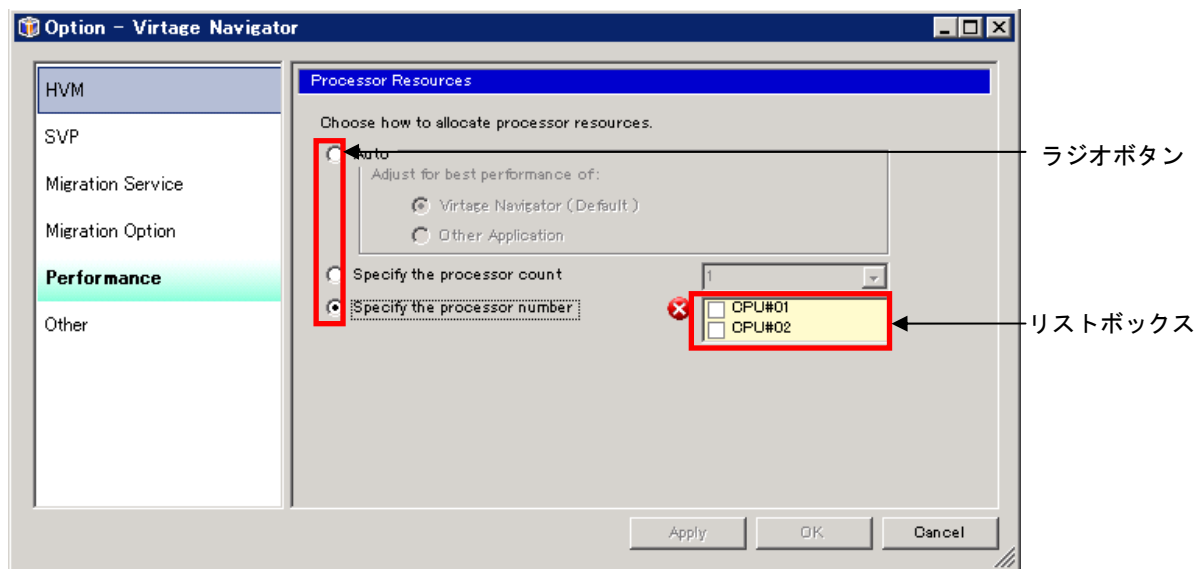


図 19-3 Option ウィンドウ(コントロール名称)

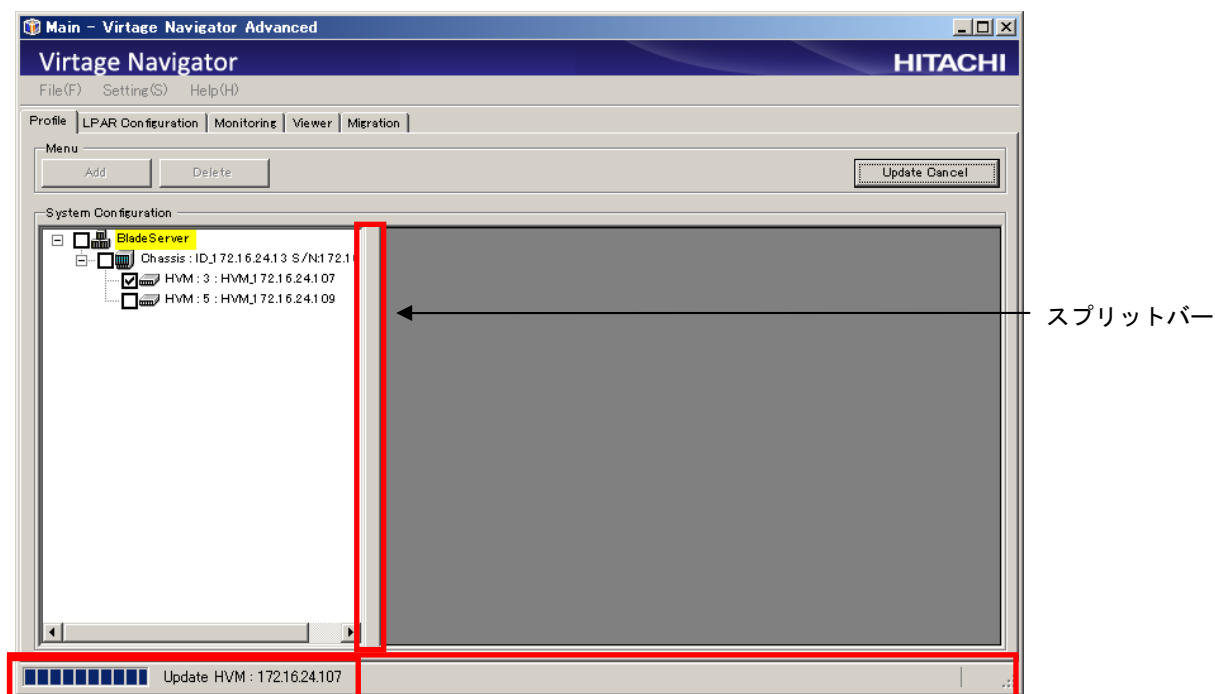


図 19-4 Main ウィンドウ(コントロール名称)

プログレスバー

ステータスバー

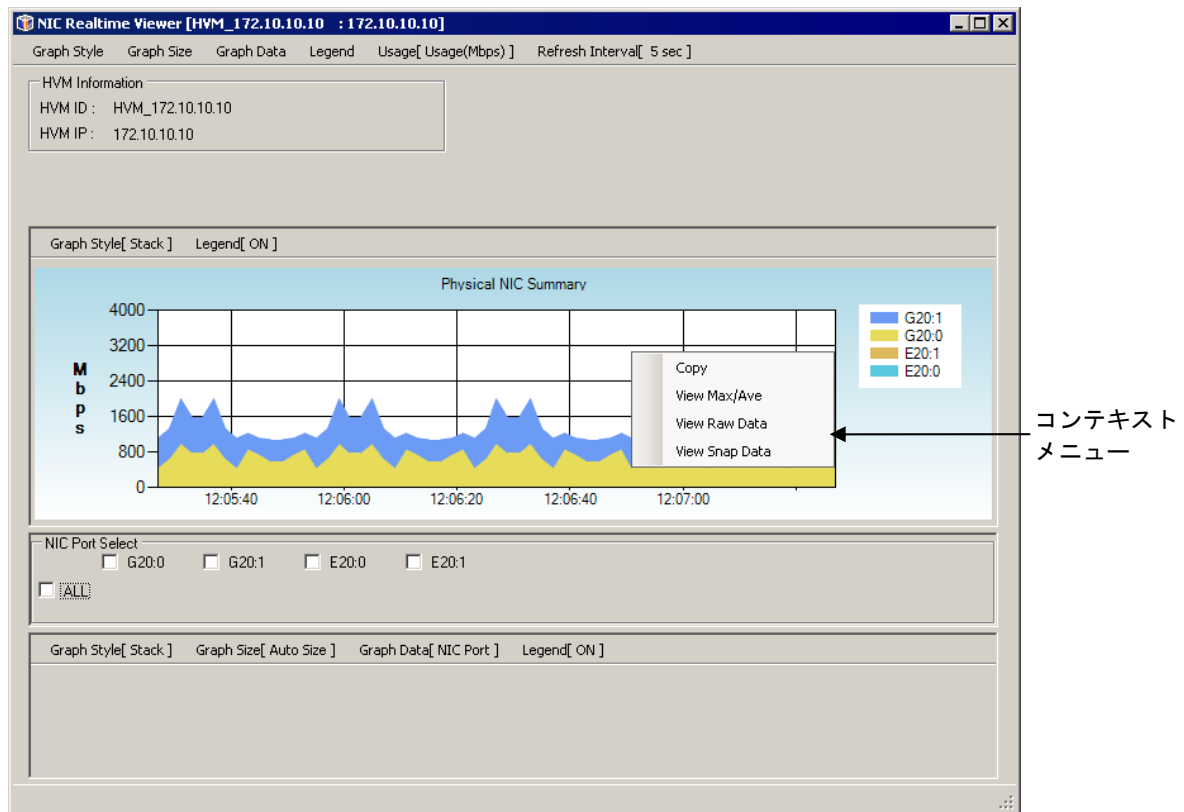


図 19-5 NIC Realtime Viewer ウィンドウ(コントロール名称)

## 20 サポートサービスについて

Virtage サポートサービスにご契約いただくと、Virtage Navigator のサポートを受けられます。

ただし、2010/6/13 以前にご契約いただいたお客様が Virtage Navigator のサポートを受けるには、サポートオプション(Virtage Navigator サポート)の契約が必要です。

表 20-1 Virtage Navigator のサポートメニュー

Virtage サポートサービス	サポートオプション (Virtage Navigator サポート)	Virtage Navigator サポート		
		Essential	Standard	Advanced
2010/6/14 以降の契約	—	○	○	○
2010/6/13 以前の契約	契約	○	○	○
	未契約	○	×	×
未契約	—	×	×	×

—：契約不要    ○：サポート受けられる    ×：サポート受けられない

詳しくは弊社営業にご相談ください。

## 21 変更来歴

Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編の変更来歴を下記に示します。

表 21-1 Virtage Navigator ユーザーズガイド 導入編 変更来歴

Version	Revision	章	変更内容
V01-00	1.01	—	初版
	1.03	5	Virtage Navigator の入手方法を記載しました。
		6	前提アプリケーションの入手方法を記載しました。
		20	Virtage Navigator のサポートについての記述を記載しました。
V01-01	1.10	3	Virtage Navigator の対象 OS に「Windows Server 2008 SP2」を追加しました。
		16.3	Virtage Navigator で管理・運用を行う HVM 台数及び構成での処理時間の目安を記載しました。
		16.4	同梱アプリケーションについての注意事項を記載しました。
		17.2.7 17.2.8 17.2.9	Virtage Navigator が起動しない場合の対処方法を追加しました。
		17.3 17.4	Virtage Navigator 起動時に警告メッセージが表示された場合の注意・対処方法を追加しました。
		17.6	Virtage Navigator に HVM を登録できない場合の対処方法を追加しました。
		17.9	Viewer タブ選択時に警告メッセージが表示された場合の対処方法を追加しました。
	1.11	3.2	Virtage Navigator 機能のサポート HVM FW バージョン一覧に BS2000fx および BS320 の新しいバージョンを追加しました。
V02-00	2.00	1	NIC のモニタリング機能をサポートしました。
		3	Virtage Navigator のスタンドアロン環境での対象 OS に「Windows 7」を追加しました。
		6	Tera Term とリモートコンソールアプリケーションの入手について記載しました。
		7.2	Tera Term とリモートコンソールアプリケーションのインストールについて記載しました。
		7.2	Microsoft .NET Framework 4.0 の扱いについて記載しました。
		9.2	LPAR 設定機能をサポートしました。
		10.7	Virtage Navigator の技術情報の採取機能をサポートしました。